

令和7年度

全学教育ガイド

全学共通科目(教養・外国語・保健体育・キャリア教育・教職科目)

履修案内

本学ではシラバスをWebで公開しています。

URL：syllabusweb.nara-wu.ac.jp/syllabus/

奈良女子大学

目 次

I 奈良女子大学の教育課程 1

1 卒業までの教育課程（カリキュラム）	3
(1) 教育課程の編成	3
(2) 学則と学部規程	3
(3) 「ディプロマ・ポリシー」と 「カリキュラムマップ」	3
(4) 卒業と単位	4
(5) 卒業要件科目の履修計画	4
(6) 大学教育の学習成果	4
(7) シラバスの「学習到達目標」	5
(8) 履修モデルの活用	5
2 教育プログラムとキャリア教育科目に ついて	5
(1) 様々な教育プログラム	5
(2) キャリア開発のための履修計画	5
(3) 資格取得のための履修計画	6

II 履修概要 7

1 履修にあたって	9
(1) 学期	9
(2) 学年暦	9
(3) 授業時間・教室	9
(4) 授業時間割	9
(5) シラバス	10
(6) 授業の実施方法（開講形態）	10
(7) 休講と補講	10
(8) 交通機関の運休に伴う授業の 取扱について	11
(9) 授業の公欠・忌引	12
(10) 欠席届	12
(11) 奈良女ID・メールアドレスについて	12
(12) 学習管理システム（奈良女LMS）	13
(13) 学習支援活動	14
2 単位制	18
(1) 単位とは	18
(2) 単位の基準	18
(3) 入学前の既修得単位、 学外での学修の単位認定	18
(4) 外国語科目における単位認定制度	20

(5) 卒業要件	24
(6) 早期卒業	24
(7) 卒業要件単位に算入できる メディア授業科目の単位数	24
3 履修登録	25
(1) 履修とは	25
(2) 履修登録期間	25
(3) 履修登録方法	25
(4) 履修登録時の留意事項	26
(5) 履修登録単位の上限	26
(6) 成績優秀者表彰	27
4 試験・成績及び学修成果	28
(1) 試験	28
(2) レポート	28
(3) 成績評価	28
(4) GPA（Grade Point Average）制度	29
(5) 成績照会	29
(6) 成績評価の確認（異議申し立て）	29
(7) ディプロマ・ポリシー達成状況評価	29
5 学籍・修業年限	31
(1) 修学年限と在学年限	31
(2) 在学中の留学	31
(3) 学籍異動	31

III 教養教育科目の履修 35

1 本学の教養教育の理念	37
2 教養教育科目の仕組み・履修単位数	38
3 基礎科目群	44
(1) 外国語科目	44
文学部	45
理学部	49
生活環境学部	52
工学部	57
外国語科目クラス分け・教科書一覧	61
(2) 日本語科目	71
(3) 保健体育科目	72
(4) 情報処理科目	75
4 教養科目群	76
5 積極開放科目	80

Ⅳ キャリア教育科目の履修 81

- 1 キャリアプラン科目群…………… 83
- 2 教職科目群・資格関連科目群について… 86

V 他大学科目の履修 87

- 1 連携開設科目…………… 89
- 2 単位互換制度…………… 92
 - (1) 放送大学教育協力型単位互換科目… 92
 - (2) 奈良教育大学との単位互換制度… 96
 - (3) お茶の水女子大学との単位互換制度… 97
 - (4) 奈良県大学連合における単位互換制度… 99

Ⅵ 副専攻プログラム 101

- プログラムの登録…………… 103
- プログラムの修了認定…………… 103
- テーマ別一覧…………… 104

Ⅶ 諸資格の取得 109

- 1 教育職員免許状（教職科目群の履修）… 111
 - (1) 教員免許状取得のための教育課程… 111
 - (2) 教職課程の履修の流れ…………… 113
 - (3) 教員免許状取得のために必要な
教養教育科目…………… 118
 - (4) 教育実習について
(幼・小・中・高教員免許)…………… 119
 - (5) 奈良教育大学との教職科目の
単位互換について…………… 121
 - (6) 介護等体験について
(小・中教員免許)…………… 122
- 〈令和5年度以降入学者用〉…………… 123
 - (7-1) 教職課程の概要（令和5年度以降入学者）… 125
 - (7-2) 「教育の基礎的理解に関する科目等」・
「各教科（保育内容）の指導法」…………… 127
 - (7-3) 「教科（領域）に関する専門的事項」・
「大学が独自に設定する科目」…………… 135
 - (7-4) 二種免許状について…………… 160
- 2 資格関連科目群の履修…………… 161
 - (1) 学芸員の資格取得について…………… 161
 - (2) 学校図書館司書教諭の
資格取得について…………… 166
- 3 その他の資格について…………… 168

Ⅷ 科目一覧・科目改正一覧 169

- 1 科目番号制（ナンバリング）について… 171
- 2 教養教育科目一覧…………… 173
- 3 キャリア教育科目一覧…………… 177
- 4 科目改正一覧…………… 180

Ⅸ 時間割表 187

- 前期…………… 189
- 後期…………… 197

X 教室配置図 205

Ⅺ 専任教員オフィスアワー一覧 223

〈平成31～令和4年度入学者用〉

※別冊（PDF版のみ）

- (8-1) 教職課程の概要…………… B-3
- (8-2) 「教育の基礎的理解に関する科目等」・
「各教科（保育内容）の指導法」…………… B-5
- (8-3) 「教科（領域）に関する専門的事項」・
「大学が独自に設定する科目」…………… B-13
- (8-4) 二種免許状について…………… B-48

奈良女子大学の基本理念

- 理念 1 男女共同参画社会をリードする人材の育成
－女性の能力発現をはかり情報発信する大学へ－
- 理念 2 教養教育、基礎教育の充実と専門教育の高度化
- 理念 3 高度な基礎研究と学際研究の追究
- 理念 4 開かれた大学
－国際交流の推進と地域・社会への貢献－

奈良女子大学の教育目標

本学は、学生個々の適性・能力を最大限に引き出し、深い学識を備え、情緒豊かで品位ある人材を育成する。また、さまざまな事象を総合的に理解・判断した上で、目的意識を持って主体的に行動し、社会をリードする人材を育成する。

1. 人間性を涵養する教育：

質の高い教養教育を行うことにより、幅広い教養と豊かな人間性を備えた人材を育成する。

2. 創造性を生み出す教育：

各専門分野間で連携のとれた教育を行うことにより、深い専門性を身につけた創造性豊かな人材を育成する。

3. 専門性を深める大学院教育：

女性が能力を発現しやすい環境の下で高度な専門教育を行い、創造的能力を備えた高度専門職業人および研究者を育成する。

4. 社会で貢献できる人材を育成する教育：

- 1) 男女共同参画社会の実現に貢献できる人材を育成する。
- 2) アジア諸国をはじめとする国際社会及び地域社会に貢献できる人材を育成する。

I 奈良女子大学の教育課程

- 1 卒業までの教育課程（カリキュラム）…………… 3
- 2 教育プログラムとキャリア教育科目について…………… 5

I 奈良女子大学の教育課程

1 卒業までの教育課程（カリキュラム）

(1) 教育課程の編成

この冊子の冒頭に、「奈良女子大学の教育目標」が掲げられています。この目標を実現するため、本学では学部教育の体系を整理して次のような3本柱を立て、それぞれの中に「科目群」を設けました。

学部教育	科目群
教養教育科目	基礎科目群 教養科目群
専門教育科目	(各学部専門科目)
キャリア教育科目	キャリアプラン科目群 教職科目群 資格関連科目群

4年次	教養教育科目	専門教育科目	キャリア教育科目
3年次			
2年次	(教養科目群)	(基礎科目群)	
1年次			

本学の教育課程の履修モデル

本学の授業科目は、上記の categorie にしたがって系統的に整理された教育課程（カリキュラム）の中に位置づけられます。このうち、教養教育科目については「Ⅲ 教養教育科目の履修」を、キャリア教育科目については「Ⅳ キャリア教育科目の履修」を参照してください。また、各教育科目の中でテーマ性をもった学部横断的な科目の履修を行う「副専攻プログラム」も用意しています。プログラムの概要は、「Ⅵ 副専攻プログラム」に掲載しています。

(2) 学則と学部規程

本学のカリキュラムは、学校教育法に基づいて制定された「奈良女子大学学則」にしたがって、各学部の規程に詳細に定められています。これらの規程は修学上の最も基本的なルールであり、各自の入学した年度の学則と学部規程が卒業まで適用されます。それぞれが本学ホームページに掲載されていますから、必要に応じて参照してください。

なお第3年次編入学生には、入学年度の2年前の学則と学部規程（例えば令和7年度編入学生は、令和5年度の学則・学部規程）が適用されますので、間違いのないように気を付けてください。

(3) 「ディプロマ・ポリシー」と「カリキュラムマップ」

本学では、教育プログラム（学部・学科等）ごとに、卒業までに学生が身につけるべき資質・能力を示した「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）」を定めています。また、卒業までに身につけるべき力と、各授業科目との関連を示したものを「カリキュラムマップ」と呼びます。

ディプロマ・ポリシーは本学ホームページの「大学案内」から、カリキュラムマップは「修学案内」から閲覧することができます。

皆さんが、卒業までに身につけることが期待される力がどのようなものであるか、また、「なぜこの科目を学ぶのか」ということを意識し、4年間をどのように過ごせばよいのかなど、自身の学びのデザインに活用してください。

(4) 卒業と学位

所定の期間在学し、所定の単位を履修して卒業要件を満たした場合、卒業が認められ、「学士」の学位が授与されます。学位には専攻分野の名称が付記されます。

学 部	学位の名称
文 学 部	学 士 (文学)
理 学 部	学 士 (理学)
生 活 環 境 学 部 心 身 健 康 学 科	学 士 (生活健康科学)
生 活 環 境 学 部 心身健康学科以外の学科	学 士 (生活環境学)
工 学 部	学 士 (工学)

(5) 卒業要件科目の履修計画

卒業要件科目には、科目の位置づけに応じて、必修、選択必修、選択という区別があります。必修科目は必ず履修しなければならない科目、選択必修科目はある科目グループの中から選択して、一定以上の単位を履修しなければならない科目、また選択科目は自由に選択して履修できる科目です。さらに科目によって、履修すべき年次が定められているものもあります。これらの要素から、各学年でどうしても履修しなければならない科目が決まってきます。まずここから、履修計画の見直しを立てましょう。

全学共通科目では、各学部が必修としている外国語科目と保健体育科目について、1年次・2年次に履修する科目とクラスが指定されます。履修案内と掲示に注意して、誤りなく履修登録してください。また、科目によって学部別にクラス分けがなされる場合があります。

専門教育科目では、所属する学科・コースの中で、各自が進む専門分野を選ぶことで、履修すべき科目の選択肢が次第に限定されていくことがあります。またカリキュラムの設計から、他の科目を履修済みでない履修できない科目もあります。

履修計画は、入学時に決まってしまうわけではありません。各学期の履修ガイダンスをよく聞き、必ず担任の教員や所属学科・コースの教務担当教員と相談しながら、各自の希望に応じて、学期ごとに柔軟に見直してください。

(6) 大学教育の学習成果

大学での学習は、単位を取得して卒業要件を満たし、形式的に学歴を得ることで終わるわけではありません。重要なのは、その過程で獲得してきた知識や能力などの学習成果です。近年、この学習成果の観点から大学教育のあり方が問われ、大学卒業者の備えるべき能力が、「学士力」として提唱されています。

「学士力」の領域と細目例

能力の領域	細 目 例
1. 知識・理解	(1) 多文化・異文化に関する知識の理解 (2) 人間の文化、社会と自然に関する知識の理解
2. 汎用的技能	(3) コミュニケーション・スキル (4) 数量的スキル (5) 情報リテラシー (6) 論理的思考力 (7) 問題解決力

3. 態度・志向性	(8) 自己管理能力 (9) チームワーク、リーダーシップ (10) 倫理観 (11) 市民としての社会的責任 (12) 生涯学習力
4. 総合的な学習経験と創造的思考力	

(7) シラバスの「学習到達目標」

このような授業方法による違いを踏まえて、各授業科目のシラバスには「学習到達目標」の欄が設けられ、目指す学習成果が具体的に記されています。それぞれの授業内容に即しながら、科目の履修を通じて重点的に養成される能力を、全学的なガイドラインに沿って数項目ずつ掲げたものです。

履修科目の選択にあたって、授業のテーマや内容、カリキュラム上の位置づけに加えて、自分がどんな能力を養っていききたいかという点も、重要な要素として考慮しなければなりません。

さまざまな能力をできるだけバランスよく獲得することを目標に、苦手な点の克服、得意な点を伸ばす、あるいは欲張ってその両方に挑戦するなど、自分の目標を立てて意欲的に学習に取り組んでください。

(8) 履修モデルの活用

膨大な授業情報の中から、必要な科目や関心のある授業を選び出すのはたいへんです。そのヒントとして活用したいのが、「履修モデル」です。

履修モデルは学科別に作成され、『専門教育ガイド』のそれぞれのページに掲載されています。初歩的な概論科目などから、卒業研究・卒業論文に至るまでの履修の道筋が示されるだけでなく、学科ごとの専門科目の卒業要件とも密接に関係しています。入学時や学期ごとのガイダンスの際に詳細な説明がありますから、よく注意してください。

2 教育プログラムとキャリア教育科目について

(1) 様々な教育プログラム

各学部等で定められた学士の学位を取得する「学位プログラム」とは別に、テーマ性をもった学部横断的な科目の履修を行う「副専攻プログラム」や、本学大学院に進学する学生が大学院科目の先行履修や長期にわたる留学・インターンシップ等を組み入れた自由度の高い学修計画を立てることができる「6年一貫教育プログラム」も用意しています。また、教養教育科目の基礎科目群に該当する情報処理科目を修得し、テストに合格した際に修了証が発行される「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を実施しています。これらのプログラムの概要については、「副専攻プログラム」はこの冊子の「Ⅵ 副専攻プログラム」を、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」は「Ⅲ 教養教育科目の履修>3 基礎科目群>(4) 情報処理科目」を参照してください。なお、「6年一貫教育プログラム」については、『専門教育ガイド』などの各学部の案内をご覧ください。

(2) キャリア開発のための履修計画

本学の教育の柱の一つに、キャリア教育があります。入学から卒業までの学生生活の中で、自分の進路や将来設計をじっくり考えていくためのカリキュラムです。科目の一部は卒業要件単位に算入されます。詳細は「Ⅳ キャリア教育科目の履修」を参照してください。大学をただ卒業するだけでなく、社会に出ていきいきと活躍できるように、ぜひこれらの科目も履修しましょう。

(3) 資格取得のための履修計画

本学では、キャリア教育の一環として、各種資格取得のためのカリキュラムを設けています。このうち、全学共通で開講される資格取得カリキュラムは、教員免許状取得、学芸員資格、学校図書館司書教諭資格に関するものです。

なお、教員免許状と学芸員資格の両方を取得するのは難しいため、綿密に履修計画を立てて実行してください。

■教員免許状取得のためのカリキュラム

「キャリア教育科目」の「教職科目群」としてまとめられています（卒業要件外）。教職関係の科目は、取得すべき科目と単位数が多く、免許の種類によって複雑に分かれています。教職に関心のある人は、この冊子に掲載された履修案内をよく読んで、第1年次から計画的に履修しましょう。

■学芸員、学校図書館司書教諭の資格カリキュラム

「キャリア教育科目」の「資格関連科目群」がこれに相当します（卒業要件外）。

これらの資格取得には、教育実習や博物館実習など、学外で行われる実習科目を履修しなければなりません。実習科目は他の基礎的な科目を履修済みであることを条件として履修できる科目です。また実習については、それぞれ別途ガイダンスが行われます。掲示に注意して忘れずに出席してください。実習にあたっては、学外の方のお世話になることをわきまえて、各自が責任ある行動をとるよう心がけましょう。

教員免許状、学芸員、学校図書館司書教諭資格以外にも、各学部の専門科目の履修によって取得できる資格があります。この冊子の「Ⅶ 諸資格の取得『3 その他の資格について』」を参照してください。

なお、本学に入学する前に、他の大学や短期大学で資格関係の単位を履修している場合、本学で改めて履修する必要がないこともあります。該当する人は、履修成績の証明や資格カリキュラムのわかる資料を持って学務課に相談に来てください。

Ⅱ 履修概要

1	履修にあたって	9
2	単位制	18
3	履修登録	25
4	試験・成績及び学修成果	28
5	学籍・修業年限	31

II 履修概要

1 履修にあたって

(1) 学期

本学の学年暦は、前期・後期の2学期に分けられます。前期は4月1日、後期は10月1日に始まります。開講される科目の授業は、原則として学期ごとに完結し、成績評価が行われます。

(2) 学年暦

学年暦は、『全学教育ガイド』『専門教育ガイド』の冒頭ページのほか、本学ホームページに掲載されています。各学期の中に、通常の授業期間と試験期間、補講期間が設けられています。授業回数を確保するため、臨時に曜日の振り替えが行われ、ある曜日に他の曜日の授業が行われることもあります。

▼奈良女子大学ホームページ

HOME > 修学案内 > 学年暦

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/education/affairs/calendar/>

(3) 授業時間・教室

毎日の時間割は、次のようになっています。授業の開始や終了の放送はありません。各自で時間を守ってください。教室は、下記のような略号と番号で表示されます。建物の配置と教室の位置については、「教室配置図」で確かめてください。なお、各科目のシラバスと時間割表に記された授業時間と教室は、受講者数などの都合から変更されることがあります。掲示によって通知されますから、注意してください。また、補講が行われる場合にも、掲示で通知されます。

時限	授業時間	略号	建物名	略号	建物名
1・2限	9:00～10:30	N	総合研究棟(文学系N棟)	D	総合研究棟(生環系D棟)
3・4限	10:40～12:10	S	総合研究棟(文学系S棟)	E	総合研究棟(生環系E棟)
5・6限	13:00～14:30	A	総合研究棟(理学系A棟)	F	大学院E棟
7・8限	14:40～16:10		総合研究棟(生環系A棟)	F	大学院F棟
9・10限	16:20～17:50	B	総合研究棟(理学系B棟)	G	理学部G棟
		新B	理学部新B棟	H	DMG MORI棟(工学系H棟)
		C	総合研究棟(理学系C棟)	Z	コラボレーションセンター

(4) 授業時間割

本学の授業科目は、年度ごとの開講計画にしたがって開講されます。学部規程に掲載されるすべての科目が毎年開講されるとは限りません。ある年度に開講できない科目や、1年おきに開講される科目(隔年開講)もあります。開講計画は、全学共通科目については『全学教育ガイド』に「VIII 科目一覧・科目改正一覧」として、専門教育科目については『専門教育ガイド』に学部・学科別の一覧表として示されています。履修計画の参考にしてください。

また、一定の期間に集中して行われる「集中講義」については、シラバスや時間割表に日程や教室が示されていない科目もあります。決定次第、掲示によって通知されますから、必ず確認してください。

(5) シラバス

各年度に開講されるすべての授業科目について、担当教員によって『シラバス』が作成されています。シラバスには、授業の概要と授業計画、学習目標、成績評価基準など、科目に関するすべての情報が記されており、Web上で公開されています。

▼奈良女子大学ホームページ

HOME > 修学案内 > シラバス検索

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/education/syllabussearch/>

<https://camjweb.nara-wu.ac.jp/campusweb/slspskgr.do> (スマートフォン)



(6) 授業の実施方法 (開講形態)

授業の実施方法 (開講形態) は、教室 (対面) で受講する「対面授業」と、学内の教室以外の場所や自宅など、インターネットが利用可能な環境において受講する「オンライン授業」や、「オンデマンド授業」があります。

- ・オンライン授業：Zoomのビデオ会議機能などを利用して、リアルタイムで実施する授業
- ・オンデマンド授業：授業教材 (動画コンテンツなど) を配信することにより実施する授業で、自分の好きなタイミングで受講することが可能

オンライン、オンデマンド授業の受講に必要な情報 (ビデオ会議への接続URL等) は、シラバスやLMSを通じて通知されますので、よく確認するようにしてください。

授業によっては、全15回のうち対面とオンラインを組み合わせるもの (ハイブリッド、ハイフレックス) もあります。本学では、さまざまな授業の開講形態を次の表のとおり仕分け、「対面授業」と「メディア授業」に区別し、各科目のシラバスにおいて、「開講形態」と「授業区分 (対面授業とメディア授業の区別)」を明記しています。

区分	開講形態	授業方法
対面授業	対面	すべて対面で行う授業
	対面中心	対面授業とオンライン・オンデマンド授業を併用して実施するもので、対面の割合が授業時間の半数以上のもの (15回の場合 8回以上)
対面授業	ハイブリッド	すべての学生に授業時間の半数以上の対面での出席を求める場合 (原則対面)
メディア授業	オンライン (オンデマンド) 中心	対面授業とオンライン・オンデマンド授業を併用して実施するもので、対面の割合が授業時間の半数未満のもの (15回の場合 8回未満)
	オンライン (オンデマンド)	すべてオンライン (オンデマンド) により実施する授業
	ハイフレックス	すべての学生に授業時間の半数以上の対面での出席を求めない場合 (自由選択)

(7) 休講と補講

授業担当者が、公務や急病などによって授業が行えなくなる場合、休講となります。休講の予定は、原則として1週間前から掲示しますが、当日連絡での掲示となることもあります。掲示がないのに授業担当者が来ない場合は、学務課まで問い合わせてください。

休講は本学ホームページや携帯電話でも確認することができます。電話での問い合わせはできません。なお、休講などで授業時間が不足する場合に、学期末の補講期間を使って補講が行われることが

あります。掲示などの連絡に注意してください。

▼奈良女子大学ホームページ

HOME > 修学案内 > 教室変更・集中講義・休講通知・補講情報

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/education/info/notice/>



また、気象条件の悪化によって、全学で授業が休止されることがあります。奈良県北部（北西部、北 東部、五條・北部吉野地域の市町村）に特別警報あるいは暴風警報が発令された場合は、次の表のような扱いとなります。

警報の種類と発令の時間	休講措置
午前7～9時の間に特別警報あるいは暴風警報が発令された場合	警報が解除されても午前中は全学休講
午前11時を過ぎても特別警報、暴風警報が解除されない場合	午後も全学休講
授業開始後に特別警報、暴風警報が発令された場合	原則としてその時限の授業は平常通り実施、次の時限以降は全学休講

(8) 交通機関の運休に伴う授業の取扱について

気象条件の悪化等により次の交通機関の各線とも、全区間で運休した場合、授業を休講とします。

- ・近畿日本鉄道 近鉄難波線・奈良線（大阪難波～近鉄奈良）
- ・JR西日本 大和路線（JR難波～加茂）

なお、運転再開された場合の取扱は次のとおりとします。

運転再開時刻	授業の取扱
午前7時までには運転開始された場合	平常どおり
午前11時までには運転開始された場合	午後授業実施（午前中休講）
午前11時を過ぎても運転開始されない場合	全日休講

※自宅周辺や通学経路の状況により通学が困難な場合は無理をして通学せず、後日学務課各担当係に相談してください。

(9) 授業の公欠・忌引

特殊な事情（以下）で授業を欠席する場合には、公欠・忌引の届け出によって欠席したものとして取扱いません。事由によって、次の表に示す係で所定の届け出用紙に記入して手続を行い、科目担当教員に手渡してください。

公欠扱いとなる事項

事由	期間	担当課・係
教育実習、栄養教育実習	実習の期間及び実習校との打合せ期間	学務課・学務係
教職実践演習	附属学校園での学校観察日	
介護等体験	体験の期間	
博物館実習	実習の期間	
学校保健安全法施行規則に定められた感染症の治療（※1）	医師の診断等による期間	学務課・各所属学部（大学院）係
課外活動関係（※2） （近国体を含む。）	原則として競技大会、コンクール等開催日のみ	学生生活課・学生生活係
裁判員	裁判所へ出頭する期日	学生生活課・就職係
就職試験（※3）	原則として試験日のみ	

※1 感染症の治療による公欠を願い出る場合は、本学所定の様式（学校感染症 登校許可証明書）を診断された医師により作成してもらうか、医師の診断書を所属学部（大学院）係に提出してください。（本学指定様式に対応いただけるかは、各医療機関の判断になります。また、発行手数料については、各医療機関にご確認ください。）本学所定の様式は右のQRコードからダウンロードできるほか、学務課の窓口にも置いています。



本学で公欠として認められる感染症… エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る）、中東呼吸器症候群（MERS）、鳥インフルエンザ、インフルエンザ、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）（耳下腺炎は不可）、風しん（三日はしか）、水痘（みずぼうそう）、咽頭結膜熱、結核、髄膜炎菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、流行性嘔吐下痢症（感染性胃腸炎：ノロウイルスなどによっておこる嘔吐や下痢）の学校保健安全法施行規則第18条に示す感染症。

- ※2 課外活動関係で公欠を願い出る場合は、大会等の実施要項等及び願出者が出場等することが確認できる資料を添えてください。
- ※3 就職試験による公欠を願い出る場合は、試験当日、就職試験を実施される企業等のご担当者に確認印を押印いただく必要がありますので、事前に学生生活課就職係で関係書類を受け取ってください。

忌引扱いとなる事項

続柄	期間（葬儀日を含む）	担当課・係
父母・配偶者	7日以内	学務課・所属の学部係
子	5日以内	
祖父母・兄弟姉妹	3日以内	
会葬礼の葉書等死亡日が確認できる書面を添付すること 葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を上記期間に加えた日数とする その他特別な事情による場合は、上記期間の限りでない		

(10) 欠席届

公欠・忌引とは別に、病気やその他の理由で連続1週間以上欠席するときは、その都度学部長あてに届け出なくてはなりません。『キャンパスライフ 授業の公欠・忌引』ページ参照

(11) 奈良女ID、メールアドレスについて

奈良女IDは情報基盤センターより交付される大学のサービスを受けるための個人用ID（奈良女ID）です。発行と同時にIDに紐づく本学専用のメールアドレスが付与されます。メールアドレスには大

学からのお知らせや、LMSからの講義に関するお知らせが配信されますので、常にチェックできるようにしておいてください。

メールアドレスは以下の形式です。

(奈良女 I D) @cc.nara-wu.ac.jp

※ (奈良女 I D) 部分には入学時に配付された個人のIDが入ります。

奈良女メールアドレスあてに送信されたメールは、ウェブ上で確認することが可能で、使用するパソコンがインターネットに接続されていれば、学内外を問わずメールの送受信（一定の条件があります）ができます。利用方法の詳細は、情報基盤センターホームページで確認してください。

▼奈良女子大学ホームページ

HOME > 在学生の方へ > Active!mail

<https://www.nara-wu.ac.jp/itc/narajomail.html>

(12) 学習管理システム（奈良女 LMS）

本学では、「奈良女 LMS」（LMS=Learning Management System、以下「LMS」と略）を全学的に使用しています。このLMSはweb上で授業内容の告知や教材の提示、小テストやレポートの提出、教員からの学習指導などに使用されますので、ご自身が履修登録した科目について漏れのないように自己登録してください。LMSへのアクセスは、パソコン、タブレット、スマートフォンから可能です。

LMSへのアクセス方法や、授業コースの登録方法等については、本学ホームページから参照してください。

▼奈良女子大学ホームページ

HOME > 修学案内 > 奈良女 LMS

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/education/lms/index.html>

LMS に関する問い合わせは下記のメールアドレスへ連絡してください。

奈良女子大学 LMS 運用チーム lms_admin@cc.nara-wu.ac.jp

※本人確認のため、大学発行のメールアドレス（@cc.nara-wu.ac.jp）から連絡してください。

(13) 学習支援活動

大学生の勉強は、授業に出て単位を取るだけではありません。本学では、全学的連携組織である「学生支援室」の下で、学術情報センターや国際戦略センターなどが各種の学習支援企画を実施しています。いずれも日頃の学習やスキルアップ、国際交流体験に役立つ企画です。下記の案内を参考に、積極的な学びに取り組んでください。

①学術情報センター（附属図書館）・情報基盤センターの学習支援企画

学習支援企画一覧

学習	企画名	日程	企画の概要	申込みについて	問い合わせ先・詳細
情報基盤センター	新入生向けネットワークガイダンス	4月上旬～中旬	情報セキュリティやサーバー管理パソコンに関する説明をします。	★入学式で案内を配付します。	情報基盤センター 0742-20-3251 pcroom@cc.nara-wu.ac.jp https://www.nara-wu.ac.jp/itc
学術情報センター (附属図書館)	新入生向けガイダンス	4月、10月初旬	学術情報センターの施設・資料の利用方法や検索方法についてセンター内ツアーを交えてご案内します。	●詳細：学術情報センターHPでお知らせします。 ★入学式でも案内を配付します。	情報サービス係 0742-20-3303 service@cc.nara-wu.ac.jp https://www.nara-wu.ac.jp/aic
	留学生向けガイダンス	4月下旬 10月下旬に予定	留学生向けに、学術情報センターの利用方法や蔵書検索方法、Webサービスの活用法などをわかりやすくご案内します。センター内ツアーも行います。	●詳細：学術情報センターHPでお知らせします。	
	論文の探し方・データベースの使い方講習会	5～6月、10～11月に予定	学術情報センターでは、国内外の様々な文献を探せるデータベースや電子ジャーナルを各種ご用意しています。皆様の学習・研究に役立つよう、検索から文献の入手までを分かりやすくご案内します。	●詳細：学術情報センターHPでお知らせします。	
	卒論・修論のための文献探索講座	6月、11月に予定	先行研究を探すための文献データベースの使い方、文献の入手方法、参考文献として利用する際の注意点など、論文作成に役立つスキルをまとめてご紹介します。		
	オーダーメイド講習会	日程はご希望に応じて調整	定例の講習会に参加できなかった方のために、ご希望の日程・内容で承ります。(蔵書検索方法・新聞記事の探し方・参考図書の利用法・電子ジャーナルや各種データベースの使い方など..)	●ご相談・お申し込み先：サービスデスク ●詳細：学術情報センターHPで案内しています。	

②留学・国際交流活動について（国際戦略センター（N103）、国際課（N102））

(1) 海外留学を希望する学生の方へ

○留学相談・説明会

- ・国際戦略センターでは、期間や種類を問わず、幅広い留学の相談を受け付けています。相談希望者は、まず“ならじょ”から留学!! サイト内の各種情報を確認したうえで、留学相談フォーム（学内専用）からご連絡ください。



また、海外留学説明会、海外留学等の体験報告会、TOEFL、IELTSについての説明会などを実施しています。

○海外短期研修

国際戦略センターでは、以下をはじめとした様々な海外短期研修を実施しています。詳細は「“ならじょ”から留学!!」サイトをご覧ください。

- ・グローバル女性人材養成プログラム（フィリピン）（8～9月）

QQ English ITパーク校にて研修を行います。滞在形式は寮。特にスピーキング能力を高めるためのトレーニングを集中的に行い、英語運用能力の向上を図ります。

- ・グローバル女性人材養成プログラム（ニュージーランド）（2月～3月）

リンカーン大学English Language Centreにて研修を行います。滞在形式はホームステイ。英語学習に留まらず、リンカーン大学の学生との交流や地元のイベントへの参加を行う予定です。

- ・グローバル女性人材養成プログラム（ヨーロッパ）（2～3月）

パリやブリュッセルなど欧州に本部を置く国際機関を訪問し、国際機関の役割と活動について理解を深めます。また「水の都」ヴェネツィアなどの世界遺産を見学し、欧州の歴史と文化を学びます。さらに欧州の学生との交流を通じ、欧州における日本文化の影響などを考察します。

○国際チャレンジ活動

科目化されていない大学等主催の海外研修や、個人で計画した海外における活動（留学、インターンシップ等）の中で、キャリア形成に有益であると認められるものについて単位を認定します。事前に登録は必要ありません。なお、海外における活動時間は22.5時間以上必要（オンライン可）です。

注）4回生は、活動終了日が10月1日以降の計画については申請できません。

詳細は「“ならじょ”から留学!!」サイトをご覧ください。

○国際チャレンジ活動（アカデミック）

海外での研究発表（学会やシンポジウム、研究交流会など）や共同研究のうち、キャリア形成に有益であると認められるものについて単位を認定します。活動時間は22.5時間以上必要（オンライン可）。詳細は「“ならじょ”から留学!!」サイトをご覧ください。

○交換留学（1年以内、正規生のみ）

この制度は、奈良女子大学と海外の大学が締結している“授業料等を不徴収とする大学間学生交流協定”に基づいて、海外の協定大学に留学する制度です。次のような特徴があります。

- ・留学先の大学で取得した単位の互換が可能（認定審査あり）。
- ・留年せずに卒業できる（留学時期や学生の取得希望資格等により、留年が必要な場合もあり）。
- ・留学中の授業料は、留学先大学ではなく本学に納める。

募集時期は、原則留学開始前年度の7月頃です。（お問い合わせ先：国際課留学生係）

○海外インターンシップ（セブ）

グローバル女性人材養成プログラム（フィリピン）の研修先にて、半年間のインターンシップを行います。宿泊や食事等は無料で提供されます。また、週に20時間のマンツーマン英語レッスンを受講することができます。6年一貫プログラムの一部として参加可能（学部、コースにより制限有）。（お問い合わせ先：国際戦略センター）

○単位認定留学制度

交換留学以外の留学であっても、一定の条件のもと、本学が指定する留学先にて単位取得をした場合は、単位を認める制度です。在籍の取り扱いには、以下の2パターンがあります。

・パターンA

留学期間を在学期間を含める。卒業要件を満たせば4年で卒業可能。(ただし、留学費用と本学への学費を同時に納める必要あり。)

・パターンB

留学期間中は休学する。(休学期間中、本学への学費支払いは必要なし。)

詳細については、5月に実施する海外留学説明会でお知らせします。(お問い合わせ先：国際戦略センター)

○語学力向上支援

- ・「Global Studies and Communication A・B」(前・後期)を開講(授業外課題としてオンライン英会話の受講含)
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「TOEFL対策講座」を開講。
- ・国際戦略センターでは、TOEFLやIELTS等をはじめとした外国語学習に関する図書の貸出をしています。

(2) 留学生の方へ

○講座

- ・日本語科目「日本語FⅠ(1)(2)」「日本語FⅡ(1)(2)」「日本語FⅢ(前期)」「日本語FⅣ(後期)」「日本語JⅠ・Ⅱ」(前・後期)、「日本事情A・B」(前・後期)を開講。
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「ビジネス日本語A・B」(前・後期)を開講。
- ・「国際キャンパス奈良への招待A・B」(前・後期)を開講。
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「留学生キャリア形成チャレンジ」を開講。
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「国際交流キャリア形成支援」を開講。
- ・教養科目「Modern Japanese Literature and Media A・B」(前・後期)、「Japanese Culture and History A・B」(前・後期)、「Contemporary Japanese Society A・B」(前・後期)、「Traditional Japanese Culture A・B」(前・後期)を開講。



○イベント

- ・国際戦略センターでは、留学生が日本の文化・歴史・産業等について学ぶことのできるイベントを開催しています。

○図書の貸出

- ・国際戦略センターでは、日本語能力試験対策をはじめとした日本語、日本文化に関する本の貸出をしています。

○学習・生活相談

- ・国際戦略センター及び国際課では留学生の学習や生活、修学上の悩みの相談に対応しています。相談したいことがある場合は、遠慮なく国際戦略センターもしくは国際課へお越しください。

(3) 国際的な活動に興味のある方へ

○講座

- ・「国際キャンパス奈良への招待A・B」(前・後期)を開講。
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「留学生キャリア形成チャレンジ」を開講。
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「国際交流キャリア形成支援」を開講。
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「Global Citizenship Seminar」(後期)を開講。

○留学生チューター制度

チューターは留学生の学習・研究や日常生活（学内外の案内、官庁等での諸手続き、買い物等）の個別のサポートを行うことにより、留学生が短期間で日本の習慣に慣れ、学習・研究効果の向上を図ることを目的としたものです。国際課ではチューターバンクを設け、留学生のチューターとして登録いただける方を募集しています。任用対象は学部2回生以上、有償。（お問い合わせ先：国際課留学生係）

○奈良女子大学国際交流空間CotoQue（ことく）

大学会館2階にあるCotoQueは、いろいろな国の言葉や文化に触れられるイベントを行う場所です。イベント以外の時間も、日本人学生や留学生が気軽に集い、交流を行う場として活用することができます。イベントの予定は、HPやポスター掲示にて周知します。また、学生の持ち込み企画も随時募集しています。（お問い合わせ先：国際戦略センター）

○日本語ボランティア

留学生の日本語学習をサポートするボランティアです。ペアを決めて、原則週1回90分活動を行います。あくまでも、友人としてサポートしますので、特別な知識やスキルは必要ありません。募集は、前期と後期に行います。（お問い合わせ先：国際戦略センター）

(4) 海外の国際学会で発表を行う方へ（大学院生のみ対象）

- 「奈良女子大学国際学術交流奨励事業」を実施し、大学院生が国際学会等で発表する際の航空運賃を支援しています。（お問い合わせ先：国際課）

2 単位制

(1) 単位とは

すべての授業科目には単位が設定されています。単位とは、その科目を修得するために必要な時間の量を示すもので、授業時間と受講に必要な自主学習の時間を基礎として算出されます。単位の計算方法は、学校教育法にしたがって、本学の学則と学部規程に定められています。

(2) 単位の基準

授業科目は6つの形態に分類され、単位の計算方法は、授業形態によって異なります。

授業形態	内 容	単位の計算方法	
		教室での授業	自主学習の時間
講 義	教員が学生に対して、学問研究の内容を説明することにより知識を授ける授業形態	15時間の講義を 1単位とする	30時間
演 習	教員の講義とともに、学生も討議・研究発表等を行いつつ指導を受ける授業形態	15～30時間の演習を 1単位とする	30～15時間
実 験	理論や推論が正しいか、一定の条件で試してみる授業形態	30時間～45時間の 実験・実習・実技を 1単位とする	15～0時間
実 習	学んだ知識をもとに実際場で学習する授業形態		
実 技	学んだ知識をもとに実地の技術や演技を行う授業形態		
複 合	上記授業方法の二つ以上の併用	授業形態の組み合わせに応じた時間の授業をもって1単位とする	

例えば2単位が設定された講義科目であれば、30時間の講義が行われることとなります。本学では授業時間を90分ごとに区切り、これを2時間の学修とみなしますから、都合15回の授業が行われるわけです。

なお、単位には授業の時間だけでなく、受講者による自主的な学習の時間も含まれています。授業は、予習・復習、課題や発表の準備など、受講者の意欲的な自主学習に支えられて初めて成り立ちます。このような自主学習については、各科目のシラバスに記されるほか、授業中に担当教員より指示があります。

(3) 入学前の既修得単位、学外での学修の単位認定

本学に入学する前に他の大学や短期大学で履修した授業科目について修得した単位（大学において科目等履修生として修得した単位を含む。）については、一定の条件で本学での卒業要件の履修単位として認定されます。入学前の既修得単位の認定を希望する場合は、入学時に学務課に申請する必要があります。

また、本学に在籍する学生が、本学と単位互換協定を結んでいる他大学で修得した単位や、交流協定を結んでいる外国の大学への正規の留学で修得した単位については、一定の条件で本学の卒業要件の履修単位として認定されます。さらに、その他の学外での学修、例えばTOEIC、TOEFL、実用英語技能検定（英検）等で一定の成績を修めた場合などに、本学の卒業要件の履修単位として認定されることがあります。

以上については、履修登録との関係で、学期の最初に各教授会で単位認定が行われます。いずれの場合も、所定の手続が必要となりますので、期限までに学務課の所属学部担当係に必要書類を提出してください。（申請書は学務課の所属学部担当係にあります。）

区 分	申 請 期 限	必要書類等	提出先
他大学等における 既修得単位に係る 単位認定	前期：令和7年4月7日(月)午後5時 後期：令和7年8月18日(月)午後5時	申請書 他大学等の成績証明書 科目内容を記した シラバス	学務課の 所属学部 担当係

(4) 外国語科目における単位認定制度

学外での学修において、所定の基準をみたす場合、本学の外国語科目の履修単位として認定することができます。希望者は各外国語の認定に関する注意事項と基準の表を確認し、下記申請期限までに申請書類を学務課の所属学部担当係に提出してください。

なお、提出の前に、各外国語の専任教員もしくは学務課の所属学部担当係に相談することを強く勧めます。

申請期限	必要書類	提出先
前期：令和7年4月8日（火）午後5時 後期：令和7年10月1日（水）午後5時	・申請書 ・成績を証明する書類	学務課の 所属学部担当係

(英語の単位認定に関する注意事項)

- 検定試験の資格は、申請時において当該試験の資格取得後2年を経過しないものに限り、認定の対象となる。
- 外国語の単位認定対象は、所属学部・学科における外国語の卒業要件単位のみである。（外国語の卒業要件単位を超えて基礎科目群の単位に算入される単位には、使用できない。）
- 既に卒業要件単位をすべて修得している外国語科目については、単位を認定しない。
- 各種検定試験の結果を本学および他の教育機関において既に単位認定に利用している場合、その結果を再度利用することはできない。
- 単位認定の上限は4単位とする。
- 単位認定は一つの群につき一度限り行う。
(例. TOEICで650点～799点を取得し2単位を過去に認定された者は、もう2単位の申請をする場合は、TOEIC 800点以上や英検1級など、I群に指定されているいずれかの資格を新たに取得する必要がある。ただし、他の注意事項の情報を満たしていること。)
- IIの群の学修により2単位を付与された者が後にIの群の基準を満たした場合は、新たに付与される単位数は2単位である。
- Iの群で4単位を付与された者は、IIの群での申請はできない。

英語

学修の種類	本学において履修したとみなす授業科目	付与される単位数
I ・実用英語技能検定1級 ・TOEIC L & R 800点以上 (IPテストを含む) ・TOEFL iBT91点以上*	コンプリヘンシブ・イングリッシュ、プラクティカル・イングリッシュ、アカデミック・イングリッシュまたはプレゼンテーション・イングリッシュ	4単位
II ・実用英語技能検定準1級 ・TOEIC L & R 650点～799点 (IPテストを含む) ・TOEFL iBT68点～iBT90点	コンプリヘンシブ・イングリッシュ、プラクティカル・イングリッシュ、アカデミック・イングリッシュまたはプレゼンテーション・イングリッシュ	2単位

* IPテスト：奈良女子大学TOEIC実施委員会等が実施する団体特別受験制度によるテスト（下記を参照）

* iBT: internet Based Testing

TOEIC IPテストについて

本学では、TOEIC IPテストを学内で年間5回実施しています。

TOEIC（トイーック）とはTest of English for International Communicationの略称で、英語によるコミュニケーション能力をスコアで評価する世界共通のテストです。

このテストは日本でも大学や企業で英語能力を測定する基準として取り入れられており、就職活動にも役立っています。

実施月：5月・6月・9月・11月・2月（日時は後日掲示します。）

- (1) 申込期間：実施日の約3週間前の2週間
- (2) 申込場所：生協
- (3) メリット：団体受験により、受験料が個人受験より安価になります。(7,810円→4,000円)

(ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・韓国語の単位認定に関する注意事項)

1. 検定試験の資格は、申請時において当該試験の資格取得後2年を経過しないものに限り、認定の対象となる。
2. 外国語の単位認定対象は、所属学部・学科における外国語の卒業要件単位のみである。(外国語の卒業要件単位を超えて基礎科目群の単位に算入される単位には、使用できない。)
3. 既に卒業要件単位をすべて修得している外国語科目については、単位を認定しない。
4. 各種検定試験の結果を本学および他の教育機関において既に単位認定に利用している場合、その結果を再度利用することはできない。
5. 単位認定の上限は、同一グレード（IまたはII）につき4単位とする。
6. 単位認定は同一グレード（IまたはII）につき一度限り行う。ただし、先に前期科目のみで2単位の認定を受けた者が、上位の資格を以って、同一グレードの残り2単位の認定を申請することは妨げない。
7. 単位認定を受けようとする者が、認定対象の外国語科目の一部について既に単位を修得している場合、所属学部・学科・コースにおける外国語の卒業要件単位数を上限として認定する。例) フランス語8単位をそろえる文学部生が、既に6単位を修得している場合、2単位のみ認定される。
8. 単位認定を受けようとするグレード（IまたはII）より上のグレードについてすでに単位認定を受けている場合、下のグレードでの申請はできない。同一検定試験の異なるレベルの資格を同時期に取得した場合、両方の資格を以って単位認定を申請することは妨げない。

ドイツ語

学修の種類	本学において履修したとみなす授業科目	付与される単位数
<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語技能検定試験(独検) 2級以上 ・ゲーテ・インスティトゥートのドイツ語検定試験(Goethe-Zertifikat) B1以上 ・オーストリアのドイツ語検定試験(ÖSD) B1以上 	ドイツ語IA、ドイツ語IB、ドイツ語IIA、ドイツ語IIB	8単位
<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語技能検定試験(独検) 3級 ・ゲーテ・インスティトゥートのドイツ語検定試験(Goethe-Zertifikat) A2 ・オーストリアのドイツ語検定試験(ÖSD) A2 	ドイツ語IA、ドイツ語IB、ドイツ語IIA、ドイツ語IIB	4単位

<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語技能検定試験(独検) 4級 ・ゲーテ・インスティトゥートのドイツ語検定試験 (Goethe-Zertifikat) A1 ・オーストリアのドイツ語検定試験 (ÖSD) A1 	ドイツ語IA、ドイツ語IB	4単位
<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語技能検定試験(独検) 5級 	ドイツ語IA(前期科目のみ)、ドイツ語IB(前期科目のみ)	2単位

フランス語

学修の種類	本学において履修したとみなす授業科目	付与される単位数
<ul style="list-style-type: none"> ・実用フランス語技能検定試験(仏検) 2級以上 ・DELF B1以上 	フランス語IA、フランス語IB、フランス語IIA、フランス語IIB	8単位
<ul style="list-style-type: none"> ・実用フランス語技能検定試験(仏検) 3級 ・DELF A2 	フランス語IA、フランス語IB、フランス語IIA、フランス語IIB	4単位
<ul style="list-style-type: none"> ・実用フランス語技能検定試験(仏検) 4級 ・DELF A1 	フランス語IA、フランス語IB	4単位
<ul style="list-style-type: none"> ・実用フランス語技能検定試験(仏検) 5級 	フランス語IA(前期科目のみ)、フランス語IB(前期科目のみ)	2単位

中国語

【文学部】

学修の種類	本学において履修したとみなす授業科目	付与される単位数
<ul style="list-style-type: none"> ・中国語検定 2級以上 ・HSK(漢語水平考試) 5級以上 	中国語I、中国語II	8単位
<ul style="list-style-type: none"> ・中国語検定 3級 ・HSK(漢語水平考試) 4級 	中国語I、中国語II	4単位
<ul style="list-style-type: none"> ・中国語検定 4級 ・HSK(漢語水平考試) 3級 	中国語I	4単位

【生活環境学部】【工学部】

学修の種類	本学において履修したとみなす授業科目	付与される単位数
<ul style="list-style-type: none"> ・中国語検定 4級以上 ・HSK(漢語水平考試) 3級以上 	中国語I	4単位
<ul style="list-style-type: none"> ・中国語検定 準4級 ・HSK(漢語水平考試) 2級 	中国語I(前期科目のみ)	2単位

スペイン語（※文学部、生活環境学部の一部学科のみ該当）

学修の種類	本学において履修したとみなす授業科目	付与される単位数
・スペイン語技能検定試験 4級以上 ・DELEスペイン語検定 B1以上	スペイン語初級Ⅰ、スペイン語初級Ⅱ、スペイン語中級Ⅰ、スペイン語中級Ⅱ	4単位
・スペイン語技能検定試験 5級 ・DELEスペイン語検定 A2	スペイン語初級Ⅰ、スペイン語初級Ⅱ	2単位

ロシア語（※文学部、生活環境学部の一部学科のみ該当）

学修の種類	本学において履修したとみなす授業科目	付与される単位数
・ロシア語検定試験（日本対外文化協会）第1レベル以上 ・ロシア語能力検定試験（ロシア語能力検定委員会）3級以上	ロシア語初級Ⅰ、ロシア語初級Ⅱ、ロシア語中級Ⅰ、ロシア語中級Ⅱ	4単位
・ロシア語検定試験（日本対外文化協会）基礎レベル ・ロシア語能力検定試験（ロシア語能力検定委員会）4級	ロシア語初級Ⅰ、ロシア語初級Ⅱ	2単位

韓国語（※文学部、生活環境学部の一部学科のみ該当）

学修の種類	本学において履修したとみなす授業科目	付与される単位数
・韓国語能力試験 2級以上 ・「ハングル」能力検定試験 3級以上	韓国語初級Ⅰ、韓国語初級Ⅱ、韓国語中級Ⅰ、韓国語中級Ⅱ	4単位
・韓国語能力試験 1級 ・「ハングル」能力検定試験 4級	韓国語初級Ⅰ、韓国語初級Ⅱ	2単位

(5) 卒業要件

本学を卒業するために最低限必要な単位を、卒業要件単位といいます。本学では学校教育法に基づいて、学則に「124単位以上」と定め、詳細は各学部規程で決められています。一部の学部・学科では124単位を上回る卒業要件が設定されていますから、学部規程をよく見て確かめてください。

また卒業要件単位の内訳として、各学部で教養教育と専門教育のそれぞれに最低必要単位数を設け、さらに各学科・専攻で修得すべき専門科目の単位数を定めています。これらの詳細については、各学部規程と『専門教育ガイド』に掲載される履修案内を熟読してください。

(6) 早期卒業

優秀な成績で所定の卒業要件単位を修得した場合、3年以上4年未満の在学期間で卒業が認められることがあります。これを「早期卒業」といいます。早期卒業については、各学部でそれぞれ取り決めがありますから、学務課の所属学部担当係まで問い合わせてください。

(7) 卒業要件単位に算入できるメディア授業科目の単位数

学部生については、「メディア授業」の科目を受講して取得する単位について卒業要件に算入できる単位数の上限は、他大学等で履修した単位の認定と併せて60単位までと定められています。学生の皆さんは、4ページ掲載の授業の分類により、60単位上限に留意しながら学修計画を立てる必要があります。各科目のシラバスにおいて、「対面授業」「メディア授業」の区別を明記していますので、過度にメディア授業科目の履修に偏らないよう留意してください。なお、卒業要件に算入できるメディア授業の単位数は60単位が上限となりますが、在学中に60単位を超えてメディア授業を履修し、単位を取得すること自体は問題ありません。

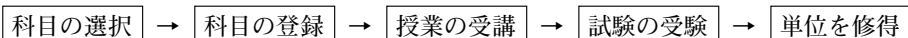
※令和2年度から令和5年度前期に取得した単位については、新型コロナウイルス感染症に対する緊急時の特例的な措置により、メディア授業であっても「卒業要件単位の60単位上限に含めない」扱いとします。

3 履修登録

(1) 履修とは

科目の「履修」とは、科目の受講を登録し、受講して成績評価を受け、一定以上の成績を修めて単位を修得することを意味します。したがって各学期の最初に行われる履修登録にミスがあると、履修そのものが成り立ちません。また、卒業要件の充足や各種資格の取得など、入学から卒業までの学年や段階に応じて、計画的に履修していく必要があります。以下の事項によく注意して、充実した学修を進めてください。

履修の流れ



(2) 履修登録期間

履修登録期間は下記のとおりです。

	時 期	内 容	備 考
前 期	4月4日(金)～4月9日(水)	履修科目の登録	Web履修登録・修正 (キャンパスメイトで登録・修正)
	4月17日(木)～4月23日(水)	履修登録の修正	
後 期	9月26日(金)～10月1日(水)	履修科目の登録	
	10月9日(木)～10月15日(水)	履修登録の修正	

(3) 履修登録方法

① 履修登録

履修登録は、「キャンパスメイト（教務システム [Campusmate-J]）」（以下、「キャンパスメイト」という。）を使用して、Web上で行います。個別に通知されたID、パスワードを使用してログインし、履修登録期間内に必ず登録を完了してください。履修登録期間を過ぎた後の修正はできませんので、十分注意して、確実に登録してください。（履修登録期間及び履修登録修正期間以外は、キャンパスメイトの「履修登録」メニューは使用できなくなります）

履修登録期間中は、自宅のパソコン、スマートフォン等からいつでも登録・修正をすることができます。

▼教務システム [Campusmate-J] ログインページ

HOME > 修学案内 > 履修登録 Campusmate-J > キャンパスメイト

<https://camjweb.nara-wu.ac.jp/campusweb/top.do>

<https://camjweb.nara-wu.ac.jp/campusweb/sptop.do>（スマートフォン）



履修登録以外の機能を含めた詳細な操作手順書は、大学ホームページへ掲載しています。

HOME > 修学案内 > 履修登録 Campusmate-J > キャンパスメイト使用マニュアル

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/education/affairs/entry/>

② 履修登録の修正

履修登録の修正（追加・取消）は、各学期の履修登録修正期間にキャンパスメイトを使用して、履修登録と同様にWeb上で行います。履修登録修正期間中、キャンパスメイトの「履修登録」メニューが再度使用できるようになりますので、登録科目の修正を希望する場合は、履修登録期間と同様の方

法で履修科目の追加・削除をして再度登録を行ってください。履修登録の修正をしない場合は、キャンパスメイトでの操作・登録は必要ありません。

③登録内容の確認

履修登録修正期間経過後、学務課において登録内容の確認を行います。その結果、次のような場合は、学務課において登録内容を修正することがあります。

- ・登録すべき必修科目が登録されていない場合
- ・履修制限等で履修できないと言われた場合
- ・指定したクラス以外のクラスを登録した場合
- ・事前の予備登録等が必要な科目で、予備登録等を行っていない場合

学務課から登録内容について連絡事項がある場合は、メール等を使用し、通知しますので、必ず確認してください。学務課による確認を経て履修登録内容の確定となります。履修登録結果は、キャンパスメイトの「履修確認」で必ず確認してください。もし、履修登録修正期間後にやむを得ない事情により訂正したい場合は、学務課所属学部係で相談するようにしてください。

(4) 履修登録時の留意事項

①履修登録時の留意事項

- ・1年間に登録できる単位の上限があるので、注意すること。
- ・二重登録（同一時間帯に複数科目の登録）は、できません。
- ・教育実習等の開講期が不定期、その他、不定期集中の科目は前期に履修登録すること（後期に再度登録する必要はありません）。成績は後期科目の成績と同時に通知されます。
- ・履修制限を行う授業科目があるので、注意すること。
- ・入学年度により履修方法が異なる場合があります。「全学教育ガイド」で確認すること。
- ・「放送大学教育協力型単位互換科目」については、集中講義の欄に登録すること。
- ・登録で分からないことがある場合は、事前に所属学部の教務担当教員、クラス担当教員や学務課の各学部（大学院）係に相談すること。

②履修登録修正時の留意事項

- ・登録取消を行った科目の単位数は、履修登録上限単位数から除かれます。
- ・当該学期分以外の履修登録を修正することはできません。
- ・前期に履修登録が必要な不定期、その他、不定期集中の科目は、前期の履修登録修正期間に修正する必要があります。
- ・指定したクラスがある科目のクラス変更はできません。
- ・登録修正期間を過ぎてからの修正は認められません。必ず修正期間中に手続きを行ってください。修正期間に登録を削除せず、履修しなかった場合には、成績評価（GPA）に影響することがあります。但し、登録修正期間後に日程が判明した集中講義については、集中講義同士の日程の重複等、個人的な事情によらない場合に限り、別途申請して認められれば修正することができます（GPA算出対象とはなりません）。この場合、修正理由が発生した後、速やかに申請してください。

(5) 履修登録単位の上限

①卒業要件単位の履修登録の上限設定

卒業要件単位の履修については、1年間に履修登録できる単位数に上限が設けられています。これは授業と自主学習の質を確保するために、法的に義務づけられていることで、本学では各学部規程で定められています。編入学生などに対して、特例が設けられている場合がありますから、各学部規程

と『専門教育ガイド』でよく確かめてください。

これはあくまでも「履修登録できる」単位数で、結果的に取得した単位数とは異なりますから、よく注意してください。

②卒業要件外の科目

本学の授業科目には、修得した単位が卒業要件単位に算入されるものと、算入されないものがあります。後者を「卒業要件外」と呼びます。基本的には「キャリア教育科目」（一部の科目を除く。）がこれに該当します。卒業要件外の科目の履修には、履修登録単位数の上限が課せられません。

(6) 成績優秀者表彰

1年間の成績が優秀だった学生については、各学部の定めるところにしたがって表彰されます。また成績優秀者については、翌年度の履修単位数の上限が緩和されます。詳細は『専門教育ガイド』を参照してください。

4 試験・成績及び学修成果

(1) 試験

学期末試験は、各学期末に設定された試験期間中に行います。試験や学期末レポートについては、授業中に指示されるほか、掲示によって予告されます。試験の時間や教室が、通常の授業と異なる場合もありますから、必ず確認してください。

試験の際には、必ず学生証を携行し、監督者の指示に従ってください。不正行為は厳しく処罰されます。対面かオンラインかを問わず、試験においてカンニング等の重大な不正行為を行った場合、当該学期の「全履修科目の単位を認定しない」等の措置をとります。また、レポート作成時に他者の著作や論文などを「調べて、書き写す」場合、出典を明らかにし、「引用」していることを明示しなければなりません。このルールを守らない場合、「盗用・剽窃」行為と見なされ、試験時におけるカンニングと同様、「不正行為」として厳しい処分の対象になります。さらに、他の学生のレポートを写して自分で書いたものとして提出した場合、写した本人だけではなく、写させた者も処分の対象になります。

病気や事故など、やむを得ない事情によって試験が受けられない場合は、「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。該当者は、すみやかに学務課の所属学部担当係に連絡してください。

(2) レポート

授業担当教員の指示により、レポートを学務課に提出する科目があります。レポートの課題や提出期限等は掲示で通知しますので、期限までに学務課に設置しているレポート提出ボックスに提出してください。なお、レポート提出ボックスを使用できる時間は以下のとおりですので、時間内に提出するように注意してください。

提出期限日の午後5時以降は受け付けできません。提出期日・時間は厳守してください。

学務課レポート提出ボックス使用可能時間	備 考
午前 8 時30分～午後 6 時00分 (授業期間外：午前 8 時30分～午後 5 時00分)	土・日曜日、祝日、夏季大学一斉休業・ 年末・年始等の閉室時は使用できません。

(3) 成績評価

①成績評価の観点

授業科目の成績評価は、試験だけでなく、多様な観点から行われます。評価の観点と割合は、各科目のシラバスに示されています。

②評価基準

科目ごとの成績は、100点満点でつけられた素点に基づき、シラバス記載の「学習到達目標」に照らして、次の区分で評価されます。

素 点	評 価
90点以上	S (学習到達目標を十分に達成し、傑出した水準に達している。)
90点未満 80点以上	A (学習到達目標の達成度が優れている。)
80点未満 70点以上	B (学習到達目標の達成度が良好である。)
70点未満 60点以上	C (学習到達目標を達成している。)
60点未満	F (学習到達目標を達成していないので単位が認定されない。)

「C」以上の成績を修めないと、履修単位が認められません。

(4) GPA (Grade Point Average) 制度

GPAとは、各自が履修した科目の成績を一定の方法で（計算式は下記）集計して、大学での学びの状況を数値化して示すものです。大学での学びの成果は決して数値だけで計れるようなものではありませんが、各自が自らの学びの状況を把握するための一つの指標として活用してください。

$$\text{GPA} = \frac{\text{GP: Grade Point}}{\text{履修したGPA算出対象科目の単位数の総和}} \times \text{当該科目の単位数} \text{の総和}$$

GPA計算式

科目名	単位数	素点	評価	G P
○○学概論	2	90	S	4
○○学講読	2	65	C	1.5
□□学演習Ⅰ	1	45	F	0
△△実習Ⅰ	1	80	A	3
△△実習Ⅱ	1	999	放棄	0

* GPAの実際の算出例

$$\textcircled{1} \dots (4 \times 2) + (1.5 \times 2) + (0 \times 1) + (3 \times 1) + (0 \times 1) = 14$$

$$\textcircled{2} \dots 2 + 2 + 1 + 1 + 1 = 7$$

$$\underline{\underline{\text{GPA} = 14 \div 7 = 2}}$$

※1 評価が「F」、「不可」の場合はGP = 0とする。

※2 GPA算出対象科目は、卒業要件科目のうち100点満点で評価するもの。それ以外の「認定科目や教員免許等の資格関連科目、単位互換の他大学科目、キャリア教育科目（「現代社会と職業」除く）は対象外。

また、所定の手続きを経て履修登録を取り消したものは除くが、「履修放棄」した科目は0として算出対象になるので、履修登録修正の手続き（9ページ参照）には十分に気をつけること。

算出された各学期および累計のGPA値は、その学期の成績表に記載されると同時に、指導を担当している学科・コース等の教員にも通知されます。GPA値は、各自の学びの状況把握に活用されると同時に、奨学生や成績優秀者を学内で選考する際の資料の一つとしても使われます。それ以外、外部に出す成績証明書等に記載されることはありません。

(5) 成績照会

成績は教務システム（Campusmate-J）の「成績照会」機能より確認してください。

(6) 成績評価の確認（異議申し立て）

各自の成績を見て、疑問点があった場合は、成績照会開始後の指定する期間に、学務課の所属学部（大学院）係に申し出てください。評価内容の確認とともに、必要に応じて担当教員から説明を求めることができ、場合によって成績が訂正されることがあります。申出の期間は掲示等で通知します。

(7) ディプロマ・ポリシー達成状況評価（令和2年度以降学部入学者）

ディプロマ・ポリシーに掲げる要素について、現時点でどの程度身につけているかを各授業科目の履修成績に基づき数値化し、レーダーチャートで可視化するディプロマ・ポリシー達成状況評価を令和5年度から導入しました（※1,2）。

現在までの学修成果を可視化し把握することで、どの要素は十分に学べているのか、どの要素が不

足しているのか、それをもとに、今後何をどのように学ばよいかを皆さん自身が考え、主体的な履修選択と学びに繋げていただくことを目的としています。また、大学が皆さんの学修成果を把握することで、本学の教育活動を見直し、さらなる改善に活用します。

ディプロマ・ポリシー達成状況を示すレーダーチャートは、教務システム（Campusmate-J）の「学生カルテ」機能より確認できます。

ディプロマ・ポリシー達成状況評価の結果（各評価項目の到達度）は、学部・学科が実施する教育内容における皆さんの履修選択の特徴を含めた結果が形となって表れるものであり、卒業時に全ての評価項目を達成（100％）することを求めるものではありません。また、履修科目の成績全てが反映されるものではなく、GPAとの相関はありません。

算出される結果は、あくまで自身の学びを把握するためのものであり、他の学生と数値を比較することや、奨学生や成績優秀者の資料に使用されることはありません。また、外部に出す成績証明書等に記載されることもありません。

- ※ 1 工学部においては、PBL（課題解決型チーム学習）を中心とした主要科目のルーブリックをもとに学習到達度評価を行い、独自のシステムで可視化を行います。詳しくはガイダンス等で確認してください。
- ※ 2 令和5年度の制度導入以降、達成状況評価の方法及びカリキュラムマップは、常に点検、見直しを行うため、一度算出した達成状況評価結果やレーダーチャートが変更になることがあります。

5 学籍・修業年限

(1) 修学年限と在学年限

入学から卒業までに要する期間を、「修業年限」といいます。本学では、学部では4年、編入学では2年と定められています。また、学生として在学が可能な年限を「在学年限」と呼び、修業年限を超えて在学することができます。学部では最長8年、編入学の場合は6年です。これらの期間には、休学の期間は含まれません（後述）。

(2) 在学中の留学

在学中に国外の大学などに留学する場合、事前に申請して学長の許可を得る必要があります。許可を得た留学の期間は、本学の在学期間に算入されます。

本学は、世界各国の大学と交流協定を結んでいます。その協定に基づいて、留学先に授業料を納めることなく留学できる制度、短期の交換留学制度などを設け、本学の学生を留学生として派遣しています。このほか、留学に関わる様々な奨学金制度もあります。留学については『キャンパスライフ』の「国際交流活動（海外留学）」の欄、本学のホームページや掲示で紹介しています。詳しくは国際課留学生係まで相談に来てください。

(3) 学籍異動

入学から卒業までの、学生の身分に関する事柄の記録を「学籍」といいます。次の事項については、学籍上の身分が異動することになり、そのための手続が必要です。教授会の決定を必要とする重要なことですから、よく考えて、家族や所属する学科等の担当教員ともよく相談のうえ、学務課の所属学部係で手続を行ってください。担当教員が不明な場合は学務課の所属学部係に問い合わせてください。

①休学

病気などやむを得ない事由によって、3か月以上にわたって修学が継続できない場合、許可を得て休学することができます。以下の条件で、手続が必要です。なお、休学可能な年限や在学可能な年限は、次表のとおり各区分で異なりますので注意してください。

区 分	修業年限	在学年限	休学年限（累計）	在籍年限（計）
学 部	4 年	8 年	4 年	12年
3 年次編入学	2 年	6 年	2 年	8 年

- ・ 休学の手続には、「休学願」【保証人の記名捺印が必要】とともに、詳細な理由書が必要です。また、病気・負傷のため休学する場合は、医師の診断書も併せて必要です。
- ・ 認められる休学期間は、1回に1年以内ですが、特別な事情があると認められれば、延長することができます。
- ・ 休学を許可された期間内であっても、その理由がなくなった時は、許可を得て復学することができます。なお、この場合は「復学願」の提出が必要です。
- ・ 休学期間は、卒業に要する修業年限に含まれません。したがって休学を含めて4年間の在籍期間では卒業できないことになります。
- ・ 休学期間の累計は、学部で4年間、編入学で2年間を超えることができません。
- ・ 休学期間は在学年限に含まれません。学部8年、編入学6年の在学年限の場合、休学期間の累計を加えて、学部で12年、編入学で8年の在籍が認められます。
- ・ 授業料納入月（4月と10月）以前（3月又は9月まで）に休学手続を行った場合は、休学を許可された期間分の授業料が免除されます。

- ・ 授業料未納者が休学を許可された場合でも、二期分が未納となった時点で「授業料未納による除籍」となります。
- ・ 休学した場合、その学期の授業科目の成績評価を受けることができません。ただし、休学前の学期に履修した科目については、「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。

以上の条件と手続を踏まえて、担任の教員や学科・専攻の教務担当教員などよく相談した上で、学務課の所属学部係で手続を行ってください。

②復学

休学を終え、「復学届」を提出することで、通常の学生生活に戻ることができます。休学期間が終わる1か月前までに、学務課の所属学部（大学院）係で手続を行ってください。復学した学期に履修した科目については、「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。

なお、休学期間中に復学を希望する場合は、「復学願」を提出し、許可を得なければなりません。

③退学

学業が続けられなくなった場合、退学によって在籍を打ち切ることができます。「退学願」【保証人の記名捺印が必要】に詳細な理由書を添えて、学務課の所属学部（大学院）係に提出してください。退学願を提出するためには、それまでの授業料が納入済でなければなりません。

また、授業料納入月（4月と10月）以前（3月又は9月まで）に手続を行えば、退学の日の翌月以降の授業料が免除されます。なお、許可を得て退学時の年次に再入学を認められることがあります。

④除籍

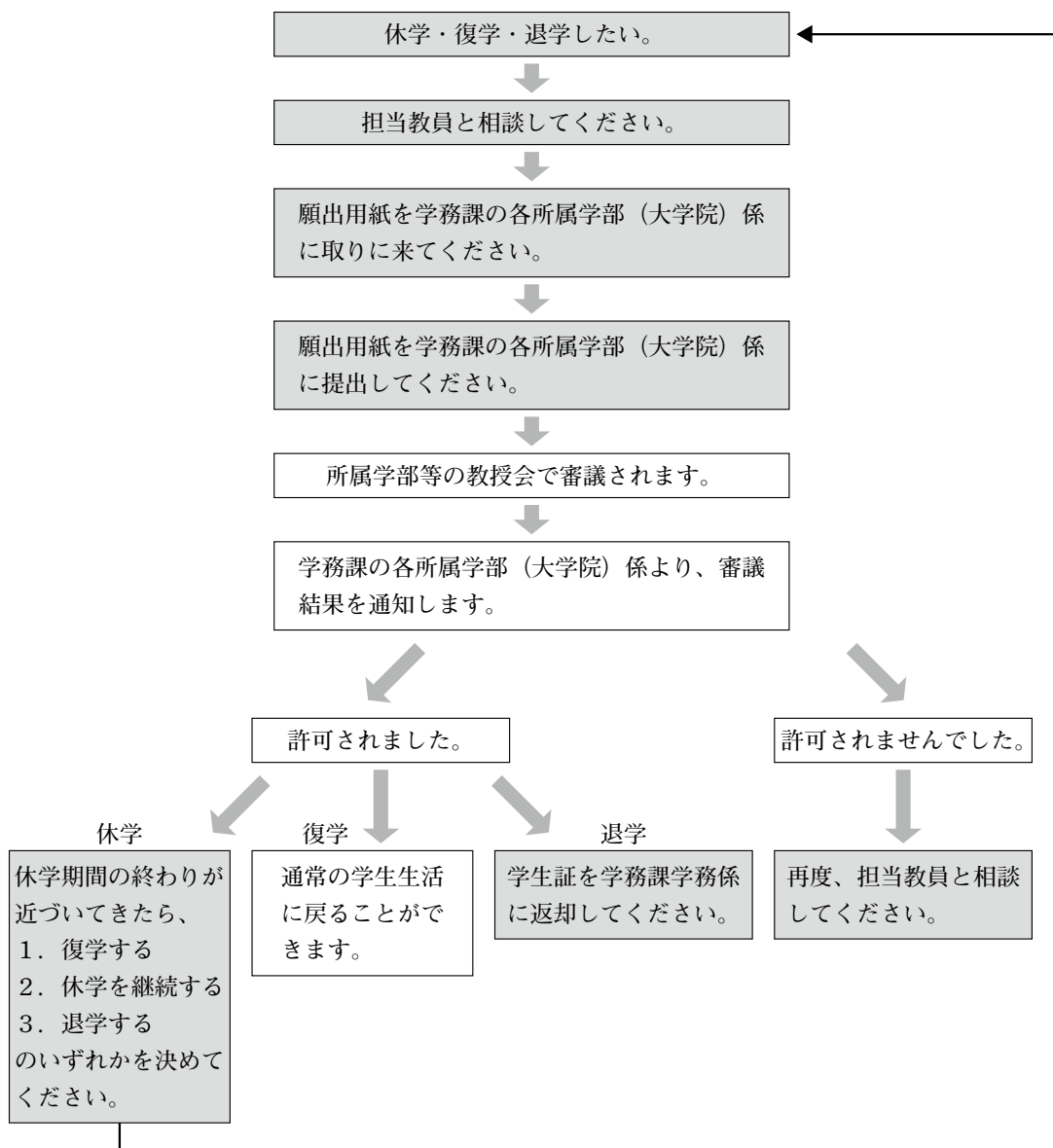
次の場合、学長によって除籍されます。

- ・ 所定の在学期間を超えても、学部の卒業資格が取得できない場合
- ・ 休学期間の累計の上限を超えても、なお修学できない場合
- ・ 入学料について、免除や徴収猶予が一部免除、あるいは不許可となり、期日までに所定の入学料が納入されなかった場合
- ・ 授業料を期日までに納入せず、督促してもなお納入されない場合。（この場合は、除籍時の年次に再入学が認められることがあります。）

⑤懲戒

学則に背き、学生としての本分に反する行為があった時は、教授会の議を経て学長による懲戒が行われます。懲戒として、戒告、停学、退学があります。

休学・復学・退学の手続き



- 休学・退学の願出理由が病気・負傷の場合は、詳細な理由書と併せて医師の診断書が必要です。
- 復学については、復学する時期によって手続きが異なります。
 - ・ 休学許可期間満了時の復学……「復学届」を提出してください。許可は不要です。
 - ・ 休学許可期間中の途中復学……「復学願」を提出し、許可を得る必要があります。（上図）
- 奨学金受給者は別途手続きが必要となりますので、学生生活課学生支援係に確認してください。

Ⅲ 教養教育科目の履修

1	本学の教養教育の理念	37
2	教養教育科目の仕組み・履修単位数	38
3	基礎科目群	44
	（1）外国語科目	44
	文学部	45
	理学部	49
	生活環境学部	52
	工学部	57
	外国語科目クラス分け・教科書一覧	61
	（2）日本語科目	71
	（3）保健体育科目	72
	（4）情報処理科目	75
4	教養科目群	76
5	積極開放科目	80

Ⅲ 教養教育科目の仕組み・履修案内

1 本学の教養教育の理念

「奈良女子大学的教養 —— 5つの問いと7つのアプローチ」

奈良女子大学ようこそ。

大学が「大学」である所以の一つは、高度な専門研究・教育と共に教養教育にあります。では「教養」とは何でしょうか。

よくある誤解は、幅広い知識や常識、というものです。たしかに知識は大切です。しかし死んだ知識をいくらたくさん持っていても、それは教養ではありません。では、「生きた」知とは何でしょうか。

実はこれは今、日本中の大学で問い直されている問題なのです。私たちの奈良女子大学では、「奈良女子大学的教養」を敢えて以下のような5つの問いのかたちで皆さんに提起したいと思います。これらの問いを自ら考え、共に実践すること、それ自体が教養教育であり、その結果、皆さんの身に付いたものが「教養」である、と私たちは考えます。

5つの問い ——

1. 大学ならではの学びとは何ですか？ [大学]
2. 女性ならではの知というのはありますか？ [女子]
3. 奈良で学ぶことを通じてあなたは世界にどんな貢献ができますか？
[奈良、グローバル]
4. 大学で学ぶことはあなたと未来の世代の人たちにとってどんな意味がありますか？
[次世代育成、未来]
5. あなたがよく生きるために必要な知と技（わざ）は何ですか？
[価値、モラル、知識、スキル]

これら5つの問いを皆さんが考え、実践するために、奈良女子大学の教養教育で私たちが重視しているのは、次の7つのアプローチです。

7つのアプローチ ——

1. 知の創造に参加する

大学は知の創造の場であり、奈良女子大学の教員は一人ひとりが第一線の研究者です。教養教育においても、多様な分野の教員の研究の最先端に触れることを通じて学びます。

2. 社会的実践に飛び込む

大学の知は社会の現実と切り結ぶ中で創造されます。社会は豊かな学びの源泉でもあります。仲間と共に社会的な問題の解決に取り組む実践を通じて、学びの意味を認識し、実感できることを重視します。

3. 本物に触れる

奈良は様々な「本物の」文化財や出来事に接する機会に恵まれた地です。大学でも、本物のモノや人や古典に触れることを通じて学びます。

4. 背伸びする

大学の授業は、受け身で知識を与えてもらう場ではありません。教師が敢えて教えず、学生が少し背伸びして、自ら行動し、調べ、考え、気づくことを大切にします。また、そのために自らの生活と学びを設計し、管理するトレーニングを行ないます。

5. しっかり書く

よく生きるためには、物事を論理的に、そして深く考えることが必要です。言葉を正確に読み取り、聞き取り、的確に要約して書くトレーニングを徹底的に行なうことを通じて、タフで懐の深い思考の力を養います。

6. 問いをあたためる

学問研究の対象も社会的現実も、簡単に短絡的に捉えることができない複雑さに満ちています。安易に答えに飛びつかず、「正しさ」を疑い、問いを持ちこたえ、あたためることを大切に学びます。

7. 他者と学ぶ、他者から学ぶ、他者を学ぶ

様々な「他者」——大学の仲間たち、社会の中で立場や専門や利害を異にする人たち、異なる文化に生きる人たち——と積極的にコミュニケーションし、共に問題解決に取り組む経験を通じて学びます。

以上のような「奈良女子大学的教養」の5つの問いと7つのアプローチは、以下のような教養教育カリキュラムの全体に具体化されていますが、さらに豊かな学びを実現するために、「パサージュ」と「教養コア科目」が開講されています。詳細については77ページ以下を参照してください。

2 教養教育科目の仕組み・履修単位数

「教養教育科目」は「基礎科目群」と「教養科目群」の2群に大別されています。この2群それぞれについて、最低限履修しなければならない科目や単位数が設定されています。単位数については、学部によって異なりますから、後掲の表で確かめてください。

基礎科目群の単位については、外国語科目と保健体育科目の必修単位を除き、基礎科目群の各分野の科目から選択履修することができます。できるだけ1・2年次の間に履修してください。

教養科目群の単位については、科目群全体から選択履修してください。各分野にまたがり、卒業までの全期間にわたって、まんべんなく履修するよう心がけてください。

なお全学部とも、基礎科目群の必修単位数を上回る単位は、教養科目群の履修単位として認められます。

教養教育科目の最低履修単位 (学部別)

文 学 部

〈令和7年度以降入学者対象〉

【子ども教育専修プログラム生以外】

		区 分	必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	16	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	2	
		計	20	外国語科目・保健体育科目の必修を含む合計
	教養科目群	18		

- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。
- 編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1または2単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

【子ども教育専修プログラム生】

		区 分	必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	16	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	2	「情報処理入門」必修
		計	20	外国語科目・保健体育科目の必修を含む合計
	教養科目群	10	「日本国憲法」必修	

- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。

〈平成31～令和6年度入学者対象〉

【子ども教育専修プログラム生以外】

		区 分	必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	16	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	2	
		計	20	外国語科目・保健体育科目の必修を含む合計
	教養科目群	18*		

* 高年次（3、4年）に履修することを別に指定する教養科目1単位以上を含む（P.180参照）

- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。
- 編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1または2単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

【子ども教育専修プログラム生】

区 分		必要単位数	備 考	
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	16	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	2	「情報処理入門」必修（令和6年度以前履修の場合は「情報処理入門ⅠまたはⅡ」必修）
		計	20	外国語科目・保健体育科目の必修を含む合計
	教養科目群	10*	「日本国憲法」必修	

*高年次（3、4年）に履修することを別に指定する教養科目1単位以上を含む（P.180参照）

○基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。

〈平成28～30年度入学者対象〉

区 分		必要単位数	備 考	
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	16	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	2	
		計	20	外国語科目・保健体育科目の必修を含む合計
	教養科目群	18		

○基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。

○編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1または2単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

理 学 部

〈令和7年度以降入学者対象〉

区 分		必要単位数	備 考	
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	8	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	—	選択履修
		計	12	外国語科目・保健体育科目の必修を含む合計
	教養科目群	18		

○基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。

○編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1または2単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

〈令和6年度以前入学者対象〉

区 分		必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	8 外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2 「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	— 選択履修
		計	12 外国語科目・保健体育科目の必修を含む合計
	教養科目群	18*	

*高年次（3、4年）に履修することを別に指定する教養科目1単位以上を含む（P.180参照）

- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。
- 編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1または2単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

生活環境学部

〈令和7年度以降入学者対象〉

区 分		食物栄養学科 心身健康学科 住環境学科 文化情報学科 (生活情報通信科学コース)	文化情報学科 (生活文化化学コース)
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	12
		保健体育科目(必修)	2
		情報処理科目	—
		計	14
	教養科目群	16	20

- 上記基礎科目群の各科目の最低単位数を含めて14単位が必要です。
- 基礎科目群の必要単位数14単位を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができます。
- 保健体育科目は、卒業要件単位として、健康運動実習Ⅰ及びⅡを履修しなければなりません。ただし、編入学生については、うち1または2単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

〈令和4～6年度入学者対象〉

区 分		食物栄養学科 心身健康学科 住環境学科 文化情報学科 (生活情報通信科学コース)	文化情報学科 (生活文化化学コース)
教養教育科目	基礎科目群		
	外国語科目	12	12
	保健体育科目(必修)	2	2
	情報処理科目	—	—
	計	14	14
教養科目群		16*	20*

*高年次(3、4年)に履修することを別に指定する教養科目1単位以上を含む(P.180参照)

- 上記基礎科目群の各科目の最低単位数を含めて14単位が必要です。
- 基礎科目群の必要単位数14単位を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができます。
- 保健体育科目は、卒業要件単位として、健康運動実習Ⅰ及びⅡを履修しなければなりません。ただし、編入学生については、うち1または2単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

〈平成31～令和3年度入学者対象〉

区 分		食物栄養学科 心身健康学科 情報衣環境学科	住環境学科 生活文化学科
教養教育科目	基礎科目群		
	外国語科目	12	12
	保健体育科目(必修)	2	2
	情報処理科目	—	—
	計	14	14
教養科目群		16*	20*

*高年次(3、4年)に履修することを別に指定する教養科目1単位以上を含む(P.180参照)

- 上記基礎科目群の各科目の最低単位数を含めて14単位が必要です。
- 基礎科目群の必要単位数14単位を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができます。
- 保健体育科目は、卒業要件単位として、健康運動実習Ⅰ及びⅡを履修しなければなりません。ただし、編入学生については、うち1または2単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

〈平成30年度入学者対象〉

区 分		食物栄養学科 心身健康学科 情報衣環境学科	住環境学科 生活文化学科
教養教育科目	基礎科目群		
	外国語科目	12	12
	保健体育科目(必修)	2	2
	情報処理科目	—	—
	計	14	14
教養科目群		16	20

- 上記基礎科目群の各科目の最低単位数を含めて14単位が必要です。
- 基礎科目群の必要単位数14単位を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができます。
- 保健体育科目は、卒業要件単位として、健康運動実習Ⅰ及びⅡを履修しなければなりません。ただし、編入学生については、うち1または2単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

工 学 部

〈令和4年度以降入学者対象〉

区 分		必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群		
	外国語科目	8	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
	保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
	情報処理科目	—	選択履修
	計	12	外国語科目・保健体育科目の必修を含む合計
教養科目群		18	

- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。
- 編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1または2単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

3 基礎科目群

基礎科目群は、本学の教育全体の基礎や前提として、入学後の早い時期（1・2年次）に選択履修すべき科目です。外国語科目、日本語科目（外国人留学生のみ）、保健体育科目、情報処理科目の4分野からなります。

(1) 外国語科目

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語の7か国語があります。それぞれの履修可能な単位数は次のようになります。

英 語	計8単位まで履修可能 令和2年度以前入学者については、16単位まで履修可能
ドイツ語 フランス語	計10単位まで履修可能
スペイン語	1年に2単位ずつ、2年間で計4単位まで履修可能
中国語	計10単位まで履修可能
ロシア語 韓国語	1年に2単位ずつ、2年間で計4単位まで履修可能

外国語の単位は、文学部の必修が16単位、理学部の必修が8単位、生活環境学部の必修が12単位、工学部の必修が8単位です。必修単位として認められる外国語の種類と単位数、履修方法が学部によって異なりますので、後述する外国語科目の履修案内をよく読んで、間違いなく履修してください。

なお、必修単位数以上に履修した外国語科目の単位は、文学部、生活環境学部は教養科目群として、理学部、工学部は基礎科目群の履修単位として認められます。

外国語科目の履修

- (1) 外国語科目の履修は、これからの大学における勉学の基礎となります。自分の希望する進路や、学ぼうとする学問領域をしっかりと考えて選択してください。
- (2) 本学で履修できる外国語は、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語です。このうち、スペイン語と韓国語とロシア語は、科目数が少なく、4単位分しか履修できません。
- (3) 卒業に必要な外国語科目の単位数と履修方法は、学部によって異なります。この冊子では学部別に履修案内を掲載しているので、各自の所属学部のページを熟読してください。
- (4) すでに外国語の実力を十分に備えている学生は、それを証明できる文書を添えて申請すれば、単位が与えられる単位認定制度があります。詳しくは、「外国語科目における単位認定制度」(88ページ)を見てください。
- (5) なお、学部や入学年次によって、履修方法や単位の扱いが異なるので、よく注意して履修してください。

英語の履修登録について

指定のクラスを履修登録してください。

学部、学年によっては前もって「予備登録」が必要です。

掲示やさくら連絡網、奈良女メールアドレス宛での案内に注意してください。

前期に履修した場合、後期クラスは次のように指定されます。

科目名	後期クラス
コンプリヘンシブ・ イングリッシュ	前期のクラスに 12 を足したクラス
プラクティカル・ イングリッシュ	前期のクラスに 28 を足したクラス
アカデミック・ イングリッシュ	前期のクラスに 10 を足したクラス
プレゼンテーション・ イングリッシュ	前期のクラスに 19 を足したクラス

〔文学部〕

■ 外国語科目の単位

- ① 文学部は、国際語としての英語を中心にしながら、さらにもう一つ以上の外国語を修得することを義務づけています。ボーダーレス化、多極化する世界の中で、様々な情報源から現在を読み取り、そこでの自分の位置と進路を見定めていくことが、ますます必要となっています。また、言語を通じた異文化への理解は、人生を豊かにしてくれるはずです。
- ② 卒業に必要な外国語科目の単位数は、2か国語以上で16単位となっています。さらにそのうち1か国語は、8単位なければなりません。例えば、英語8単位、ドイツ語4単位、フランス語4単位という履修の仕方も可能です。ただし、英語12単位、ドイツ語4単位という履修方法は認められていません。同じ外国語は、外国語科目として8単位までしかカウントされないので、注意してください。ただ、外国語科目全体で16単位を超えた分は、教養科目群の履修単位に算入されます。

履修方法等不明な点は、必ず下記の場所・教員に問い合わせてください。

英語……学務課または英語教務担当教員

ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ロシア語・韓国語……学務課または担当教員

■ 英語

- ① 外国語科目の英語として、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」（1年次対象）、「プラクティカル・イングリッシュ」（1年次対象）、「アカデミック・イングリッシュ」（2年次対象）、「プレゼンテーション・イングリッシュ」（2年次対象）が開講されています。
- ② 英語の履修方法は次のようになっています。「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）、「プラクティカル・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）、「アカデミック・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）、「プレゼンテーション・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）の中から単位数をそろえることとなります。

〔1年次〕

- a) 1年次対象には、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」と「プラクティカル・イングリッシュ」が開講され、この2科目で年間最大4単位を履修できます。この場合、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」を2単位分、「プラクティカル・イングリッシュ」を2単位分履修することになります。

- b) 「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」と「プラクティカル・イングリッシュ」はクラス指定です。履修登録は、学期始めに「学生掲示板」および「Campusmate-J全学生対象掲示板（以後、Campusmate-J）」に発表される各科目の「受講用名簿」と各科目のシラバスに記載されているクラス編成に基づいて、各自の該当するクラスに登録してください。
- c) 基本的には各科目を前期1単位、後期1単位履修してください。
- d) 再履修者は、3月中に申請のあった英語の予備登録を基にクラス指定を行います。決定したクラスは学生掲示板・Campusmate-Jに掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。
- なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。
- e) 編入学生は、別にクラス指定を行います。学務課窓口にある「英語予備登録票」を必ず提出してください。決定したクラスは学生掲示板・Campusmate-Jに掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。
- なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。
- f) 20ページの学外の学修（実用英語技能検定（英検）、TOEIC、TOEFL）によって、1年次対象科目の単位認定を受けた人は、2年次対象科目を履修することもできます。上記e）と同様に学務課窓口にある「英語予備登録票」を必ず提出してください。決定したクラスは学生掲示板・Campusmate-Jに掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。
- なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。
- g) 大学入学共通テストの「英語」「(英語) リスニング」を受験していない履修者は、別にクラス指定を行います。英検、TOEFL、TOEIC、IELTSの成績（過去2年以内）のある者は、学務係にコピーを提出してください。それ以外の者は、前期のガイダンス及び掲示でクラス分けテストの実施について詳細を通知します。後日、学生掲示板・Campusmate-Jに掲示されるクラスで履修登録をしてください。

[2年次]

- a) 2年次対象には、「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」が開講され、この2科目で年間最大4単位分履修できます。この場合、「アカデミック・イングリッシュ」を2単位分、「プレゼンテーション・イングリッシュ」を2単位分履修することになります。年間にそれより少ない単位数を履修する場合は、「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」の組み合わせは自由です。
- b) 基本的には各科目を前期1単位、後期1単位履修してください。
- c) 「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」を履修する者は、3月中に申請のあった英語の予備登録を基にクラス指定を行います。履修登録は、予備登録後に学生掲示板・Campusmate-Jに掲示される各科目の「受講用名簿」と各科目のシラバスに記載されているクラス編成に基づいて、各自の該当するクラスに登録してください。
- なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。

登録に関する疑問は、学務課または英語教務担当教員に問い合わせてください。

■ ドイツ語

- a) ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。このうち、ドイツ語ⅠとⅡはクラス指定を行います。
- b) クラス指定
- 1年次は、文学部のクラス分け（A組～H組）に基づき、シラバスに指定された科目を登録してください。
- ドイツ語Ⅰ・Ⅱは、前期・後期それぞれ、文法中心の科目「ドイツ語A」2コマと、コミュニケー

ション中心の科目「ドイツ語B」2コマの組み合わせで授業を進めます。「I」は初級、「II」は中級です。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に4コマ履修することで、一年間で合計8単位を取得することができます。特別な理由がないかぎり、このすべてを受講してください。

- c) 同一教員が担当する授業のペアは、それぞれ一体のものであり分離して履修することはできません。(ただし、講義コードは8コマ全てに設定されているので、別々に登録してください。)

A・B・C・Dクラス = (前期) I A (1)・I A (2) の2コマ

A・B・C・Dクラス = (後期) II A (1)・II A (2) の2コマ

E・F・G・Hクラス = (前期) I A (3)・I A (4) の2コマ

E・F・G・Hクラス = (後期) II A (3)・II A (4) の2コマ

また、ドイツ人教員担当のI B (1)～(4) (前期)、II B (1)～(4) (後期)も、2コマずつペアで授業が進行するので、原則として分離しての履修はできません。(ただし履修登録は別々に行ってください。)

- d) 再履修者は、未修得単位と同一グレード (I 又は II) 及び同一分野 (A 又は B) のクラスを履修してください。学部指定やクラス指定は適用しないので、他学部指定クラスを履修することも可能です。ただし、文学部向けクラスのうち、同一教員のペア授業は分離して履修することはできません。

- e) 編入学生は、概ね再履修の場合と同様ですが、各グレード内の分野の別はこれを適用しません。必要なグレードのクラスを、分野の別にかかわらず、選択し履修してください。クラスの指定は行いませんので、専門科目の時間割を優先して、他学部対象のクラスも視野に入れて登録してください。

- f) ドイツ語Ⅲ及びドイツ語Ⅳは、原則としてドイツ語Ⅰ及びドイツ語Ⅱを修得済みでさらにドイツ語を学習したい学生を対象に、広く全学に開かれた科目です。いずれも全学部全学年対象で開講され、全在生について外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

- g) ドイツ語Ⅰ～Ⅳの単位は、合計8単位までが卒業に必要な外国語科目16単位の一部として認定されます。

履修や登録について疑問のある場合は、ドイツ語担当教員 (S棟217吉田孝夫、S棟220児玉麻美) まで、お気軽にお問い合わせください。

■ フランス語

- a) フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。フランス語ⅠとⅡはクラス指定を行います。

- b) クラス指定

文学部のクラス (A組～H組) に基づき、下記e) の要領で登録してください。クラス分け表はP.64 (前期)、P.69 (後期) に記載しています。

- c) 受講クラスと必修単位

前期 (初級=Ⅰ)・後期 (中級=Ⅱ) それぞれ、文法中心の科目「フランス語A」2コマと、コミュニケーション中心の科目「フランス語B」2コマの組み合わせで授業を進めます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に4コマ履修することで、一年間で合計8単位を取得することとなります。

- d) 単位取得についての注意

登録のための科目番号は、クラスごとに違います。「クラス指定」に基づき、指示されたクラスの組み合わせで履修してください。「A (1) / A (2)、B (1) / B (2)」「A (3) / A (4)、B (3) / B (4)」のグループ分けに従い、それぞれのクラスについて履修登録が必要です。

- e) 登録すべきクラス

具体的にもとのクラスと、登録すべきフランス語のクラスとの対応は次の通りです。

文学部A/B/C/Dクラス 前期 初級文法 フランス語ⅠA (1) / フランス語ⅠA (2)

	会話	フランス語 I B (1) / フランス語 I B (2)	
後期	中級講読	フランス語 II A (1) / フランス語 II A (2)	
	会話	フランス語 II B (1) / フランス語 II B (2)	
文学部 E / F / G / H クラス	前期	初級文法	フランス語 I A (3) / フランス語 I A (4)
	会話	フランス語 I B (3) / フランス語 I B (4)	
	後期	中級講読	フランス語 II A (3) / フランス語 II A (4)
	会話	フランス語 II B (3) / フランス語 II B (4)	

履修登録に関して、疑問や質問のある人は、フランス語担当教員（高岡研究室 S221号室）まで、遠慮なく相談に来てください。

f) 中級以上の履修

フランス語Ⅲ及びフランス語Ⅳは原則としてフランス語Ⅰ及びフランス語Ⅱを修得済みでさらにフランス語を学習したい人を対象に、広く全学に開かれた科目です。いずれも全学部対象で開講され、外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

g) 編入学生と再履修者

編入学生と再履修者は、特にクラスの指定は行いません。専門科目の履修を優先して、必要な外国語科目の単位を能率的に取得してください。理学部・生活環境学部対象のクラスに登録することも視野に入れ、自由に登録してかまいません。ただし「フランス語A」と「フランス語B」の組み合わせ、取得単位数の計算に注意してください。

登録の前に、フランス語担当教員（高岡研究室 S221号室）に相談に来ることを強く勧めます。

■ スペイン語

- 初級と中級の2クラスが開講されます。
- 原則として、初級Ⅰ→初級Ⅱ→中級Ⅰ→中級Ⅱの順に履修してください。ただし、履修に十分な語学力があると担当教員が認める場合は、この限りではありません。
- スペイン語は、外国語科目の卒業要件単位としては4単位までしか充足できないので注意してください。また4単位を充足するために2年間の履修が必要です。

疑問がある場合は、必ず学務課またはスペイン語担当教員に問い合わせてください。

■ 中国語

- 中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。このうち、中国語ⅠとⅡはクラス指定を行います。
- 中国語Ⅰ・Ⅱの履修パターンと単位認定
文学部1年次を主な対象として、〈週4コマ・コース〉（中国語Ⅰ・Ⅱ）が開講されます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に4コマ履修することにより、一年間で合計8単位取得できます。
前期の「中国語Ⅰ」については、4コマ一括して単位を認定するため、分離しての履修はできません。なお、履修登録は、4コマすべてについて行ってください。
後期の「中国語Ⅱ」は、4コマ別々に単位を認定しますが、特別な事情がない限り、4コマすべて履修してください。
- 中国語Ⅰ・Ⅱのクラス指定
クラス指定は、文学部のクラス分けに基づきます。文学部A組・B組・C組・D組の者は(A)・(B)・(C)・(D)の4コマを、文学部E組・F組・G組・H組の者は(E)・(F)・(G)・(H)の4コマを登録してください。

文学部A組～D組 = (前期) Ⅰ(A) / Ⅰ(B) / Ⅰ(C) / Ⅰ(D) の4コマ
= (後期) Ⅱ(A) / Ⅱ(B) / Ⅱ(C) / Ⅱ(D) の4コマ

文学部E組～H組 = (前期) I (E) / I (F) / I (G) / I (H) の4コマ
= (後期) II (E) / II (F) / II (G) / II (H) の4コマ

d) 中国語検定クラス

「中国語検定初級Ⅰ・Ⅱ」、「中国語検定中級Ⅰ・Ⅱ」は全学対象の中国語検定試験対策クラスです。これらの科目は、中国語Ⅰ・Ⅱと密接に関係しており、中国人講師による音声面でのトレーニングを行うので、併せて履修することが望ましいです。ただし、外国語科目の単位に含めることはできず、次のような扱いとなります。

平成28年度以降入学者……教養科目群の履修単位に算入されます。

e) 中級者向けクラス

中国語Ⅲ・Ⅳは、原則として中国語Ⅰ及び中国語Ⅱを修得済みで、さらに中国語の学習を続けたい人のための全学対象のクラスです。外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

f) 編入学生と再履修者

編入学生と再履修者は、特にクラス指定は行いませんが、登録の前に必ず中国語担当教員に問い合わせてください。受講者が多い場合は履修登録できないことがあります。

登録に関して疑問がある場合は、必ず中国語担当教員（前田研究室 N219号室）に問い合わせてください。

■ ロシア語

- a) ロシア語初級Ⅰ・初級Ⅱ・中級Ⅰ・中級Ⅱが各1クラス開講されます。
- b) ロシア語は、外国語科目の卒業要件単位としては4単位までしか充足できないので注意してください。また、履修は2年次から可能で、4単位を充足するためには2年間の履修が必要です。

疑問がある場合は、必ず学務課またはロシア語担当教員に問い合わせてください。

■ 韓国語

- a) 韓国語初級Ⅰ・初級Ⅱが各2クラス、中級Ⅰ・中級Ⅱが各1クラス開講されます。
初級Ⅰ（A）と初級Ⅰ（B）、初級Ⅱ（A）と初級Ⅱ（B）はそれぞれ同じ内容ですので、（A）と（B）どちらかを選択することが可能です。
- b) 原則として、初級Ⅰ→初級Ⅱ→中級Ⅰ→中級Ⅱの順に履修してください。ただし、履修に十分な語学力があると担当教員が認める場合は、この限りではありません。
- c) 韓国語は、外国語科目の卒業要件単位としては4単位までしか充足できないので注意してください。また、4単位を充足するためには2年間の履修が必要です。

疑問がある場合は、必ず学務課または韓国語担当教員に問い合わせてください。

[理 学 部]

■ 外国語科目の単位

理学部の卒業に必要な外国語科目に指定されているのは、英語、ドイツ語、フランス語のみです。また、卒業に必要な外国語科目の単位数は、8単位となっています。英語8単位を2年間で取得することも、フランス語4単位を英語と組み合わせて、1年間で8単位を取得することも可能ですが、学科によっては、外国語科目の履修方法が指定される場合があります。8単位を超えた分や、スペイン語・中国語・ロシア語・韓国語を履修した場合の単位は、基礎科目群の履修単位に算入されます。

履修方法等不明な点は、必ず下記の場所・教員に問い合わせてください。

英語……学務課または英語教務担当教員

ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ロシア語・韓国語……学務課または担当教員

■ 英語

- ① 外国語科目の英語として、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」（1年次対象）、「プラクティカル・イングリッシュ」（1年次対象）、「アカデミック・イングリッシュ」（2年次対象）、「プレゼンテーション・イングリッシュ」（2年次対象）が開講されています。
- ② 英語の履修方法は次のようになっています。「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）、「プラクティカル・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）、「アカデミック・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）、「プレゼンテーション・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）の中から単位数をそろえることとなります。外国語科目の英語としてカウントされるのは8単位までです。

[1年次]

- a) 1年次対象には、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」と「プラクティカル・イングリッシュ」が開講され、この2科目で年間最大4単位を履修できます。この場合、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」を2単位分、「プラクティカル・イングリッシュ」を2単位分履修することになります。
- b) 「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」と「プラクティカル・イングリッシュ」はクラス指定です。履修登録は、学期始めに「学生掲示板」および「Campusmate-J全学生対象掲示板（以後、Campusmate-J）」に発表される各科目の「受講用名簿」と各科目のシラバスに記載されているクラス編成に基づいて、各自の該当するクラスに登録してください。
- c) 基本的には各科目を前期1単位、後期1単位履修してください。
- d) 再履修者は、3月中に申請のあった英語の予備登録を基にクラス指定を行います。決定したクラスは学生掲示板・Campusmate-Jに掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。
なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。
- e) 編入学生は、別にクラス指定を行います。学務課窓口にある「英語予備登録票」を必ず提出してください。決定したクラスは学生掲示板・Campusmate-Jに掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。
なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。
- f) 20ページの学外の学修（実用英語技能検定（英検）、TOEIC、TOEFL）によって、1年次対象科目の単位認定を受けた人は、2年次対象科目を履修することもできます。上記e）と同様に学務課窓口にある「英語予備登録票」を必ず提出してください。決定したクラスは学生掲示板・Campusmate-Jに掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。
なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。
- g) 大学入学共通テストの「英語」「(英語)リスニング」を受験していない履修者は、別にクラス指定を行います。英検、TOEFL、TOEIC、IELTSの成績（過去2年以内）のある者は、学務係にコピーを提出してください。それ以外の者は、前期のガイダンス及び掲示でクラス分けテストの実施について詳細を通知します。後日、学生掲示板・Campusmate-Jに掲示されるクラスで履修登録してください。

[2年次]

- a) 2年次対象には、「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」が開講され、この2科目で年間最大4単位分履修できます。この場合、「アカデミック・イングリッシュ」を2単位分、「プレゼンテーション・イングリッシュ」を2単位分履修することになります。年間にそれより少ない単位数を履修する場合は、「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」の組み合わせは自由です。
- b) 基本的には各科目を前期1単位、後期1単位履修してください。

- c) 「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」を履修する者は、3月中に申請のあった英語の予備登録を基にクラス指定を行います。履修登録は、予備登録後に学生掲示板・Campusmate-Jに掲示される各科目の「受講用名簿」と各科目のシラバスに記載されているクラス編成に基づいて、各自の該当するクラスに登録してください。
- なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。

登録に関する疑問は、学務課または英語教務担当教員に問い合わせてください。

■ ドイツ語

- a) ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。

このうちドイツ語Ⅰは、1年次履修時にクラス指定を行います。自分の該当するクラスに履修登録をしてください。

クラス (5) 理1: 数物科学科 (学籍番号*1029番まで)

クラス (7) 理2: 数物科学科 (学籍番号*1030番以降)、化学コース

クラス (9) 理3: 生物科学コース、環境科学コース

* 8桁の学籍番号のうち、末尾の1桁を除く下4桁の数字 ○○○■●●●○ の■の部分を見てください。

なお、履修登録者数に偏りがある場合、人数調整をして別のクラス(教科書・時間割は同一)に移ってもらうことがあります。クラス変更の場合はメール・掲示板等で通知しますので、学務課の連絡に注意をお願いします。

後期のドイツ語Ⅰは、前期に履修したクラスの番号に1を足したクラスに履修登録をしてください。

例) 前期 クラス (5) → 後期 クラス (6)

2年次以上で新たにドイツ語を履修する場合は、クラス指定を適用しません。ただしクラスの人数調整のため、履修登録前に、下記ドイツ語担当教員まで相談してください。

- b) 前期・後期それぞれ、文法中心の科目「ドイツ語A」1コマと、コミュニケーション中心の科目「ドイツ語B」1コマの組み合わせで授業を進めます。「Ⅰ」は初級、「Ⅱ」は中級です。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に2コマ履修することで、一年間で合計4単位を取得することができます。
- c) 再履修者は、未修得単位と同一グレード(Ⅰ又はⅡ)及び同一分野(A又はB)のクラスを履修してください。学部指定、クラス指定は適用しませんので、他学部指定クラスを履修することも可能です。ただし、文学部向けクラスのうち、週2回開講のペア授業は分離して履修することはできません。
- なお、再履修者は、不足する科目が前期と後期のどちらであるかに注意して、正しく履修登録してください。前期と後期では授業内容が異なります。
- d) 編入学生は、概ね再履修の場合と同様ですが、各グレード内の分野の別はこれを適用しません。必要なグレードのクラスを分野の別にかかわらず、選択し履修してください。
- e) ドイツ語ⅡA及びドイツ語ⅡBは、ドイツ語Ⅰの修得者に開かれた発展科目です。積極的に履修してください。
- f) ドイツ語Ⅲ及びドイツ語Ⅳは、原則としてドイツ語Ⅰ及びドイツ語Ⅱを修得済みでさらにドイツ語を学習したい人を対象に、広く全学に開かれた科目です。いずれも全学部全学年対象で開講され、全在生について外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

履修や登録について疑問のある場合は、ドイツ語担当教員(S棟217吉田孝夫、S棟220児玉麻美)まで、お気軽にお問い合わせください。

■ フランス語

- a) フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。理学部ではクラスの指定はありません。「フランス語ⅠA」と「フランス語ⅠB」は、それぞれ同じ内容のクラスが3つ開講されます。履修登録の際は、時間割を考慮していずれかのクラスを選択してください。なお、同じ内容の3クラス間で登録人数に大きな偏りが生じた場合、初回授業後に抽選による人数調整を行い、他のクラスへの移動をお願いすることがあります。
- b) 前期・後期それぞれ、文法中心の科目「フランス語ⅠA」1コマと、コミュニケーション中心の科目「フランス語ⅠB」1コマの組み合わせで授業を進めます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に2コマ履修することで、一年間で合計4単位を取得することとなります。なお、前期と後期の授業内容は連続しています。後期の履修は原則として前期と同じ担当教員のクラスに登録してください。ただし、特別な事情がある場合は、事前に相談してください。
- c) 単位取得についての注意

「フランス語A」「フランス語B」を組み合わせてください。それぞれのクラスについて、履修登録が必要です。

履修登録に関して、疑問や質問のある人は、フランス語担当教員（高岡研究室 S221号室）まで、遠慮なく相談に来てください。

- d) 中級以上の履修

中級「フランス語ⅡB」は、フランス人教員の担当です。学内で、実践的なコミュニケーションの練習ができるので、積極的に履修してください。

フランス語Ⅲとフランス語Ⅳは、原則としてフランス語Ⅰ及びフランス語Ⅱを修得済みでさらにフランス語を学習したい人を対象に、広く全学に開かれた科目です。いずれも全学部対象で開講され、外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

- e) 編入学生と再履修者

編入学生と再履修者は、特にクラスの指定は行いません。専門科目の履修を優先して、必要な外国語科目の単位を能率的に取得してください。ただし、「フランス語A」と「フランス語B」の組み合わせに、取得単位数の計算に注意してください。また、不足する科目が前期と後期のどちらであるかに注意して、正しく履修登録してください。前期と後期では授業内容が異なります。

登録の前に、フランス語担当教員（高岡研究室 S221号室）に相談に来ることを強く勧めます。

■ スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語

これらの科目の履修は、学務課や担当教員に問い合わせてください。

[生活環境学部]

■ 外国語科目の単位

- ① 生活環境学部は、住環境学科を除く各学科で、二つの異なる外国語を修得することを義務づけています。ボーダーレス化、多極化する世界の中で、様々な情報源から現在を読み取り、そこの自分の位置と進路を見定めていくことが、ますます必要となっています。また、言語を通じた異文化への理解は、人生を豊かにしてくれるはずです。
- ② 卒業に必要な外国語科目の単位数は12単位です。学科ごとに修得の仕方を説明します。なお、どの学科においても卒業要件を超えた分については、教養科目群の履修単位に算入されます。
 - ・ 食物栄養学科では、英語8単位とドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語のうち1つの外国語科目を4単位、計12単位修得してください。
 - ・ 心身健康学科、情報衣環境学科衣環境学コース、生活文化学科または文化情報学科生活文化学コースでは、英語、ドイツ語、フランス語から第一外国語科目として8単位、英語、ドイツ語、

フランス語、中国語、ロシア語、韓国語、スペイン語から第二外国語として4単位を修得してください。英語10単位、ドイツ語2単位修得、あるいは英語8単位、ドイツ語2単位、フランス語2単位修得では卒業要件を満たしません。

情報環境学科生活情報通信科学コースまたは文化情報学科生活情報通信科学コースでは、英語8単位とドイツ語、フランス語、中国語から4単位、計12単位修得してください。ドイツ語、フランス語、中国語の4単位は組み合わせを問いません。

- ・ 住環境学科では12単位修得してください。英語、ドイツ語、フランス語のうち、一つの外国語から8単位以上修得し、残りの単位は、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語から修得してください。英語6単位、ドイツ語6単位修得では卒業要件を満たしません。

履修方法等不明な点は、必ず下記の場所・教員に問い合わせてください。

英語……学務課または英語教務担当教員

ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ロシア語・韓国語……学務課または担当教員

■ 英語

- ① 外国語科目の英語として、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」（1年次対象）、「プラクティカル・イングリッシュ」（1年次対象）、「アカデミック・イングリッシュ」（2年次対象）、「プレゼンテーション・イングリッシュ」（2年次対象）が開講されています。
- ② 英語の履修方法は次のようになっています。「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）、「プラクティカル・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）、「アカデミック・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）、「プレゼンテーション・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）の中から単位数をそろえることとなります。

[1年次]

- a) 1年次対象には、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」と「プラクティカル・イングリッシュ」が開講され、この2科目で年間最大4単位を履修できます。この場合、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」を2単位分、「プラクティカル・イングリッシュ」を2単位分履修することとなります。
- b) 「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」と「プラクティカル・イングリッシュ」はクラス指定です。履修登録は、学期始めに「学生掲示板」および「Campusmate-J全学生対象掲示板（以後、Campusmate-J）」に発表される各科目の「受講用名簿」と各科目のシラバスに記載されているクラス編成に基づいて、各自の該当するクラスに登録してください。
- c) 基本的には各科目を前期1単位、後期1単位履修してください。
- d) 再履修者は、3月中に申請のあった英語の予備登録を基にクラス指定を行います。決定したクラスは学生掲示板・Campusmate-Jに掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。
なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。
- e) 編入学生は、別にクラス指定を行います。学務課窓口にある「英語予備登録票」を必ず提出してください。決定したクラスは学生掲示板・Campusmate-Jに掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。
なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。
- f) 20ページの学外の学修（実用英語技能検定（英検）、TOEIC、TOEFL）によって、1年次対象科目の単位認定を受けた人は、2年次対象科目を履修することもできます。上記e）と同様に学務課窓口にある「英語予備登録票」を必ず提出してください。決定したクラスは学生掲示板・Campusmate-Jに掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。

なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。

g) 大学入学共通テストの「英語」「(英語) リスニング」を受験していない履修者は、別にクラス指定を行います。英検、TOEFL、TOEIC、IELTSの成績(過去2年以内)のある者は、学務係にコピーを提出してください。それ以外の者は、前期のガイダンス及び掲示でクラス分けテストの実施について詳細を通知します。後日、学生掲示板・Campusmate-Jに掲示されるクラスで履修登録をしてください。

[2年次]

- a) 2年次対象には、「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」が開講され、この2科目で年間最大4単位分履修できます。この場合、「アカデミック・イングリッシュ」を2単位分、「プレゼンテーション・イングリッシュ」を2単位分履修することになります。年間にそれより少ない単位数を履修する場合は、「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」の組み合わせは自由です。
- b) 基本的には各科目を前期1単位、後期1単位履修してください。
- c) 「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」を履修する者は、3月中に申請のあった英語の予備登録を基にクラス指定を行います。履修登録は、予備登録後に学生掲示板・Campusmate-Jに掲示される各科目の「受講用名簿」と各科目のシラバスに記載されているクラス編成に基づいて、各自の該当するクラスに登録してください。
- なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。

登録に関する疑問は、学務課または英語教務担当教員に問い合わせてください。

■ ドイツ語

- a) ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。

このうちドイツ語Ⅰは、1年次履修時にクラス指定を行います。自分の該当するクラスに履修登録をしてください。

クラス (11) 生1: 食物栄養学科、住環境学科

クラス (13) 生2: 心身健康学科

クラス (15) 生3・工: 文化情報学科

なお、履修登録者数に偏りがある場合、人数調整をして別のクラス(教科書・時間割は同一)に移ってもらうことがあります。クラス変更の場合はメール・掲示板等で通知しますので、学務課の連絡に注意をお願いします。

後期のドイツ語Ⅰは、前期に履修したクラスの番号に1を足したクラスに履修登録をしてください。

例) 前期 クラス (11) → 後期 クラス (12)

2年次以上で新たにドイツ語を履修する場合は、クラス指定を適用しません。ただしクラスの人数調整のため、履修登録前に、下記ドイツ語担当教員まで相談してください。

- b) 前期・後期それぞれ、文法中心の科目「ドイツ語A」1コマと、コミュニケーション中心の科目「ドイツ語B」1コマの組み合わせで授業を進めます。「Ⅰ」は初級、「Ⅱ」は中級です。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に2コマ履修することで、一年間で合計4単位を取得することができます。
- c) 再履修者は、未修得単位と同一グレード(Ⅰ又はⅡ)及び同一分野(A又はB)のクラスを履修してください。学部指定、クラス指定は適用しませんので、他学部指定クラスを履修することも可能です。ただし、文学部向けクラスのうち、週2回開講のペア授業は分離して履修することはできません。

なお、再履修者は、不足する科目が前期と後期のどちらであるかに注意して、正しく履修登録してください。前期と後期では授業内容が異なります。

- d) 編入学生は、概ね再履修の場合と同様ですが、各グレード内の分野の別はこれを適用しません。必要なグレードのクラスを分野の別にかかわらず、選択し履修してください。
- e) ドイツ語ⅡA及びドイツ語ⅡBは、ドイツ語Ⅰの修得者に開かれた発展科目です。積極的に履修してください。
- f) ドイツ語Ⅲ及びドイツ語Ⅳは、原則としてドイツ語Ⅰ及びドイツ語Ⅱを修得済みでさらにドイツ語を学習したい人を対象に、広く全学に開かれた科目です。いずれも全学部全学年対象で開講され、全在生について外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

履修や登録について疑問のある場合は、ドイツ語担当教員（S棟217吉田孝夫、S棟220児玉麻美）まで、お気軽にお問い合わせください。

■ フランス語

- a) フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。生活環境学部ではクラスの指定はありません。「フランス語ⅠA」と「フランス語ⅠB」は、それぞれ同じ内容のクラスが3つ開講されます。履修登録の際は、時間割を考慮していずれかのクラスを選択してください。なお、同じ内容の3クラス間で登録人数に大きな偏りが生じた場合、初回授業後に抽選による人数調整を行い、他のクラスへの移動をお願いすることがあります。
- b) 前期・後期それぞれ、文法中心の科目「フランス語ⅠA」1コマと、コミュニケーション中心の科目「フランス語ⅠB」1コマの組み合わせで授業を進めます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に2コマ履修することで、一年間で合計4単位を取得することとなります。なお、前期と後期の授業内容は連続しています。後期の履修は原則として前期と同じ担当教員のクラスに登録してください。ただし、特別な事情がある場合は、事前に相談してください。

c) 単位取得についての注意

「フランス語A」「フランス語B」を組み合わせてください。それぞれのクラスについて、履修登録が必要です。

履修登録に関して、疑問や質問のある人は、フランス語担当教員（高岡研究室 S221号室）まで、遠慮なく相談に来てください。

d) 中級以上の履修

中級「フランス語ⅡB」は、フランス人教員の担当です。学内で、実践的なコミュニケーションの練習ができるので、積極的に履修してください。

フランス語Ⅲとフランス語Ⅳは、原則としてフランス語Ⅰ及びフランス語Ⅱを修得済みでさらにフランス語を学習したい人を対象に、広く全学に開かれた科目です。いずれも全学部対象で開講され、外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

e) 編入学生と再履修者

編入学生と再履修者は、特にクラスの指定は行いません。専門科目の履修を優先して、必要な外国語科目の単位を能率的に取得してください。ただし、「フランス語A」と「フランス語B」の組み合わせに、取得単位数の計算に注意してください。また、不足する科目が前期と後期のどちらであるかに注意して、正しく履修登録してください。前期と後期では授業内容が異なります。

登録の前に、フランス語担当教員（高岡研究室 S221号室）に相談に来ることを強く勧めます。

■ スペイン語

- a) 初級と中級の2クラスが開講されます。
- b) 情報衣環境学科生活情報通信科学コースを除く各学科で卒業要件単位とすることができます。

疑問がある場合は、必ず学務課またはスペイン語担当教員に問い合わせてください。

■ 中国語

- a) 中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。
- b) 生活環境学部1年次を主な対象として中国語Ⅰ〈週2コマ・コース〉が開講されます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に2コマ履修することにより、1年間で合計4単位取得できます。履修登録は、2コマとも行ってください。クラス分けは、次の通りです。

食物栄養学科・心身健康学科：

(前期) Ⅰ(J) / Ⅰ(L) の2コマ

(後期) Ⅰ(N) / Ⅰ(P) の2コマ

住環境学科・文化情報学科：

(前期) Ⅰ(K) / Ⅰ(M) の2コマ

(後期) Ⅰ(O) / Ⅰ(Q) の2コマ

編入学生及び再履修者は、原則として下記のクラスを2コマとも登録してください。

(前期) Ⅰ(R) / Ⅰ(S) の2コマ

(後期) Ⅰ(T) / Ⅰ(U) の2コマ

- c) 中国語Ⅰを履修した生活環境学部2年次を主な対象として中国語Ⅱ〈週1コマ・コース〉が開講されます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に1コマ履修することにより、1年間で合計2単位取得できます。
- d) 中国語Ⅰ、中国語Ⅱの再履修者は、不足する科目が前期と後期のどちらであるかに注意して、正しく履修登録してください。前期と後期では授業内容が異なります。
- e) 中国語Ⅲ・Ⅳは、原則として中国語Ⅰ及び中国語Ⅱを修得済みで、さらに中国語の学習を続けたい人のための全学対象のクラスです。
- f) 生活環境学部では、中国語を「外国語科目」に含めるかどうか、含める場合も何単位まで認めるかが、学科や入学年度により異なります。「外国語科目の履修」の欄を熟読し、不明な点は学科の教務委員に指導を受けてください。

「外国語科目」の条件に当てはまらない場合も、履修は可能で、単位も修得できます。修得した単位は、教養科目群の履修単位に算入されます。

- g) 「中国語検定初級Ⅰ・Ⅱ」、「中国語検定中級Ⅰ・Ⅱ」は全学対象の中国語検定試験対策クラスです。ただし、外国語科目の単位に含めることはできず、次のような扱いとなります。

平成28年度以降入学者……教養科目群の履修単位に算入されます。

登録に関して疑問がある場合は、必ず中国語担当教員（前田研究室 N219号室）にお問い合わせください。

■ ロシア語

- a) ロシア語初級Ⅰ・初級Ⅱ・中級Ⅰ・中級Ⅱが各1クラス開講されます。
- b) ロシア語は、外国語科目の卒業要件単位としては4単位までしか充足できないので注意してください。また、履修は2年次から可能で、4単位を充足するためには2年間の履修が必要です。

疑問がある場合は、必ず学務課またはロシア語担当教員にお問い合わせください。

■ 韓国語

- a) 韓国語初級Ⅰ・初級Ⅱが各2クラス、中級Ⅰ・中級Ⅱが各1クラス開講されます。
初級Ⅰ(A)と初級Ⅰ(B)、初級Ⅱ(A)と初級Ⅱ(B)はそれぞれ同じ内容ですので、(A)と(B)どちらかを選択することが可能です。
- b) 原則として、初級Ⅰ→初級Ⅱ→中級Ⅰ→中級Ⅱの順に履修してください。ただし、履修に十分な語学力があると担当教員が認める場合は、この限りではありません。
- c) 韓国語は、外国語科目の卒業要件単位としては4単位までしか充足できないので注意してくだ

さい。また、4単位を充足するためには2年間の履修が必要です。

疑問がある場合は、必ず学務課または韓国語担当教員に問い合わせてください。

[工 学 部]

■ 外国語科目の単位

工学部の卒業に必要な外国語科目に指定されているのは、英語、ドイツ語、フランス語、中国語のみです。また、卒業に必要な外国語科目の単位数は、英語4単位以上を含む8単位となっています。英語8単位を2年間で取得することも、英語以外の外国語4単位を英語4単位と組み合わせて、1年間で8単位を取得することも可能です。8単位を超えた分や、スペイン語、ロシア語、韓国語を履修した場合の単位は、基礎科目群の履修単位に算入されます。

履修方法等不明な点は、必ず下記の場所・教員に問い合わせてください。

英語……学務課または英語教務担当教員

ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ロシア語・韓国語……学務課または担当教員

■ 英 語

- ① 外国語科目の英語として、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」（1年次対象）、「プラクティカル・イングリッシュ」（1年次対象）、「アカデミック・イングリッシュ」（2年次対象）、「プレゼンテーション・イングリッシュ」（2年次対象）が開講されています。
- ② 英語の履修方法は次のようになっています。「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）、「プラクティカル・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）、「アカデミック・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）、「プレゼンテーション・イングリッシュ」（前後期各1単位、合計2単位まで）の中から単位数をそろえることになります。

[1年次]

- a) 1年次対象には、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」と「プラクティカル・イングリッシュ」が開講され、この2科目で年間最大4単位を履修できます。この場合、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」を2単位分、「プラクティカル・イングリッシュ」を2単位分履修することになります。
- b) 「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」と「プラクティカル・イングリッシュ」はクラス指定です。履修登録は、学期始めに「学生掲示板」および「Campusmate-J全学生対象掲示板（以後、Campusmate-J）」に発表される各科目の「受講用名簿」と各科目のシラバスに記載されているクラス編成に基づいて、各自の該当するクラスに登録してください。
- c) 基本的には各科目を前期1単位、後期1単位履修してください。
- d) 再履修者は、3月中に申請のあった英語の予備登録を基にクラス指定を行います。決定したクラスは学生掲示板・Campusmate-Jに掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。
なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。
- e) 編入学生は、別にクラス指定を行います。学務課窓口にある「英語予備登録票」を必ず提出してください。決定したクラスは学生掲示板・Campusmate-Jに掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。
なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。
- f) 20ページの学外の学修（実用英語技能検定（英検）、TOEIC、TOEFL）によって、1年次対象科目の単位認定を受けた人は、2年次対象科目を履修することもできます。上記e）と同様に学務課窓口にある「英語予備登録票」を必ず提出してください。決定したクラスは学生掲示

板・Campusmate-Jに掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。

なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。

- g) 大学入学共通テストの「英語」「(英語)リスニング」を受験していない履修者は、別にクラス指定を行います。英検、TOEFL、TOEIC、IELTSの成績(過去2年以内)のある者は、学務係にコピーを提出してください。それ以外の者は、前期のガイダンス及び掲示でクラス分けテストの実施について詳細を通知します。後日、学生掲示板・Campusmate-Jに掲示されるクラスで履修登録をしてください。

[2年次]

- a) 2年次対象には、「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」が開講され、この2科目で年間最大4単位分履修できます。この場合、「アカデミック・イングリッシュ」を2単位分、「プレゼンテーション・イングリッシュ」を2単位分履修することになります。年間にそれより少ない単位数を履修する場合は、「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」の組み合わせは自由です。
- b) 基本的には各科目を前期1単位、後期1単位履修してください。
- c) 「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」を履修する者は、3月中に申請のあった英語の予備登録を基にクラス指定を行います。履修登録は、予備登録後に学生掲示板・Campusmate-Jに掲示される各科目の「受講用名簿」と各科目のシラバスに記載されているクラス編成に基づいて、各自の該当するクラスに登録してください。
- なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。

登録に関する疑問は、学務課または英語教務担当教員に問い合わせてください。

■ ドイツ語

- a) ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。
- このうちドイツ語Ⅰは、前期の履修登録においてドイツ語ⅠA(15)とドイツ語ⅠB(15)のクラスを選択し、登録をしてください。
- 後期のドイツ語Ⅰは、ドイツ語ⅠA(16)とドイツ語ⅠB(16)のクラスに履修登録をしてください。
- 2年次以上で新たにドイツ語Ⅰを履修する場合には、クラス指定は適用されません。
- b) 前期・後期それぞれ、文法中心の科目「ドイツ語A」1コマと、コミュニケーション中心の科目「ドイツ語B」1コマの組み合わせで授業を進めます。「Ⅰ」は初級、「Ⅱ」は中級です。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に2コマ履修することで、一年間で合計4単位を取得することができます。
- c) 再履修者は、未修得単位と同一グレード(Ⅰ又はⅡ)及び同一分野(A又はB)のクラスを履修してください。学部指定、クラス指定は適用しませんので、他学部指定クラスを履修することも可能です。ただし、文学部向けクラスのうち、週2回開講のペア授業は分離して履修することはできません。
- なお、再履修者は、不足する科目が前期と後期のどちらであるかに注意して、正しく履修登録してください。前期と後期では授業内容が異なります。
- d) 編入学生は、概ね再履修の場合と同様ですが、各グレード内の分野の別はこれを適用しません。必要なグレードのクラスを分野の別にかかわらず、選択し履修してください。
- e) ドイツ語ⅡA及びドイツ語ⅡBは、ドイツ語Ⅰの修得者に開かれた発展的な科目です。積極的に履修してください。
- f) ドイツ語Ⅲ及びドイツ語Ⅳは、原則としてドイツ語Ⅰ及びドイツ語Ⅱを修得済みでさらにドイ

ツ語を学習したい人を対象に、広く全学に開かれた科目です。いずれも全学部全学年対象で開講され、全在生について外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

履修や登録について疑問のある場合は、ドイツ語担当教員（S棟217吉田孝夫、S棟220児玉麻美）まで、お気軽にお問い合わせください。

■ フランス語

- a) フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。工学部ではクラスの指定はありません。「フランス語ⅠA」と「フランス語ⅠB」は、それぞれ同じ内容のクラスが3つ開講されます。履修登録の際は、時間割を考慮していずれかのクラスを選択してください。なお、同じ内容の3クラス間で登録人数に大きな偏りが生じた場合、初回授業後に抽選による人数調整を行い、他のクラスへの移動をお願いすることがあります。
- b) 前期・後期それぞれ、文法中心の科目「フランス語ⅠA」1コマと、コミュニケーション中心の科目「フランス語ⅠB」1コマの組み合わせで授業を進めます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に2コマ履修することで、一年間で合計4単位を取得することとなります。なお、前期と後期の授業内容は連続しています。後期の履修は原則として前期と同じ担当教員のクラスに登録してください。ただし、特別な事情がある場合は、事前に相談してください。
- c) 単位取得についての注意
「フランス語A」「フランス語B」を組み合わせてください。それぞれのクラスについて、履修登録が必要です。

履修登録に関して、疑問や質問のある人は、フランス語担当教員（高岡研究室 S221号室）まで、遠慮なく相談に来てください。

- d) 中級以上の履修
中級「フランス語ⅡB」は、フランス人教員の担当です。学内で、実践的なコミュニケーションの練習ができるので、積極的に履修してください。
フランス語Ⅲとフランス語Ⅳは、原則としてフランス語Ⅰ及びフランス語Ⅱを修得済みでさらにフランス語を学習したい人を対象に、広く全学に開かれた科目です。いずれも全学部対象で開講され、外国語科目の必須履修単位に含めることができます。
- e) 編入学生と再履修者
編入学生と再履修者は、特にクラスの指定は行いません。専門科目の履修を優先して、必要な外国語科目の単位を能率的に取得してください。ただし「フランス語A」と「フランス語B」の組み合わせ、取得単位数の計算に注意してください。また、不足する科目が前期と後期のどちらであるかに注意して、正しく履修登録してください。前期と後期では授業内容が異なります。

登録の前に、フランス語担当教員（高岡研究室 S221号室）に相談に来ることを強く勧めます。

■ 中国語

- a) 中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。
- b) 中国語Ⅰについては、工学部1年次は下記の〈週2コマ・コース〉を登録してください。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に2コマ履修することにより、1年間で合計4単位取得できます。履修登録は、2コマとも行ってください。
 (前期)Ⅰ(R)／Ⅰ(S)の2コマ
 (後期)Ⅰ(T)／Ⅰ(U)の2コマ
 編入学生と再履修者も、上記の〈週2コマ・コース〉を2コマとも登録してください。
- c) 中国語Ⅰを履修した工学部2年次と生活環境学部2年次を主な対象として中国語Ⅱ〈週1コマ・コース〉が開講されます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に1コマ履修すること

により、1年間で合計2単位取得できます。

- d) 中国語Ⅰ、中国語Ⅱの再履修者は、不足する科目が前期と後期のどちらであるかに注意して、正しく履修登録してください。前期と後期では授業内容が異なります。
- e) 中国語Ⅲ・Ⅳは、原則として中国語Ⅰ及び中国語Ⅱを修得済みで、さらに中国語の学習を続けたい人のための全学対象のクラスです。
- f) 「中国語検定初級Ⅰ・Ⅱ」、「中国語検定中級Ⅰ・Ⅱ」は全学対象の中国語検定試験対策クラスです。ただし、外国語科目の単位に含めることはできません。

登録に関して疑問がある場合は、必ず中国語担当教員（前田研究室 N219号室）にお問い合わせください。

■ スペイン語、ロシア語、韓国語

これらの科目の履修は、学務課や担当教員にお問い合わせください。

外国語科目クラス分け・教科書一覧表（前期）

英語クラス分け表（前期）

コンプリヘンシブ・イングリッシュ

*は非常勤講師

クラス	科目コード	担当者	教科書	曜日	時間	教室
(1)	0111001D1	齊藤 美和	【British News Update 7】 ISBN: 978-4-7647-4219-2	金	1・2	S233(LL2)
(2)	0111002D1	笹本 涼子	プリント使用	金	1・2	S231(LL1)
(3)	0111003D1	須賀あゆみ	【Integrity Advanced】 ISBN: 978-4-7647-4176-8	金	1・2	N302
(4)	0111004D1	石谷 祐子*	【Our World, Our Stories】 ISBN: 978-4-7919-7317-0	火	1・2	N202
(5)	0111005D1	山本 尚子*	【Talking from 9 to 5: Women and Men in the Workplace】 ISBN: 978-4-88198-473-4	火	1・2	S233(LL2)
(6)	0111006D1	栗尾 公子*	【Reading Pass 3 <Second Edition>】 ISBN: 978-4-523-17776-0	火	1・2	N201
(7)	0111007D1	奥西 豊子	【Integrity: Advanced】 ISBN: 978-4-7647-4176-8	火	1・2	E109
(8)	0111008D1	太田 純*	【AFP SciTech Futures】 ISBN: 978-4-7919-7231-9	火	1・2	N302
(9)	0111009D1	石谷 祐子*	【Our World, Our Stories】 ISBN: 978-4-7919-7317-0	金	1・2	N202
(10)	0111010D1	北島 美咲*	【Well-being: Essential Elements for Our Life】 ISBN: 978-4-88198-788-9	金	1・2	G202
(11)	0111011D1	前田 悦子*	【Reading Explorer Split 2A】 ISBN: 979-8-214-08583-8	金	1・2	N101
(12)	0111012D1	井上 瞬*	【Reading Prospect】 ISBN: 978-4-384-33529-3	金	1・2	G201

プラクティカル・イングリッシュ

クラス	科目コード	担当者	教科書	曜日	時間	教室
(1)	0111025D1	Gary O. Haase*	【face 2 face Upper Intermediate, Student's Book, 2d edition '19】 ISBN: 978-1-108-73337-3	火	1・2	D012
(2)	0111026D1	Leigh McDowell*	【Women Who Made a Difference】 ISBN: 9780194267809	火	1・2	E102
(3)	0111027D1	中川 千帆	【Effective Academic Writing 3】 ISBN: 978-0-19-432348-2	火	1・2	N301
(4)	0111028D1	市川千恵子	【You, Me and the World : 3rd Edition featuring SDGs】 ISBN: 978-4-7647-4205-5	火	1・2	E218-2
(5)	0111029D1	齊藤 美和	【プレゼンテーションの英語表現】 ISBN: 978-4532110390	火	1・2	S231(LL1)
(6)	0111030D1	竹本 憲昭	プリント使用	火	1・2	S230(LL3)
(7)	0111031D1	笹本 涼子	プリント使用	火	1・2	ITモズ2
(8)	0111032D1	西口 範子*	【Impact Issues 2 Third Edition】 ISBN: 978-9813-13438-6	金	1・2	S124
(9)	0111033D1	William Ives*	【Smart Choice 1】 ISBN: 978-0194060998	金	1・2	G204
(10)	0111034D1	伊達 桃子	【Voice Your Opinion】 ISBN: 978-4-7647-4179-9	金	1・2	S125
(11)	0111035D1	西岡 幸恵*	【Global Gate Upper-intermediate】 ISBN: 978-4-7919-7283-8	金	1・2	G203
(12)	0111036D1	雲島 知恵	【Take a Stance: Discussing Today's Controversial Issues 2】 ISBN: 978-4-86312-333-5	金	1・2	D012
(13)	0111037D1	正田 久美*	【Global Connections Communicative English with National Geographic Video】 ISBN: 978-1-305-58444-0	金	1・2	E102
(14)	0111038D1	福地 浩子*	【A Passage to Paragraph Writing】 ISBN: 978-4-86312-182-9	金	1・2	A204
(15)	0111039D1	中尾 朋子*	【Message Delivered <Intermediate>】 ISBN: 978-4-52317-902-3	金	1・2	E108
(16)	0111040D1	松林和佳子*	【INTEGRITY Intermediate】 ISBN: 978-4-7647-4175-1	金	1・2	E109
(17)	0111041D1	前田 哲宏*	【5つのステップで学ぶパラグラフライティング】 ISBN: 978-4-7553-0051-6	金	1・2	E107
(18)	0111042D1	柑本 幸子*	【Message Delivered Upper Intermediate】 ISBN: 978-4-523-17903-0	金	1・2	N301
(19)	0111043D1	松井ゆう子*	【Write It Right!】 ISBN: 978-4-7553-0363-0	金	1・2	S126
(20)	0111044D1	小林 佳寿*	【Speaking Steps】 ISBN: 978-4-7647-4151-5	火	1・2	E108
(21)	0111045D1	福地 浩子*	【A Passage to Paragraph Writing】 ISBN: 978-4-86312-182-9	火	1・2	A204
(22)	0111046D1	進藤 三佳*	プリント使用	火	1・2	ITモズ1
(23)	0111047D1	徳田 真央*	【Presentable】 ISBN: 9784863124257	火	1・2	G204
(24)	0111048D1	中川 朗子*	プリント使用	火	1・2	E107
(25)	0111049D1	伊達 桃子	【Voice Your Opinion】 ISBN: 978-4-7647-4179-9	火	1・2	S128
(26)	0111050D1	北口 未来*	【Writing Techniques for College Students】 ISBN: 978-4-7647-3835-5	火	1・2	G203
(27)	0111051D1	西岡 幸恵*	【Global Gate Upper-intermediate】 ISBN: 978-4-7919-7283-8	火	1・2	H402
(28)	0111052D1	雲島 知恵	【Take a Stance: Discussing Today's Controversial Issues 2】 ISBN: 978-4-86312-333-5	火	1・2	S124

アカデミック・イングリッシュ

*は非常勤講師

クラス	担当	担当者	教科書	曜日	時間	教室
(1)	0111081D2	石谷 祐子*	【Tipping Point : Thinking from Diverse Perspectives】 ISBN: 978-4-255-15740-5	金	3・4	N202
(2)	0111082D2	岡田 律子*	【SDGs and Challenges We Face 映像メディアで考えるSDGs】 ISBN: 978-4-88198-781-0	金	3・4	E107
(3)	0111083D2	山本 尚子*	【Disney Films and Secret Messages: Race, Ethnicity, Gender and Sexuality】 ISBN: 978-4-269-11008-3	火	3・4	S233 (LL2)
(4)	0111084D2	石谷 祐子*	【Tipping Point : Thinking from Diverse Perspectives】 ISBN: 978-4-255-15740-5	火	3・4	N202
(5)	0111085D2	進藤 三佳*	プリント使用	火	3・4	ITコマ1
(6)	0111086D2	栗尾 公子*	【TARGET! uppter-intermediate 総合英語のターゲット演習【準上級】】 ISBN: 978-4-7647-4118-8	火	3・4	N201
(7)	0111087D2	太田 純*	【Changes & Choices】 ISBN: 978-4-269-19045-0	火	3・4	N302
(8)	0111088D2	前田 悦子*	【21st Century Reading Student Book 3】 ISBN: 978-1-305-26571-4	金	3・4	N101
(9)	0111089D2	井上 瞬*	【Social Perspectives】 ISBN: 978-4-384-33527-9	金	3・4	G201
(10)	0111090D2	北島 美咲*	【Cultural Issues⇔Environmental Issues環境と文化から見るグローバル世界】 ISBN: 978-4-523-17815-6	金	3・4	G202

プレゼンテーション・イングリッシュ

クラス	担当	担当者	教科書	曜日	時間	教室
(1)	0111101D2	Gary O. Haase*	【Active Presentation A (2017～) Speech and Presentation Activities】 (購入方法については初回授業で指示)	火	3・4	D012
(2)	0111102D2	Leigh McDowell*	【Keynote (AME) Level 3 : Combo Split 3A with Spark Access + e-Book (1 year access) 24】 ISBN: 9798214333939	火	3・4	E102
(3)	0111103D2	竹本 憲昭	プリント使用	火	3・4	S230 (LL3)
(4)	0111104D2	中川 千帆	プリント使用	火	3・4	N301
(5)	0111105D2	小林 佳寿*	【Steps to Academic Presentations】 ISBN: 978-4-269-66043-4	火	3・4	E108
(6)	0111106D2	William Ives*	【Stretch 1】 ISBN: 978-0194603126	金	3・4	G204
(7)	0111107D2	西口 範子*	【Impact Issues 3 Third Edition】 ISBN: 978-9813-13439-3	金	3・4	S124
(8)	0111108D2	松林和佳子*	【Dynamic Presentations】 ISBN: 978-4-7647-4156-0	金	3・4	E109
(9)	0111109D2	雲島 知恵	【Active Presentations:アクティブ・ラーニングで学ぶプレゼンテーション】 ISBN: 978-4-7647-4057-0	金	3・4	D012
(10)	0111110D2	福地 浩子*	【Dynamic Presentations】 ISBN: 978-4-7647-4156-0	金	3・4	A204
(11)	0111111D2	正田 久美*	【Ready to Present A Guide to Better Presentations】 ISBN: 978-4-86-312351-9	金	3・4	E102
(12)	0111112D2	松井ゆう子*	プリント使用	金	3・4	S126
(13)	0111113D2	中尾 朋子*	【Speaking of Speech Premium Edition】 ISBN: 978-4-863123854	金	3・4	E108
(14)	0111114D2	柑本 幸子*	【Present Yourself Level 2 Student's Book 2nd Edition】 ISBN: 978-1-0092-6615-4	金	3・4	N301
(15)	0111115D2	西岡 幸恵*	【Keynote 1】 ISBN: 9798214333854	火	3・4	H402
(16)	0111116D2	雲島 知恵	【Active Presentations:アクティブ・ラーニングで学ぶプレゼンテーション】 ISBN: 978-4-7647-4057-0	火	3・4	S124
(17)	0111117D2	徳田 真央*	【College Presentation】 ISBN: 978-4-7647-4099-0	火	3・4	G204
(18)	0111118D2	北口 未来*	【Simply Writing New Edition A Step-by-Step Guiding to Good Writing】 ISBN: 978-4-7647-4206-2	火	3・4	G203
(19)	0111119D2	中川 朗子*	プリント使用	火	3・4	E107

ドイツ語クラス分け表（前期）

ドイツ語 I A（1～15）

*は非常勤講師

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(1)	文ABCD	0111200D1	吉田 孝夫	月	5・6	S233(LL2)
(2)	文ABCD	0111201D1	吉田 孝夫	木	5・6	S233(LL2)
(3)	文EFGH	0111202D1	児玉 麻美	月	7・8	E109
(4)	文EFGH	0111203D1	児玉 麻美	木	3・4	S124
(5)	理1	0111204D1	池田 晋也*	月	7・8	D012
(7)	理2	0111206D1	小松 紀子*	月	7・8	E108
(9)	理3	0111208D1	山下 大輔*	月	7・8	E107
(11)	生1	0111210D1	池田 晋也*	月	5・6	D012
(13)	生2	0111212D1	小松 紀子*	月	5・6	E108
(15)	生3・工	0111214D1	山下 大輔*	月	5・6	E107

(注) 文学部はA～DとE～Hの2クラスに分かれる。

理学部、生活環境学部は名目番号により3クラスに分かれるので注意すること。

ドイツ語 I B（1～15）

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(1)	文ABCD	0111218D1	ロジェー・テイボール・ワルツ*	月	3・4	E109
(2)	文ABCD	0111219D1	トーマス・ハックナー	木	3・4	N301
(3)	文EFGH	0111220D1	ロジェー・テイボール・ワルツ*	月	5・6	E109
(4)	文EFGH	0111221D1	トーマス・ハックナー	木	5・6	N301
(5)	理1	0111222D1	土谷 真理子*	木	3・4	E102
(7)	理2	0111224D1	廣川 香織*	木	3・4	E109
(9)	理3	0111226D1	西井 美幸*	木	3・4	S233(LL2)
(11)	生1	0111228D1	土谷 真理子*	木	5・6	E102
(13)	生2	0111230D1	廣川 香織*	木	5・6	E109
(15)	生3・工	0111232D1	小松 紀子*	木	5・6	S124

(注) 文学部はA～DとE～Hの2クラスに分かれる。

理学部、生活環境学部は名目番号により3クラスに分かれるので注意すること。

ドイツ語 II A（5）

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(5)	理生工（2回生以上）	0111240D2	西井 美幸*	木	1・2	S233(LL2)

ドイツ語 II B（5）

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(5)	理生工（2回生以上）	0111246D2	トーマス・ハックナー	月	3・4	A203

ドイツ語 III

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
	全学（2年次以上）	0111248D2	児玉 麻美	月	3・4	S230(LL3)

ドイツ語教科書一覧（前期）

科目名	教科書
ドイツ語ⅠA (1-2)	松嶋功記ほか 『リヒトホーフ・ノイ』 朝日出版社
ドイツ語ⅠA (3-4)	児玉麻美、木田綾子、野村優子 『ドイツ語デジタル教科書（電子書籍）』 白水社
ドイツ語ⅠA (5)	上野成利ほか 『パノラマ』（三訂版） 白水社
ドイツ語ⅠA (7)	上野成利ほか 『パノラマ』（三訂版） 白水社
ドイツ語ⅠA (9)	上野成利ほか 『パノラマ』（三訂版） 白水社
ドイツ語ⅠA (11)	上野成利ほか 『パノラマ』（三訂版） 白水社
ドイツ語ⅠA (13)	上野成利ほか 『パノラマ』（三訂版） 白水社
ドイツ語ⅠA (15)	上野成利ほか 『パノラマ』（三訂版） 白水社
ドイツ語ⅠB (1-4)	Denglerほか 『Netzwerk neu A1.1』Klett(978-3-12-607161-1 または新版 978-3-12-607154-3)
ドイツ語ⅠB (5)	清野智昭 『恋するベルリン』（Web改訂版） 朝日出版社
ドイツ語ⅠB (7)	清野智昭 『恋するベルリン』（Web改訂版） 朝日出版社
ドイツ語ⅠB (9)	清野智昭 『恋するベルリン』（Web改訂版） 朝日出版社
ドイツ語ⅠB (11)	清野智昭 『恋するベルリン』（Web改訂版） 朝日出版社
ドイツ語ⅠB (13)	清野智昭 『恋するベルリン』（Web改訂版） 朝日出版社
ドイツ語ⅠB (15)	清野智昭 『恋するベルリン』（Web改訂版） 朝日出版社
ドイツ語ⅡA (5)	福山明治ほか 『ドイツ語作文400題』 朝日出版社
ドイツ語ⅡB (5)	プリントもしくはPDFの形で授業時に配布
ドイツ語Ⅲ	Annette Elisabeth von Droste-Hülshoff 『ユーデンプーヘ』（小川超 編） 同学社

フランス語クラス分け表（前期）

フランス語ⅠA (1~9)

*は非常勤講師

クラス	対象	相ナンパシコド	担当者	曜日	時間	教室
(1)	文ABCD	0111300D1	高岡 尚子	月	3・4	S128
(2)	文ABCD	0111301D1	高岡 尚子	木	3・4	S125
(3)	文EFGH	0111302D1	森田 俊吾	月	7・8	S126
(4)	文EFGH	0111303D1	森田 俊吾	木	5・6	S231(LL1)
(5)	理生工1	0111304D1	藤田 あゆみ*	木	5・6	G202
(6)	理生工1	0111305D1	川上 紘史*	木	5・6	G203
(9)	理生工1	0111308D1	藤田 あゆみ*	木	3・4	G203

(注) 文学部はA~DとE~Hの2クラスに分かれる。

理学部・生活環境学部・工学部は、クラス指定はありませんので、いずれかのクラスを選択してください。

なお、人数に偏りがある場合は、人数調整を行うことがあります。

フランス語ⅠB (1~9)

クラス	対象	相ナンパシコド	担当者	曜日	時間	教室
(1)	文ABCD	0111310D1	各務 奈緒子*	木	5・6	E108
(2)	文ABCD	0111311D1	イザベル 殿村	月	5・6	S231(LL1)
(3)	文EFGH	0111312D1	各務 奈緒子*	木	7・8	E108
(4)	文EFGH	0111313D1	イザベル 殿村	月	3・4	S231(LL1)
(5)	理生工1	0111314D1	各務 奈緒子*	月	5・6	N302
(6)	理生工1	0111315D1	各務 奈緒子*	月	7・8	N302
(9)	理生工1	0111318D1	柿本 佳美*	月	5・6	E218-2

(注) 文学部はA~DとE~Hの2クラスに分かれる。

理学部・生活環境学部・工学部は、クラス指定はありませんので、いずれかのクラスを選択してください。

なお、人数に偏りがある場合は、人数調整を行うことがあります。

フランス語ⅡA (5)

クラス	対象	相ナンパシコド	担当者	曜日	時間	教室
(5)	理・生（2年次以上）	0111324D2	各務 奈緒子*	月	3・4	S125

フランス語ⅡB (5)

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(5)	理・生 (2年次以上)	0111330D2	イザベル 殿村	金	3・4	S230(LL3)

フランス語Ⅲ

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
	全学 (2年次以上)	0111332D2	森田 俊吾	月	3・4	E102

フランス語教科書一覧 (前期)

科 目 名	教 科 書
フランス語ⅠA (1-4)	『Accès くわしく学ぶフランス語の基礎』 朝日出版社
フランス語ⅠA (5・6・9)	『ピエールとユゴー』 [三訂版] 白水社
フランス語ⅠB (1-4)	Totem 1 Hachette
フランス語ⅠB (5・6・9)	『バリのクール・ジャパン』 朝日出版社
フランス語ⅡA (5)	『カフェ・フランセ 2』 朝日出版社
フランス語ⅡB (5)	Totem 2 Hachette
フランス語Ⅲ	プリント配布

中国語クラス分け表 (前期)

中国語Ⅰ (A～H) (週4コマ・コース)

*は非常勤講師

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(A)	文ABCD	0111501D1	前田 真砂美	月	1・2	N302
(B)	文ABCD	0111502D1	大平 幸代	月	3・4	N302
(C)	文ABCD	0111503D1	莊 文瀾*	木	1・2	N202
(D)	文ABCD	0111504D1	莊 文瀾*	木	3・4	N202
(E)	文EFGH	0111505D1	大平 幸代	月	1・2	N301
(F)	文EFGH	0111506D1	前田 真砂美	月	3・4	N301
(G)	文EFGH	0111507D1	何 穎*	木	1・2	N201
(H)	文EFGH	0111508D1	何 穎*	木	3・4	N201

(注) 文学部はA～D と E～H の2クラスに分かれる。

中国語Ⅰ (J～M,R～S) (週2コマ・コース)

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(J)	生活環境学部	0111509D1	何 穎*	月	5・6	N301
(K)	生活環境学部	0111510D1	西尾 和子*	月	5・6	N201
(L)	生活環境学部	0111511D1	西尾 和子*	木	5・6	N201
(M)	生活環境学部	0111512D1	何 穎*	木	5・6	N202
(R)	生活環境学部・工学部	0111517D1	西尾 和子*	月	7・8	N201
(S)	生活環境学部・工学部	0111518D1	莊 文瀾*	木	7・8	N301

中国語Ⅱ (J) (週1コマ・コース)

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(J)	生活環境学部・工学部(2年次以上)	0111529D2	西尾 和子*	木	7・8	N201

中国語Ⅲ

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
	全学 (2年次以上)	0111531D2	何 穎*	月	7・8	N301

文学部1回生は文学部クラス (A組～H組) に基づき、外国語 (ドイツ語・フランス語・中国語) 対象クラスが分かります。

外国語科目クラス分け・教科書一覧表（後期）

英語クラス分け表（後期）

コンプリヘンシブ・イングリッシュ

*は非常勤講師

クラス	担当	担当者	教科書	曜日	時間	教室
(13)	0111013D1	中川 千帆	【Inside Reading 4】 ISBN: 978-0-19-441630-6	金	1・2	N302
(14)	0111014D1	市川千恵子	【Integrity: Advanced】 ISBN: 978-4-7647-4176-8	金	1・2	E108
(15)	0111015D1	竹本 憲昭	プリント使用	金	1・2	D119
(16)	0111016D1	齊藤 美和	【British News Update 7】 ISBN: 978-4-7647-4219-2	火	1・2	S233(LL2)
(17)	0111017D1	栗尾 公子*	【Reading Pass 3 <Second Edition>】 ISBN: 978-4-523-17776-0	火	1・2	N201
(18)	0111018D1	山本 尚子*	【Talking from 9 to 5: Women and Men in the Workplace】 ISBN: 978-4-88198-473-4	火	1・2	N301
(19)	0111019D1	太田 純*	【AFP SciTech Futures】 ISBN: 978-4-7919-7231-9	火	1・2	N302
(20)	0111020D1	井上 瞬*	【Elevate your English with Shadowing—VOA Learning English】 ISBN: 978-4-384-33531-6	火	1・2	S228
(21)	0111021D1	北島 美咲*	【Well-being: Essential Elements for Our Life】 ISBN: 978-4-88198-788-9	金	1・2	H402
(22)	0111022D1	石谷 祐子*	【15 selected Units of English through the News Media 2025 Edition】 ISBN: 978-4-255-15729-0	金	1・2	N202
(23)	0111023D1	井上 瞬*	【Reading Prospect】 ISBN: 978-4-384-33529-3	金	1・2	IT commons1
(24)	0111024D1	前田 悦子*	【Reading Explorer Split 2A】 ISBN: 979-8-214-08583-8	金	1・2	N101

プラクティカル・イングリッシュ

クラス	担当	担当者	教科書	曜日	時間	教室
(29)	0111053D1	Leigh McDowell*	【Global Issues】 ISBN: 9780194624589	火	1・2	E102
(30)	0111054D1	Dahlberg-Dodd	未定	火	1・2	S125
(31)	0111055D1	Gary O. Haase*	【face 2 face Upper Intermediate, Student's Book, 2d edition '19】 ISBN: 978-1-108-73337-3	火	1・2	D012
(32)	0111056D1	Andrew Sowter*	【Stretch level 3A Second Edition Student Book】 ISBN: 978-0-194-60330-0	火	1・2	S126
(33)	0111057D1	笹本 涼子	プリント使用	火	1・2	IT commons2
(34)	0111058D1	西岡 幸恵*	【Global Gate Upper-intermediate】 ISBN: 978-4-7919-7283-8	火	1・2	H402
(35)	0111059D1	市川千恵子	【British News Update 7】 ISBN: 978-4-7647-4219-2	火	1・2	E261
(36)	0111060D1	William Ives*	【Smart Choice 1】 ISBN: 978-0194060998	金	1・2	G204
(37)	0111061D1	福地 浩子*	【Notting Hill: New Format Edition】 ISBN: 978-4-88198-590-8	金	1・2	E218-2
(38)	0111062D1	正田 久美*	【Global Connections Communicative English with National Geographic Video】 ISBN: 978-1-305-58444-0	金	1・2	E102
(39)	0111063D1	伊達 桃子	【Voice Your Opinion】 ISBN: 978-4-7647-4179-9	金	1・2	S125
(40)	0111064D1	西岡 幸恵*	【Global Gate Upper-intermediate】 ISBN: 978-4-7919-7283-8	金	1・2	G203
(41)	0111065D1	雲島 知恵	【Take a Stance: Discussing Today's Controversial Issues 2】 ISBN: 978-4-86312-333-5	金	1・2	D012
(42)	0111066D1	西口 範子*	【Impact Issues 2 Third Edition】 ISBN: 978-9813-13438-6	金	1・2	S124
(43)	0111067D1	松井ゆう子*	【Write It Right!】 ISBN: 978-4-7553-0363-0	金	1・2	S126
(44)	0111068D1	前田 哲宏*	【5つのステップで学ぶパラグラフライティング】 ISBN: 978-4-7553-0051-6	金	1・2	E107
(45)	0111069D1	中尾 朋子*	【Ready to Present: A Guide to Better Presentation】 ISBN: 978-4-86-312351-9	金	1・2	S233(LL2)
(46)	0111070D1	松林和佳子*	【INTEGRITY Intermediate】 ISBN: 978-4-7647-4175-1	金	1・2	E109
(47)	0111071D1	柑本 幸子*	【Message Delivered Upper Intermediate】 ISBN: 978-4-523-17903-0	金	1・2	E251
(48)	0111072D1	進藤 三佳*	プリント使用	火	1・2	IT commons1
(49)	0111073D1	小林 佳寿*	【Speaking Steps】 ISBN: 978-4-7647-4151-5	火	1・2	E108
(50)	0111074D1	福地 浩子*	【Notting Hill: New Format Edition】 ISBN: 978-4-88198-590-8	火	1・2	N202
(51)	0111075D1	伊達 桃子	【Voice Your Opinion】 ISBN: 978-4-7647-4179-9	火	1・2	S128
(52)	0111076D1	北口 未来*	【Writing Techniques for College Students】 ISBN: 978-4-7647-3835-5	火	1・2	E109
(53)	0111077D1	雲島 知恵	【Take a Stance: Discussing Today's Controversial Issues 2】 ISBN: 978-4-86312-333-5	火	1・2	S124
(54)	0111078D1	徳田 真央*	【Presentable】 ISBN: 9784863124257	火	1・2	G204
(55)	0111079D1	中川 朗子*	プリント使用	火	1・2	E107
(56)	0111080D1	須賀あゆみ	【English Template Writing】 ISBN: 978-4-7647-4202-4	火	1・2	N101

アカデミック・イングリッシュ

*は非常勤講師

クラス	担当	担当者	教科書	曜日	時間	教室
(11)	0111091D2	岡田 律子*	【SDGs and Challenges We Face 映像メディアで考えるSDGs】 ISBN: 978-4-88198-781-0	金	3・4	E107
(12)	0111092D2	石谷 祐子*	【Tipping Point : Thinking from diverse Perspectives】 ISBN: 978-4-255-15740-5	金	3・4	N202
(13)	0111093D2	進藤 三佳*	プリント使用	火	3・4	ITコモンズ1
(14)	0111094D2	太田 純*	【Changes & Choices】 ISBN: 978-4-269-19045-0	火	3・4	N302
(15)	0111095D2	栗尾 公子*	【TARGET! uppter-intermediate 総合英語のターゲット演習【準上級】】 ISBN: 978-4-7647-4118-8	火	3・4	N201
(16)	0111096D2	山本 尚子*	【Disney Films and Secret Messages: Race, Ethnicity, Gender and Sexuality】 ISBN: 978-4-269-11008-3	火	3・4	N301
(17)	0111097D2	雲島 知恵	【Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals】 ISBN: 9784863124097	火	3・4	S124
(18)	0111098D2	井上 瞬*	【Reading Trek!】 ISBN: 978-4-7647-4081-5	金	3・4	ITコモンズ1
(19)	0111099D2	北島 美咲*	【Cultural Issues⇔Environmental Issues環境と文化から見るグローバル世界】 ISBN: 978-4-523-17815-6	金	3・4	H402
(20)	0111100D2	前田 悦子*	【Reading Explorer Split 2B】 ISBN: 979-8-214-08584-5	金	3・4	N101

プレゼンテーション・イングリッシュ

クラス	担当	担当者	教科書	曜日	時間	教室
(20)	0111120D2	Dahlberg-Dodd	未定	火	3・4	S125
(21)	0111121D2	Gary O. Haase*	【Active Presentation B (2017~) Speech and Presentation Activities】 (購入方法については初回授業で指示)	火	3・4	D012
(22)	0111122D2	Leigh McDowell*	【Keynote 3B】 ISBN: 9781337108812	火	3・4	E102
(23)	0111123D2	Andrew Sowter*	【Speaking of Speech Premium Edition】 ISBN: 978-4-863123854	火	3・4	S126
(24)	0111124D2	須賀あゆみ	【Ready to Present】 ISBN: 978-4-86-312351-9	火	3・4	N101
(25)	0111125D2	雲島 知恵	【Active Presentations:アクティブ・ラーニングで学ぶプレゼンテーション】 ISBN: 978-4-7647-4057-0	金	3・4	D012
(26)	0111126D2	William Ives*	【Stretch 1】 ISBN: 978-0194603126	金	3・4	G204
(27)	0111127D2	西口 範子*	【Impact Issues 3 Third Edition】 ISBN: 978-9813-13439-3	金	3・4	S124
(28)	0111128D2	松林和佳子*	【Dynamic Presentations】 ISBN: 978-4-7647-4156-0	金	3・4	E109
(29)	0111129D2	正田 久美*	【Ready to Present A Guide to Better Presentations】 ISBN: 978-4-86-312351-9	金	3・4	E102
(30)	0111130D2	松井ゆう子*	プリント使用	金	3・4	S126
(31)	0111131D2	中尾 朋子*	【Speaking of Speech Premium Edition】 ISBN: 978-4-863123854	金	3・4	S233 (LL2)
(32)	0111132D2	柑本 幸子*	【Present Yourself Level 2 Student's Book 2nd Edition】 ISBN: 978-1-0092-6615-4	金	3・4	E251
(33)	0111133D2	福地 浩子*	【Dynamic Presentations】 ISBN: 978-4-7647-4156-0	金	3・4	E218-2
(34)	0111134D2	徳田 真央*	【College Presentation】 ISBN: 978-4-7647-4099-0	火	3・4	G204
(35)	0111135D2	北口 未来*	【Simply Writing New Edition A Step-by-Step Guiding to Good Writing】 ISBN: 978-4-7647-4206-2	火	3・4	E109
(36)	0111136D2	中川 朗子*	プリント使用	火	3・4	E107
(37)	0111137D2	西岡 幸恵*	【Keynote 1】 ISBN: 978-1-337-10410-4	火	3・4	H402
(38)	0111138D2	小林 佳寿*	【Steps to Academic Presentations】 ISBN: 978-4-269-66043-4	火	3・4	E108

ドイツ語クラス分け表（後期）

ドイツ語ⅠA（6～16）

*は非常勤講師

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(6)	理 1	0111205D1	池田 晋也*	月	7・8	E102
(8)	理 2	0111207D1	小松 紀子*	月	7・8	E108
(10)	理 3	0111209D1	山下 大輔*	月	7・8	E107
(12)	生 1	0111211D1	池田 晋也*	月	5・6	E102
(14)	生 2	0111213D1	小松 紀子*	月	5・6	E108
(16)	生 3・工	0111215D1	山下 大輔*	月	5・6	E107

(注) 理学部、生活環境学部は名簿番号により3クラスに分かれるので注意すること。

ドイツ語ⅠB（6～16）

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(6)	理 1	0111223D1	土谷 真理子*	木	3・4	E102
(8)	理 2	0111225D1	廣川 香織*	木	3・4	E109
(10)	理 3	0111227D1	西井 美幸*	木	3・4	S233(LL2)
(12)	生 1	0111229D1	土谷 真理子*	木	5・6	E102
(14)	生 2	0111231D1	廣川 香織*	木	5・6	E109
(16)	生 3・工	0111233D1	小松 紀子*	木	5・6	S124

(注) 理学部、生活環境学部は名簿番号により3クラスに分かれるので注意すること。

ドイツ語ⅡA（1～6）

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(1)	文ABCD	0111236D1	吉田 孝夫	月	5・6	S128
(2)	文ABCD	0111237D1	吉田 孝夫	木	5・6	S233(LL2)
(3)	文EFGH	0111238D1	児玉 麻美	月	7・8	E109
(4)	文EFGH	0111239D1	児玉 麻美	木	3・4	S124
(6)	理・生・工（2年次以上）	0111241D2	西井 美幸*	木	1・2	S233(LL2)

(注) 文学部はA～DとE～Hの2クラスに分かれる。

ドイツ語ⅡB（1～4）

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(1)	文ABCD	0111242D1	ロジェー・ティボール・ワルツビ*	月	3・4	S228
(2)	文ABCD	0111243D1	トーマス・ハックナー	木	3・4	G204
(3)	文EFGH	0111244D1	ロジェー・ティボール・ワルツビ*	月	5・6	S228
(4)	文EFGH	0111245D1	トーマス・ハックナー	木	5・6	G204

(注) 文学部はA～DとE～Hの2クラスに分かれる。

ドイツ語ⅡB（6）

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(6)	理・生・工（2年次以上）	0111247D2	トーマス・ハックナー	月	3・4	E109

ドイツ語Ⅳ

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
	全学（2年次以上）	0111249D2	児玉 麻美	月	3・4	S230(LL3)

ドイツ語教科書一覧（後期）

科目名	教科書		
ドイツ語ⅠA（6）	上野成利ほか	『パノラマ』（三訂版）	白水社
ドイツ語ⅠA（8）	上野成利ほか	『パノラマ』（三訂版）	白水社
ドイツ語ⅠA（10）	上野成利ほか	『パノラマ』（三訂版）	白水社
ドイツ語ⅠA（12）	上野成利ほか	『パノラマ』（三訂版）	白水社
ドイツ語ⅠA（14）	上野成利ほか	『パノラマ』（三訂版）	白水社
ドイツ語ⅠA（16）	上野成利ほか	『パノラマ』（三訂版）	白水社
ドイツ語ⅠB（6）	清野智昭	『恋するベルリン』（Web改訂版）	朝日出版社
ドイツ語ⅠB（8）	清野智昭	『恋するベルリン』（Web改訂版）	朝日出版社
ドイツ語ⅠB（10）	清野智昭	『恋するベルリン』（Web改訂版）	朝日出版社
ドイツ語ⅠB（12）	清野智昭	『恋するベルリン』（Web改訂版）	朝日出版社
ドイツ語ⅠB（14）	清野智昭	『恋するベルリン』（Web改訂版）	朝日出版社
ドイツ語ⅠB（16）	清野智昭	『恋するベルリン』（Web改訂版）	朝日出版社
ドイツ語ⅡA（1-2）	松鶴功記ほか	『リヒトホーフ・ノイ』	朝日出版社
ドイツ語ⅡA（3-4）	児玉麻美、木田綾子、野村優子	『ドイツ語デジタル教科書（電子書籍）』	白水社
ドイツ語ⅡA（6）	福山明治ほか	『ドイツ語作文400題』	朝日出版社
ドイツ語ⅡB（1-4）	Dengler ほか	『Netzwerk neu A1.2』Klett (978-3-12-607169-7 または新版978-3-12-607155-0)	
ドイツ語ⅡB（6）	プリントもしくはPDFの形で授業時に配布		
ドイツ語Ⅳ	Adalbert Stifter	『石灰石』（小川超 編）	同学社

フランス語クラス分け表（後期）

フランス語ⅠA（7・8・10）

*は非常勤講師

クラス	対象	科目ナンバリングコード	担当者	曜日	時間	教室
(7)	理生工1	0111306D1	藤田 あゆみ*	木	5・6	G202
(8)	理生工1	0111307D1	川上 紘史*	木	5・6	G203
(10)	理生工1	0111309D1	藤田 あゆみ*	木	3・4	G202

(注)原則として、前期と同じ担当教員のクラスに登録してください。なお、クラス人数に偏りがある場合は、人数調整を行うことがあります。

フランス語ⅠB（7・8・10）

クラス	対象	科目ナンバリングコード	担当者	曜日	時間	教室
(7)	理生工1	0111316D1	各務 奈緒子*	月	5・6	D012
(8)	理生工1	0111317D1	各務 奈緒子*	月	7・8	D012
(10)	理生工1	0111319D1	柿本 佳美*	月	5・6	E218-2

(注)原則として、前期と同じ担当教員のクラスに登録してください。なお、クラス人数に偏りがある場合は、人数調整を行うことがあります。

フランス語ⅡA（1～6）

クラス	対象	科目ナンバリングコード	担当者	曜日	時間	教室
(1)	文ABCD	0111320D1	高岡 尚子	月	3・4	S128
(2)	文ABCD	0111321D1	高岡 尚子	木	3・4	S125
(3)	文EFGH	0111322D1	森田 俊吾	月	7・8	S126
(4)	文EFGH	0111323D1	森田 俊吾	木	5・6	S231(LL1)
(6)	理・生（2年次以上）	0111325D2	各務 奈緒子*	月	3・4	E218-2

(注)文学部はA～D と E～H の2クラスに分かれる。

フランス語ⅡB（1～6）

クラス	対象	科目ナンバリングコード	担当者	曜日	時間	教室
(1)	文ABCD	0111326D1	各務 奈緒子*	木	5・6	E107
(2)	文ABCD	0111327D1	イザベル・トノムラ	月	5・6	S233(LL2)
(3)	文EFGH	0111328D1	各務 奈緒子*	木	7・8	E107
(4)	文EFGH	0111329D1	イザベル・トノムラ	月	3・4	S233(LL2)
(6)	理・生（2年次以上）	0111331D2	イザベル・トノムラ	金	3・4	S230(LL3)

(注)文学部はA～D と E～H の2クラスに分かれる。

フランス語Ⅳ

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
	全学（2年次以上）	0111333D2	森田 俊吾	月	3・4	E102

フランス語教科書一覧（後期）

科 目 名	教 科 書
フランス語ⅠA(7・8・10)	『ピエールとユゴー』 [三訂版] 白水社
フランス語ⅠB(7・8・10)	『パリのクール・ジャパン』 朝日出版社
フランス語ⅡA(1-4)	『Accès くわしく学ぶフランス語の基礎』 朝日出版社
フランス語ⅡA(6)	『カフェ・フランセ 2』 朝日出版社
フランス語ⅡB(1-4)	Totem 1 Hachette
フランス語ⅡB(6)	Totem 2 Hachette
フランス語Ⅳ	プリント配布

中国語クラス分け表（後期）

中国語Ⅰ（N～Q,T～U）（週2コマ・コース）

*は非常勤講師

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(N)	生活環境学部	0111513D1	何 穎*	月	5・6	N301
(O)	生活環境学部	0111514D1	西尾 和子*	月	5・6	N201
(P)	生活環境学部	0111515D1	西尾 和子*	木	5・6	E108
(Q)	生活環境学部	0111516D1	何 穎*	木	5・6	N202
(T)	生活環境学部・工学部	0111519D1	西尾 和子*	月	7・8	N201
(U)	生活環境学部・工学部	0111520D1	莊 文瀾*	木	7・8	N301

中国語Ⅱ（A～H）（週4コマ・コース）

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(A)	文ABCD	0111521D1	前田 真砂美	月	1・2	N301
(B)	文ABCD	0111522D1	大平 幸代	月	3・4	N301
(C)	文ABCD	0111523D1	莊 文瀾*	木	1・2	N202
(D)	文ABCD	0111524D1	莊 文瀾*	木	3・4	N202
(E)	文EFGH	0111525D1	大平 幸代	月	1・2	N302
(F)	文EFGH	0111526D1	前田 真砂美	月	3・4	N302
(G)	文EFGH	0111527D1	何 穎*	木	1・2	N201
(H)	文EFGH	0111528D1	何 穎*	木	3・4	N201

（注）文学部はA～D と E～H の2クラスに分かれる。

中国語Ⅱ（K）（週1コマ・コース）

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
(K)	生活環境学部・工学部(2年次以上)	0111530D2	西尾 和子*	木	7・8	E108

中国語Ⅳ

クラス	対 象	科目ナンバリングコード	担 当 者	曜日	時間	教室
	全学（2年次以上）	0111532D2	何 穎*	月	7・8	N301

文学部1回生は文学部クラス（A組～H組）に基づき、外国語（ドイツ語・フランス語・中国語）対象クラスが分かります。

(2) 日本語科目

外国人留学生がより深く日本語・日本文化を学ぶために開講される日本語教育の科目です（日本人学生は履修できません）。授業は原則として全て日本語で行われます。

日本語科目の履修単位は、各学部規程により、「外国語科目」の履修単位として認められます。『キャンパスライフ』の次の個所をよく読み、卒業要件単位を満たすよう履修してください。

文学部生……文学部規程第2章第5条 理学部生……理学部規程第2章第4条
生活環境学部生……生活環境学部規程第2章第5条
工学部生……工学部規程第2章第5条

★日本語科目のレベル目安（習熟度によって受講できない場合があります。）

初学者・・・「日本語F」

日本語能力試験N4～N3・・・「日本語J」

日本語能力試験N2・・・「日本語I」および「日本事情」

日本語能力試験N1・・・「日本語II」

日本語科目の履修

■ 日本語科目は1年次から受講可能です。受講希望者は履修登録期間内に登録してください。

日本語科目一覧

日本語科目

*は非常勤講師

科目ナンバリングコード	講義名	内 容	担 当 者	学期	曜日	時間	教室
0112001E1	日本語 I A	文法	中川 明日佳*	前期	火	5・6	G204
0112002E1	日本語 I B	文法	中川 明日佳*	後期	火	5・6	G204
0112003E1	日本語 I C	読解	吉川 仁子	前期	金	3・4	S227
0112004E1	日本語 I D	読解	吉川 仁子	後期	金	3・4	S227
0112005E1	日本語 II A	聴解	松永 光代	前期	木	3・4	国際セミナー室
0112006E1	日本語 II B	聴解	松永 光代	後期	木	3・4	国際セミナー室
0112007E1	日本語 II C	作文	今枝 杏子*	前期	月	3・4	S124
0112008E1	日本語 II D	作文	今枝 杏子*	後期	月	3・4	S124
0112009E1	日本事情A	総合力	久岡 明穂*	前期	火	3・4	国際セミナー室
0112010E1	日本事情B	総合力	久岡 明穂*	後期	火	3・4	国際セミナー室
0112011E1	日本語 F I (1)	総合力	松永 光代	前期	火	5・6	国際セミナー室
0112012E1	日本語 F I (2)	総合力	松永 光代	後期	火	5・6	N203
0112013E1	日本語 F II (1)	総合力	松永 光代	前期	火	7・8	N203
0112014E1	日本語 F II (2)	総合力	松永 光代	後期	火	7・8	N203
0112015E1	日本語 F III	総合力	松永 光代	前期	集中	集中	N203
0112016E1	日本語 F IV	総合力	松永 光代	後期	集中	集中	N203
0112017E1	日本語 J I	総合力	吉川 仁子	前期	木	3・4	ITコモンズ2
0112018E1	日本語 J II	総合力	吉川 仁子	後期	木	3・4	N203

※下記科目は外国語科目の履修単位として認められませんが、日本語教育の科目です。

キャリアデザイン・ゼミナールA

科目ナンバリングコード	講義名	テーマ	担 当 者	学期	曜日	時間	教室
0210109B1	キャリアデザイン・ゼミナール (19)	ビジネス 日本語A	松永 光代	前期	木	9・10	S124
0210110B1	キャリアデザイン・ゼミナール (20)	ビジネス 日本語B	松永 光代	後期	木	9・10	S124

※教室表示のない科目については、シラバス又はCampusmate-Jで確認。

★履修に関する相談、問い合わせ先

オフィスアワー 松永 (N227)：月曜14：40～16：10

吉川 (N221)：火曜16：20～17：00

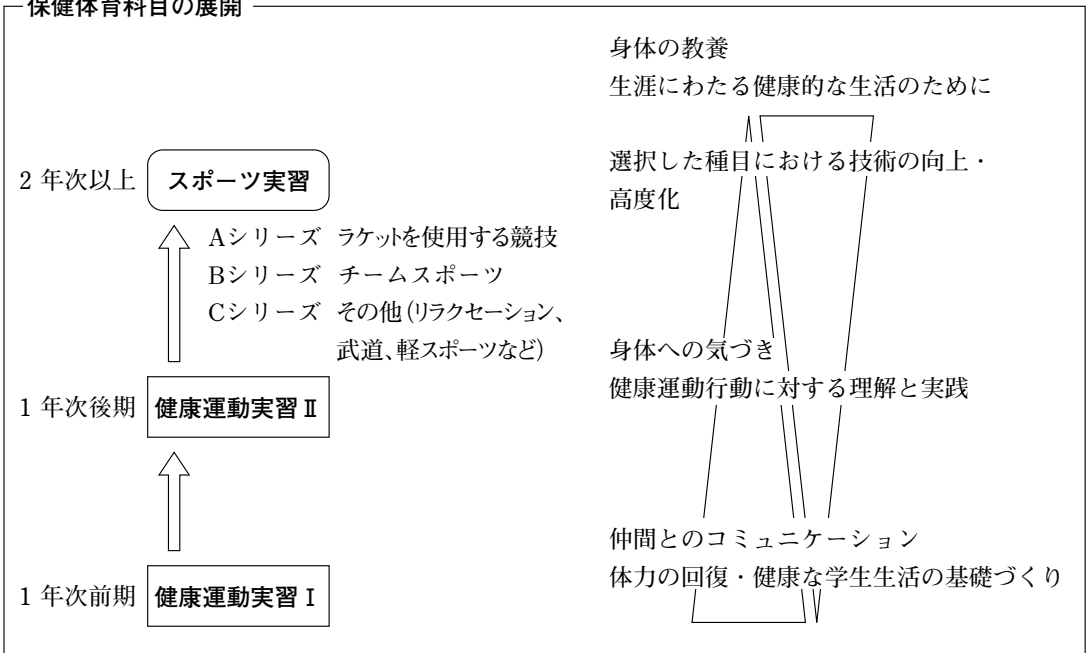
(3) 保健体育科目

保健体育科目には、基礎的な内容を扱う「健康運動実習」と発展的な内容を扱う「スポーツ実習」の2種類の科目があります。

全学部で必修となっている保健体育科目2単位は、「健康運動実習Ⅰ」（1単位、1年次前期）と「健康運動実習Ⅱ」（1単位、1年次後期）を履修しなければなりません。大学生の健康と体力づくりの基礎となる科目です。この2科目については、それぞれ学部別にクラスが指定されます。掲示を確かめて、各自が履修登録すべきクラスを間違えないように気をつけてください。「健康運動実習」2単位は、教員免許状取得のための必修単位です。

「スポーツ実習」は、発展篇として様々な種目のスポーツを体験し、個人スポーツやチーム競技を学んでいく科目です。「スポーツ実習」の履修単位は、保健体育科目の必修単位には数えられませんが、基礎科目群の履修単位として認められます。

保健体育科目の展開



保健体育科目の履修

健康運動実習

- 全学部とも、「健康運動実習Ⅰ」（前期1単位）「健康運動実習Ⅱ」（後期1単位）の計2単位が1年次での必修科目となっています。
- 次ページに、学部別のクラス分けが書かれています。さらに各クラスは学生番号によって分けられます。詳細なクラス分けについては、掲示によって通知されますので、必ず確認して、誤りなく履修登録してください。
- 再履修者は、原則として最初に受講したクラスに履修登録してください。最初の授業で各担当教員に申し出ること。ただし、時間割上不都合のある場合は、後述の問い合わせ先まで申し出てください。
- 「健康運動実習」2単位は、教員免許状取得のための必修単位です。

スポーツ実習

- スポーツ実習の履修単位は、「基礎科目群」の履修単位として認められます。
- スポーツ実習については、何科目でも履修が可能です。ただし、すでに履修済みの科目を重複して登録することはできません。また、設備などの都合により、受講者数の制限を行うことがあります。（第一週授業の出席者を優先します）
- スポーツ実習はA（ラケットを使用する競技）・B（チームスポーツ）・C（その他：リラクゼーション、武道、軽スポーツなど）の3分野からなり、種目別や習熟度別に開講されています。様々なスポーツに楽しく挑戦してください。

令和7年度編入学生へ

令和7年度の第3年次編入学生（全学部）が、必修の保健体育科目を履修する場合、専門科目の時間割などの都合で「健康運動実習（A～P 15クラス）」の履修が困難な時には、「スポーツ実習」（A～C各科目）の履修によって代替することができます。

この代替措置については、所属学科の教務担当教員・学務課の各学部係とよく相談してください。

・編入生、再履修について

生活環境学部心身健康学科 スポーツ健康科学コース
浅野友之 N118 (0742-20-3773) t.asano@cc.nara-wu.ac.jp

・履修に関する相談

生活環境学部心身健康学科 スポーツ健康科学コース
星野聡子 E160 (0742-20-3350) satoko@cc.nara-wu.ac.jp

健康運動実習クラス一覧

前期

健康運動実習Ⅰ

*は非常勤講師

クラス	対象	科目ナンバリングコード	担当者	曜日	時限
(A)	文学部	0113001D1	平塚 卓也	月	7・8
(B)	文学部	0113003D1	河西 正博*	月	7・8
(C)	文学部	0113005D1	智原 江美*	金	5・6
(D)	文学部	0113007D1	辻野 和美*	金	5・6
(E)	環境科学コース	0113009D1	石坂 友司	水	3・4
(F)	数物科学科A	0113011D1	井上 裕美子*	木	5・6
(G)	数物科学科B	0113013D1	成瀬 九美	木	5・6
(H)	化学コース	0113015D1	青木 恵子*	金	3・4
(I)	生物科学コース	0113017D1	藤原 素子	金	3・4
(J)	食物栄養学科	0113019D1	小山 宏之*	火	7・8
(K)	心身健康学科	0113021D1	星野 聡子	火	7・8
(L)	住環境学科	0113023D1	智原 江美*	金	7・8
(M)	生活文化学コース	0113025D1	辻野 和美*	金	7・8
(N)	工学部A	0113027D1	浅野 友之	火	3・4
(O)	工学部B	0113029D1	小西 暢子*	火	3・4
(P)	生活情報通信科学コース	0113031D1	藤原 素子	水	3・4

後期

健康運動実習Ⅱ

クラス	対象	科目ナンバリングコード	担当者	曜日	時限
(A)	文学部	0113002D1	平塚 卓也	月	7・8
(B)	文学部	0113004D1	魚田 尚吾*	月	7・8
(C)	文学部	0113006D1	智原 江美*	金	5・6
(D)	文学部	0113008D1	辻野 和美*	金	5・6
(E)	環境科学コース	0113010D1	石坂 友司	水	3・4
(F)	数物科学科A	0113012D1	青木 恵子*	木	5・6
(G)	数物科学科B	0113014D1	成瀬 九美	木	5・6
(H)	化学コース	0113016D1	青木 恵子*	金	3・4
(I)	生物科学コース	0113018D1	浅野 友之	金	3・4
(J)	食物栄養学科	0113020D1	筒井 香*	火	7・8
(K)	心身健康学科	0113022D1	小坂 美保*	火	7・8
(L)	住環境学科	0113024D1	智原 江美*	金	7・8
(M)	生活文化学コース	0113026D1	辻野 和美*	金	7・8
(N)	工学部A	0113028D1	浅野 友之	火	3・4
(O)	工学部B	0113030D1	小西 暢子*	火	3・4
(P)	生活情報通信科学コース	0113032D1	藤原 素子	水	3・4

スポーツ実習クラス一覧

スポーツ実習

クラス	内容	科目ナンバリングコード	担当者	学期	曜日	時限
A 1	テニス初中級	0113033D2	魚田 尚吾*	後期	月	5・6
A 3	バドミントン初級	0113035D2	河西 正博*	前期	月	5・6
A 5	卓球初級	0113037D2	竹村 匡弥*	前期	水	5・6
A 6	卓球初中級	0113038D2	竹村 匡弥*	後期	水	5・6
B 4	バレーボール	0113048D2	竹村 匡弥*	前期	水	7・8
B 5	バスケットボール	0113049D2	竹村 匡弥*	後期	水	7・8
C 1	ボディ・アウエアネス	0113050D2	井上 裕美子*	前期	木	7・8
C 2	ファン・ラン&ジャンプ	0113051D2	小山 宏之*	前期	火	5・6
C 3	リラクゼーション・フィットネス	0113052D2	青木 恵子*	後期	木	3・4
C 4	武道(剣道・なぎなた)	0113053D2	星野 聡子	前期	月	5・6
C 5	スイミング・アクアエクササイズ	0113054D2	石坂 友司 他	前期	—	—
C 6	スキー	0113055D2	成瀬 九美 他	後期	—	—

(4) 情報処理科目

「情報処理入門」（令和6年度以前の「情報処理入門Ⅰ」から科目名変更）では、原則として学部別クラス編成で、ICTの活用が当然となっている現代社会で活躍するための基礎知識として、情報とコミュニケーション、情報ネットワーク、情報システム、情報セキュリティ、情報倫理、データサイエンス、AIなどについて体系的に学びます。

教員免許状取得のためには、「情報処理入門」（2単位）が必修となります（理学部化学生物環境学科のみ「環境科学基礎プログラミング演習」（理学部専門科目）選択可能）。

情報処理科目の履修

「情報処理入門」（前期）

■ 学部別にクラスが編成されていますので、できるだけ所属学部のクラスで受講してください。

クラス	対象	科目ナンバリングコード	氏名	曜日	時限	教室
(A)	理学部	0114001A1	瀧本 栄二	火	7・8	G101
(B)	理学部・工学部	0114002A1	瀧本 栄二	水	7・8	
(C)	文学部・工学部	0114003A1	瀧本 栄二	水	1・2	
(D)	文学部・工学部	0114004A1	藤原 賢二	木	7・8	
(E)	生活環境学部	0114005A1	瀧本 栄二	火	5・6	
(F)	生活環境学部	0114006A1	水原 啓暁	金	5・6	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムについて

本学では、「情報処理入門」（令和3～6年度の「情報処理入門Ⅰ」）をリテラシーレベルの「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」として実施し、「情報処理入門」の単位を修得し、理解度確認テストに合格した学生へプログラム修了証を発行しています。本プログラムは令和4年8月に文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定されました。修了証は、本プログラムを適切に修了したことを証明するものとして、就職活動等に活用してください。

プログラム詳細は大学ホームページを確認してください。

大学ホームページ→「修学案内」→「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」



※「数理・データサイエンス・AI」とは、内閣府の「AI戦略2019」に示されているように、デジタルトランスフォーメーション（DX）社会の「読み・書き・そろばん」のことです。

4 教養科目群

教養科目群は、各自の関心に応じて、先述の「奈良女子大学的教養」を身につけるための科目群です。教養科目は専門科目を学ぶための基礎学習ではありません。従って、全在学期間を通じて履修できるようにになっています（一部の科目を除く）。科目のテーマから、「大学生活入門・パサージュ」「人間と文化」「生活と社会」「人間と自然」「グローバル教育科目」という5つの分野に分けられています。

それぞれの分野の科目は、下のようになります。ただし科目によっては、毎年開講されるとは限りませんから、「Ⅷ 科目一覧・科目改正一覧」や『シラバス（Web）』を参照してください。

なお、「日本国憲法」は教員免許状取得のための必修科目、「人権と差別」、「哲学の歴史」、「現代の倫理」、「現代宗教学への招待」は教員免許状取得のために履修することが望ましい科目です。

教養科目群の分野と科目

[大学生活入門・パサージュ・諸学への誘い]

『奈良』女子大学入門、「パサージュ」、「考える力をみがく」「これからの社会で生きるために」「諸学への誘い」があります。

『奈良』女子大学入門は、特に新入生向けの導入科目で、本学の学生としての勉強や生活をスタートする際の工夫や注意点が講義されます。1回生の最初に履修することを推奨します。

「パサージュ」は、1回生の最初に大学の「学問」に触れ、それが高校までの学習と如何に違うのかを体験する授業です。（←5つの問いの1. 大学ならではの学びとは何ですか？）1回生前期を前半、後半に分けて、7回の1単位科目として設定されています。学部混合で、人数は各25名程度までのミニゼミです。履修希望者は第3希望まで申し込み、希望多数の場合は抽選で人数調整します。詳細については、入学式当日に配布する資料を参照してください。

こちら <https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/education/passage/passage2025.html> からガイダンス映像を見ることができます。79ページにテーマ一覧を掲載しています。

「考える力をみがく」は、パサージュでの経験やそれぞれの興味・関心、日常の大学生活の中からテーマをピックアップし、それらについて思考を深める演習活動に取り組むことを通じて、その思考を支える「技」や「術」を鍛えます。

「これからの社会で生きるために」は、「労働法の基礎知識」「金融の基礎知識」「情報倫理・セキュリティ」「学術研究の社会的意義と責任」の四つのテーマについて、社会の第一線で活躍している実務家の方々に講師としておいでいただき、そのお話を伺った後に議論します。皆さんが大学で学んだ後、社会に出たときに必要とされる知識を身につけ、そこで直面する問題について考えることを通じて、これからの社会で働き、生活し、学びつづけるための準備をします。（この科目は、平成31年度入学生からは3回生以上に履修する高年次教養科目となっています。平成30年度以前入学生も、履修が可能です。）

「諸学への誘い（いざない）」は、学問の面白さや奥深さを知るための集中講義形式の授業です。諸分野の専門家が1コマずつ登壇しますので、8コマ以上を受講してください。オンライン受講も可。詳細はシラバス及び教養教育ウィーク奈良カレッジ学問祭HP（QRコード→）にて。



〔人間と文化〕

哲学の歴史	考古科学ゼミ	日本の言語と文学
現代の倫理	地域の人と暮らし	アジア学入門
現代宗教学への招待	自然環境の地理学	アラビアの言語と文化
心の科学への招待	日本の美と芸術	ベトナムの言語と文化
社会と文化の心理学	西洋の美と芸術	西洋の言語と文化
[コア] 人類史	音楽概説	環太平洋くろしお文化論
歴史学	[コア] 古典を読むA、B	
ことばと文化	ことばのしくみ	

〔生活と社会〕

ジェンダー論入門	国際関係論	経済学
[コア] 女性リーダー論	日本国憲法	統計学
社会学	人権と差別	奈良を知る
[コア] なら学	政治学	ヨーロッパ学入門
インクルーシブってなに？	法律学	国際機構論入門

〔人間と自然〕

社会に出るまでに知っておきたい科学I(A) / (B)	生活の中の物理学	ジェンダー生理学
教養としての自然科学A / B	化学の常識	健康・スポーツ科学
ベーシックサイエンス I、II	環境と生物	生活と色彩
[コア] 共生科学	固体地球環境学入門	アメリカ学生研修SEASoN
科学史	いのちと健康	教養としての化学数学
数学入門	生活と健康	人体科学

〔グローバル教育科目〕

異文化理解と国際協力	Japanese Culture and History A、B ^{*2}
異文化理解と平和構築	Contemporary Japanese Society A、B ^{*2}
日本文化と地域社会A、B、C、D ^{*1}	Traditional Japanese Culture A、B ^{*2}
Modern Japanese Literature and Media A、B ^{*2}	Global Studies and Communication A、B

*1 外国人留学生およびサマープログラムに参加する短期留学生対象科目

*2 英語による日本事情科目（授業は英語で行われます）

『教養コア科目』

「奈良女子大学の教養」（37ページ参照）を身につけるための中核科目として、平成27年度から開講されている教養科目です。令和7年度は下記の4科目が開講されます。

なら学
共生科学

これからの社会で生きるために
女性リーダー論

「教養」とは知識の量や幅ではなく、それをどれだけ使いこなせるか、という「機能」である、という考え方にに基づき、専門領域の異なる複数の教員が協働して一つのテーマを徹底的に追求し、ゼミや実習、フィールドワーク、反転授業、ディベートなど、多様な学びの方法論を活用することを通じて、皆さんの学ぶ力、考える力を鍛えます。そして、一つのテーマに関する深い学びから、関連する様々な「サテライト科目」へと、学びが広がります。

多彩な学習方法を取り入れるため、希望者多数の場合は抽選などで受講者数の制限をすることがあります。必ず初回の授業に出席するようにしてください。

〔高年次教養科目〕 ※平成31年度以降入学者

教養科目というと普通は1・2回生で履修するイメージかもしれませんが。しかし「教養」は決して「専門」の基礎ではありません。むしろ本格的に「専門」の学び・研究に向かい合うときにこそ、そのことの自分や社会にとっての意味を問い直すことのできる「教養」が求められます（本学の教養教育の理念「奈良女子大学的教養」を参照）。

平成31年度～令和6年度入学の方は、高年次（3・4回生）で履修することを指定する科目（高年次教養科目）から1単位以上を履修することを必修とします。令和7年度に開講される高年次教養科目は以下の2科目です。

それぞれの科目は単位数、開講時期が異なり、履修期限がある場合もあるので、シラバスをよく確認してください。

〔コア〕 これからの社会で生きるために
教養としての化学数学

パサージュテーマ一覧

クラス	科目ナンバリングコード	テーマ	担当者	曜日	時間	教室
5B	0121009A1	微分積分学と線型代数学	森藤 紳哉	水	3・4	G204
18A	0121010A1	メタンから始まる有機物ワールドへのいざない	浦 康之 松本 有正	木	1・2	G204
23B	0121011A1	微生物と野菜と私たちの暮らし	酒井 敦	金	7・8	G204
27A	0121023A1	「触り心地」で広がる世界	佐藤 克成	金	3・4	H202
27B	0121024A1					
39A	0121005A1	十津川村に行こう！ — 山間地域の暮らしを知る	西村雄一郎 浅田 晴久	火	9・10	S124
40A	0121012A1	惑星大気科学 Planetary Atmospheric Science	野口 克行	月	7・8	G204
49A	0121013A1	定理・原理・法則と定数で自然を読み解く	宮林 謙吉	木	1・2	S124
59B	0121006A1	モチベーションの心理学： 心理学の本を読み、研究してみる	竹橋 洋毅	月	7・8	E218-2
60A	0121015A1	身体的共感をめぐって— みることと 感じること	成瀬 九美	水	1・2	N301
65A	0121014A1	あなたを知る比較生物学 ～生物を比べてわかること～	堀 沙耶香	水	1・2	G204
67A	0121025A1	世の中の役に立つ材料	黒子 弘道 三方 裕司 大背戸 豊 山本健太郎 庄司 淳	木	9・10	E218-2
68A	0121007A1	漢文を読もう— 中国古典入門	大平 幸代	水	3・4	G204
69B	0121008A1	奈良の観光を考える	寺岡 伸悟	金	5・6	S124
70A	0121016A1	科学的視点から考える健康的な食生活 の実践	小原 理加 菅 尚子 齋藤公美子 宮本 真菜	水	1・2	D119
71B	0121017A1	「自分」とは何か： 臨床心理学の視点から	時岡 良太	木	5・6	E218-2
72B	0121018A1	建築をデザインする	加藤亜矢子	木	1・2	E251
73A	0121019A1	地震に強い家づくり	角田功太郎	木	7・8	E218-2
74B	0121020A1	社会・経済制度と開発問題	安橋 正人	木	7・8	E218-2
75A	0121021A1	コンピュータで「見る」	Meng-Yu Jennifer Kuo	火	3・4	G302
75B	0121022A1					
76A	0121026A1	万葉歌碑・史跡を歩く	宮路 淳子	木	3・4	G204
76B	0121027A1					

Aクラスは前期の前半、Bクラスは前期の後半に実施します。各テーマの詳細は入学式当日に配布する資料を参照してください。

5 積極開放科目

「積極開放科目」とは、教養教育と専門教育を連携させるために、積極的に他学科や他学部 of 学生の履修を受け入れる専門教育科目で、学部ごとにふさわしい科目が指定され、履修単位は卒業要件単位に算入されます。

それぞれの専門分野で視野を広げたり、専門外の領域の知識を体系的に身につけたりするには、教養教育科目だけでは物足りなくなることがあります。また自分の関心から、他学部で魅力的な科目が開講されているのに気づくこともあります。

積極開放科目の一覧は『専門教育ガイド』の各学部のページに示されています。

なお、積極開放科目に指定されていない専門科目でも、他学部生の履修を受け入れることが可能な場合もあります。その科目の担当教員に相談してみてください。

IV キャリア教育科目の履修

- 1 キャリアプラン科目群 ……………83
- 2 教職科目群・資格関連科目群について ……………86

IV キャリア教育科目の履修

1 キャリアプラン科目群

キャリアプラン科目群の履修

卒業後の就職や進学などの将来設計について、基礎知識や情報収集能力・構想力を身につけ、各自のプランづくりに早期から取り組むための科目群です。科目の一部は卒業要件単位に算入されます。

このカリキュラムは、次表のような科目で構成されています。各科目の詳細はシラバス（Webで公開）を参照してください。

キャリアプラン科目群の構成

科目名	標準履修年次	内 容	開講期
現代社会と職業	主に 1・2年次	キャリア教育全体の基礎となる科目。働きつつ生きることの意味や、その舞台としての現代社会の仕組みを理解する。	前期
大学での学びと私の仕事	主に 1～3年次	専門職やスペシャリストへの道を、各分野で活躍している方々の話を聞きながら考える。	後期
キャリアデザイン・ゼミナール A～C	1～4年次	多彩な開講科目を提供。スキルの習得（文章表現力・英語力・プレゼンテーション・ITなど）や実地体験（コミュニケーション力・問題発見力・企画力などを習得）を通じ、自分ならではの実践力をつける。重複履修可。	詳細は、次ページ表を参照

このうち、「現代社会と職業」の履修単位は、「教養科目群」の履修単位として認められます。

★相談・問い合わせ先 学務課学務係

キャリアデザイン・ゼミナール（授業方法：演習、単位数：1単位）科目一覧

*は非常勤講師

科目名	クラス	テーマ	年次	細かなコード	担当教員	学期
キャリアデザイン・ゼミナール A (スキル系)	(16)	TOEFL対策講座	全学1～4回生	0210004B1	松永光代	前期集中
	(19)	ビジネス日本語A	留学生	0210005B1	松永光代	前期
	(20)	ビジネス日本語B	留学生	0210006B1	松永光代	後期
	(31)	ビジネス日本語A (集中プログラム)	留学生	0210007B1	松永光代	前期集中
	(32)	ビジネス日本語B (集中プログラム)	留学生	0210008B1	松永光代	後期集中
キャリアデザイン・ゼミナール B (体験・実践系)	(11)	奈良の食をさぐる	全学1～4回生	0210009B1	高村仁知・齋藤公美子	後期不定期
	(17)	奈良の食を知る	全学1～4回生	0210010B1	高村仁知・齋藤公美子	前期不定期
	(46)	学生交流企画の立案・実行A	全学1～4回生	0210011B1	松永光代・松原千恵	前期集中
	(48)	グローバル女性人材養成プログラム (ニュージーランド)	全学1～4回生	0210012B1	松永光代	後期集中
	(52)	奈良の木 造形演習	全学1～4回生	0210013B1	室崎千重・戸田直美*・公庄直樹*	後期集中
	(54)	国際チャレンジ活動A	全学1～4回生	0210014B1	高須夫悟・松永光代	不定期
	(58)	グローバル女性人材養成プログラム (フィリピン)	全学1～4回生	0210015B1	松永光代・大高千明	前期集中
	(65)	留学生キャリア形成チャレンジ	全学1～4回生	0210016B1	松原千恵・松永光代	不定期
	(69)	地域とつながり、支えられる教師になるために	全学1～4回生	0210017B1	二井仁美・堀本三和子	不定期
	(70)	学生交流企画の立案・実行B	全学1～4回生	0210018B1	松永光代・松原千恵	後期集中
	(71)	国際チャレンジ活動B	全学1～4回生	0210019B1	高須夫悟・松永光代	不定期
	(72)	国際チャレンジ活動C	全学1～4回生	0210020B1	高須夫悟・松永光代	不定期
	(73)	国際チャレンジ活動D	全学1～4回生	0210021B1	高須夫悟・松永光代	不定期
	(74)	国際チャレンジ活動E	全学1～4回生	0210022B1	高須夫悟・松永光代	不定期
	(76)	国際交流キャリア形成支援	全学1～4回生	0210023B1	松原千恵・松永光代	不定期
	(77)	奈良の自然と人の暮らし・調和を探る	全学1～4回生	0210024B1	酒井敦・大谷円	不定期
	(80)	国際チャレンジ活動アカデミックA	全学1～4回生	0210025B1	高須夫悟・松永光代	不定期
	(81)	国際チャレンジ活動アカデミックB	全学1～4回生	0210026B1	高須夫悟・松永光代	不定期
	(86)	グローバル女性人材養成プログラム (ヨーロッパ)	全学1～4回生	0210029B1	橋田力	後期集中
	(87)	未来の社会をよりよくするために必要なスキル (フューチャースキル) を身につけよう!	全学1～4回生	0210030B1	杉村逸郎・松田文雄・森田尋子・山崎基治	後期不定期
	(88)	自分達でビジネスを作ってみよう	全学1～4回生	0210031B1	杉村逸郎・松田文雄・森田尋子・山崎基治	後期不定期
	(89)	社会課題解決のアクションプランを考えよう!	全学1～4回生	0210032B1	杉村逸郎・松田文雄・森田尋子・山崎基治	前期不定期
	(90)	奈良市教育委員会との共同プログラム ~小学生を対象とした授業体験~	2回生以上	0210033B1	長谷圭城・山内茂雄	後期前半
(91)	金融工学入門 「世界のお金の流れを知ろう ~模擬投資体験~」	2回生以上	0210034B1	長谷圭城・安橋正人	不定期	
キャリアデザイン・ゼミナール C (現代・総合系)	(3)	財政・金融はどうなっている? ~私たちの生活から考えてみよう~	全学1～4回生	0210035B1	藤井友気ほか (近畿財務局奈良財務事務所)	前期
	(9)	山村で考える多様な生き方-下北山学入門-	全学1～4回生	0210036B1	寺岡伸悟・鈴木靖子	前期不定期
	(12)	Global Citizenship Seminar	全学1～4回生	0210037B1	橋田力・南雲勇多	後期集中
	(14)	未来共創コーディネート演習II	2回生以上	0210038B1	村松加奈子	不定期

- 時間割のページにも詳細を掲載しています。内容についてはWebシラバスを確認してください。
- キャリアデザイン・ゼミナールは不定期に開講されることがありますので、初回の開講日/教室などについては、掲示またはガイダンス資料に注意してください。

(参考) 全学共通科目・専門教育科目で開講されるインターンシップ科目一覧 (令和6年度開講科目)

開講区分		科目名	対 象	科目 ナンバリングコード	担当者	開講期
全学共通科目		実践型キャリア教育プログラムⅠ	全学2～4回生	0210039D2	未定	不定期
		実践型キャリア教育プログラムⅡ	全学3～4回生	0210040D3	未定	不定期
専門教育 科目	生活環境 学部	住環境学学外実習Ⅰ (インターンシップ)	住環境学科 3回生	3241055D3	山本直彦	集中
		住環境学学外実習Ⅱ (インターンシップ)	住環境学科 3回生	3241056D3	山本直彦	集中
		インターンシップ実習 (生活文化学)	生活文化学科 3回生	3251062D3	大塚浩	集中

●内容についてはWebシラバスを確認してください。

2 教職科目群・資格関連科目群について

本学ではキャリア教育の一環として、教育職員免許状（教員免許）取得のためのカリキュラム（教職課程）のほか、学芸員、学校図書館司書教諭の資格カリキュラムを設けており、「キャリア教育科目」の「教職科目群」ならびに「資格関連科目群」がこれに相当します。

教職課程では、附属学校園（附属幼稚園・附属小学校・附属中等教育学校）とも連携しながら、幼稚園から高校まで、ほとんどの校種、教科の教員免許状を在学中に取得できます。ただし、文学部人間科学科「子ども教育専修プログラム」の学生以外が幼稚園・小学校免許取得のための科目を履修する場合は制限がありますので注意してください。

なお、教員免許状と学芸員資格の両方を取得するのは難しいため、綿密に履修計画を立てて実行してください。

各資格の詳細については「Ⅶ 諸資格の取得」を参照してください。

V 他大学科目の履修

1 連携開設科目	89
2 単位互換制度	92
(1) 放送大学教育協力型単位互換科目	92
(2) 奈良教育大学との単位互換制度	96
(3) お茶の水女子大学との単位互換制度	97
(4) 奈良県大学連合における単位互換制度	99

V 他大学科目の履修

本学で開講される授業科目のほか、協定等を締結した他大学の授業科目の一部を履修し、本学の単位として修得することができます（「連携開設科目」、「単位互換制度」）。制度により履修手続きや修得単位の取り扱いが異なるため、よく確認して履修してください。

<各制度の概要>

制度名・協定大学		対象学年	履修手続き			科目の取り扱い		
			出願科目数上限	事前出願	履修登録	年間登録上限	GPA算入	卒業要件単位への算入
連携開設科目 (奈良教育大学)		1回生以上	なし	不要	必要	含む	含む	教養科目 …教養科目群 教職科目 …対象外(※2)
単位互換制度	放送大学	1回生以上	年間 2科目	必要	必要	含まない	含まない	自由選択科目へ 参入される
	奈良教育大学	1回生(後期)以上	なし (※1)		不要	含む		対象外(教職、資格科目に該当)
	お茶の水女子大	2回生以上						自由選択科目へ 参入される
	奈良県内大学連	2回生以上	年間 4科目		自由選択科目へ 参入される			

※1 各大学における開講科目ごとに、受講者数が制限されることがあります。

※2 文学部人間科学科「子ども教育専修プログラム」生は「教育経営行政論」の修得単位は卒業要件に含む。

1 連携開設科目

令和4年度より、本学と奈良教育大学の間で、教養科目の一部を両大学の学生が受講できる「連携開設科目」として開講し、本学の学生が奈良教育大学の教養科目を受講し、卒業要件単位に含めることができます。

令和7年度に連携開設科目として開講される奈良教育大学の授業科目や手続き等については以下のとおりです。対象科目を受講する場合は、手続きや履修方法に注意してください。

令和7年度奈良教育大学開講連携開設科目

前期

科目ナンバリングコード	授業科目名	教員名	単位	曜日	時限
0126001A1	フィールドワークで地域に学ぶ	河本大地	2	火	1・2
0126003A1	科学技術の歴史と身の回りの物質	梶原篤	2	火	1・2
0126006A1	キャリア形成と人権	生田周二	2	火	1・2
0126011A1	国連SDGs入門 －「行動の10年」のためのサステナビリティの学び－	中澤静男	2	火	5・6
0126002A1	仮名書道と実用書	北山聡佳	2	火	5・6
0126004A1	E S D と防災	及川幸彦	2	木	3・4

0126016A1	E S D 原論	及川幸彦、 河野晋也	2	木	7・8
0126007A1	ESDと学校教育	河野晋也、 大西浩明	2	木	9・10
0126005A1	考古学と自然科学	青木智史、 金原正明	2	木	9・10
0126017A1	多文化・人権フィールドワーク	南雲勇多	2	木	9・10
0126018A1	外国人児童生徒等のための日本語教育の基礎	和泉元千春	2	金	1・2
0126012A1	サバイバルロジカルシンキング	中村元彦	2	金	3・4

後期

科目ナンバリングコード	授 業 科 目 名	教員名	単位	曜日	時限
0126008A1	ESDと生活科・総合的な学習の時間	河野晋也、 大西浩明	2	月	9・10
0126009A1	人権と教育	生田周二	2	火	1・2
0126013A1	Excel VBAのプログラミング： 教育用ゲームを作る	出口拓彦	2	火	3・4
0126019A1	運動と健康	前川真姫	2	水	3・4
0126020A1	E S D と 気 候 変 動	及川幸彦	2	木	5・6
0126021A1	E S D と 世 界 遺 産	中澤静男、大西 浩明	2	木	9・10
0126014A1	足元の多文化化・国際化	南雲勇多	2	木	9・10
0126010A1	「日の丸・君が代問題」の歴史的考察	今正秀	2	金	1・2
0126015A1	国際・異文化間理解 (海外体験プログラムへの誘い)	南雲勇多、 前田康二、 佐藤臨太郎	2	金	9・10

〈教職科目〉

科目ナンバリングコード	授 業 科 目 名	教員名	単位	時間割	
0220083B2	学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）	竹村謙司	1	不定期	
0220084B3	学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）	竹村謙司	1	不定期	
0220085A2	教育経営行政論（A）	小林昇光	2	前期	木3・4
0220086A2	教育経営行政論（B）	小林昇光	2	後期	木7・8

■ 履修登録

履修登録期間内に、本学の他の授業科目と同様に、Campusmate-Jを使用して奈良教育大学の連携開設科目を履修登録してください。

■ 履修単位の取扱い

卒業要件単位として含めることができる連携開設科目の単位は、最大30単位までです。ただし、学部により卒業要件単位等の扱いが異なりますので、所属学部の規程で確認してください。

■ 履修方法と成績評価

- ・対面で実施される科目は、奈良教育大学の講義室で受講する必要があります。実施形態は奈良教育大学シラバスまたは奈良教育大学LMS（Moodle）で確認してください。
- ・本学与奈良教育大学では授業の開始・終了時刻が一部異なります。本学の時間割と移動時間等を考慮して受講を計画してください。
- ・本学与奈良教育大学の授業日程が一部異なることがあります。また、試験日が他の授業と重なる

こともあります。この場合は、奈良教育大学の授業・試験を優先してください。

- ・授業の受講に関しては、奈良教育大学のルール等に従ってください。
- ・奈良教育大学開講科目に係る休講・補講等の連絡は、奈良教育大学ホームページの該当ページを確認してください。
- ・成績は、他の授業と同様に、Campusmate-Jから確認することができます。成績評価は、奈良教育大学の基準に従い行われ、本学の対応する成績評価（S,A,B,C,F）に変換されます。

■ LMS（奈良教育大学Moodle）の登録

授業連絡や配布物等のデータのやりとりは、奈良教育大学のLMS（奈良教育大学ではMoodleと呼びます）を用いて行われます。初回の授業から参加できるよう、授業開始日までに奈良教育大学のMoodleの自己登録を行い、連絡事項を確認してください。

<奈良教育大学Moodleの登録手順>

1. 奈良女LMSへログインし、リンク集から「奈良教育大学LMS」へ移動（下記のURL、QRコードからも直接アクセスできます）
2. 奈良女LMSと同じアカウント名、パスワードでサインイン
※初めて利用する場合はプロフィール登録を行います。
（「姓」：本学の学生番号、「名」：漢字氏名（フルネーム））
3. 該当する授業科目を検索して自己登録を行う

※連携開設科目に関する参考ページ

- ・奈良教育大学LMSログインページ
<https://elearn.nara-edu.ac.jp/login/index.php>



- ・奈良教育大学シラバス
<https://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/KYOUUMU/syllabus.htm>



- ・休講・補講等の授業に関するお知らせ（奈良教育大学）
https://www.nara-edu.ac.jp/students/class_info/



2 単位互換制度

単位互換制度とは、他大学の科目を履修し、それを所属大学の卒業要件単位として認定する制度のことです。制度により履修手続きが異なりますので、よく確認して履修してください。

(1) 放送大学教育協力型単位互換科目

「放送大学教育協力型単位互換科目」は、本学では開設が難しい分野へ学びを広げることを趣旨として、放送大学の授業科目の一部を本学の教育課程の中で開講するもので、本学の履修単位として単位を取得することができます。**放送大学科目の履修は、1人につき年間2科目を上限とします。**本制度の趣旨をよく理解して履修計画を行ってください。

※受講に必要な放送大学の授業料（1人1科目につき12,000円）は、大学が負担して実施しています。

■ 開講科目

下表の10科目が開講されます。詳細なシラバスは、放送大学のホームページに掲載されています。下記のURLから各自で確認してください。

URL：<https://www.ouj.ac.jp/kamoku/kyouyou/C/>



科目ナンバリングコード	科目名	担当	単位	学期
0300001A1	社会調査の基礎	北川由紀彦、山口恵子	2	前期
0300002A1	舞台芸術の魅力	青山昌文	2	
0300003A1	市民生活と裁判	川島清嘉、川島志保	2	
0300008A1	情報社会と国際ボランティア活動	山田恒夫	2	
0300009A1	レジリエンスの科学	奈良由美子、鈴木康弘	2	
0300011A1	人間・環境情報とDX	川原靖弘、片桐祥雅	2	後期
0300005A1	環境を可視化する技術と応用	中村恭志、浅輪貴史	2	
0300006A1	情報社会のユニバーサルデザイン	広瀬洋子、関根千佳	2	
0300007A1	金融と社会	野間敏克	2	
0300010A1	太陽と太陽系の科学	谷口義明	2	

■ 授業の特徴

- ・ 放送大学の授業は、印刷教材とともに1回45分の放送授業を15回視聴することで行われます。
- ・ 授業は原則として、インターネット配信を自宅のパソコン、スマートフォン、タブレット端末で視聴してください。同じ授業を何度でも視聴することができます。
- ・ インターネット環境がない場合などは、放送大学奈良学習センター（本学コラボレーションセンター内）において、視聴することができます。

■ 授業の視聴方法

放送大学ウェブサイトのシステムWAKABA（教務情報システム）からログインし、「学内リンク」→「放送授業のインターネット配信」と選択してください。インターネット配信サイトが起動しますので、視聴する科目を選択（または、検索）して視聴ください。

■ 特別聴講学生の出願

受講には、放送大学への「特別聴講学生」の出願が必要です。

<前期：2回生以上の出願について ※出願期限：4月8日（火）>

※令和7年9月卒業予定者は、前期科目履修不可です。

※出願期限後の辞退はできませんのでご注意ください。

①出願希望者は、奈良女LMSにおいて下記のコース名を検索し、自己登録を行ってください。

LMSコース名：

No.0098_【放送大学】特別聴講学生出願フォーム

②「受講科目の出願」より、受講する科目を選択してください。

※複数科目の出願可能、出願期間内は修正や取消が可能です。

③「顔写真データ提出」へ、顔写真をアップロードしてください。

※顔写真の規定：6ヶ月以内に撮影したもの（正面向き、上半身、脱帽）

<前期：新入生の出願について ※出願期限：4月8日（火）17時まで>

出願希望者はガイダンスで配付の用紙「令和7（2025）年度新入生 放送大学教育協力型単位互換科目の履修について」より、出願してください。（※出願後の辞退はできませんのでご注意ください）

<後期の出願について>

6月下旬以降に、出願手続きの詳細について案内します。

※令和8年3月卒業予定者は、後期科目履修不可です。

出願期限予定：7月18日（金）※出願期限後の辞退は出来ません。

手続き先予定：奈良女LMS出願フォーム

■ 印刷教材の配付

・ 授業は、インターネット配信の視聴とともに印刷教材が使われます。前期の印刷教材は、授業までに学務課学務係の窓口で受け取ってください。後期は、放送大学から直接送付されます。

■ 本学での履修登録

- ・ 放送大学での手続とは別に、**本学の科目としての履修登録が必要**です。
- ・ この科目は、集中講義として扱われます。各学期の履修登録の際、通常の授業科目と同様に、科目名、科目担当者名を確認して、「集中講義欄」で登録してください。
- ・ この科目については、履修登録単位の上限が課せられません。
- ・ **令和7年度卒業予定者については、放送大学の成績評価と本学の卒業判定の時期の関係から、9月卒業者は前期、3月卒業者は後期開講の科目を履修登録できません。**

■ 再履修の禁止

単位を修得した科目を再び履修することは、できません。

■ 通信指導と単位認定試験

- ・ 各科目とも、学期の中間に「通信指導」が行われます。Web通信指導による提出ですので問題冊子の送付はありません。通信指導問題は第1学期は4月下旬、第2学期は10月上旬に授業共有ファイル（システムWAKABA→授業サポート→授業共有ファイル）にPDF形式でアップロードします。テーマとして課せられた課題を、定められた期限（前期は5月28日（水）、後期は11月26日（水））に、放送大学へ各自がWebで提出しなければなりません。後日、放送大学から各自に添削指導が返送されます。
- ・ 学期末には単位認定試験が行われます。前期・後期ともに、Web受験（一部科目のみ郵送受験）にて実施します。前期試験期間は7月16日（水）～7月24日（木）です。後期試験期間は1月18日（日）～1月26日（月）です。試験期間内にシステムWAKABAからログインして受験してください。
- ・ Web受験方式での試験実施が困難と判断し、対面で実施を希望する場合、指定の期日までに、放

送大学の本部に申請することになっていますので注意してください。受験の際には、放送大学から送付される単位認定試験通知（受験票）と、放送大学の学生証が必要です。

- ・ 通信指導を受けた上で単位認定試験に合格しなければ、単位が認められません。
- ・ 単位認定試験が受けられなかった場合や、不合格となった場合、放送大学が実施する再試験を受けることはできません。

■ 履修単位の扱いと成績通知

- ・ この科目の履修単位は、卒業要件単位の自由選択科目に算入されます。教養教育または専門教育としての単位にはならないため、よく注意してください。
- ・ 成績評価は、放送大学から受講者個人宛に郵送されるほか、本学へ成績表によって通知されます。

■ 調査活動への協力をお願い

受講者を対象に、アンケート調査等が行われます。得られたデータは、今後の大学間の単位互換制度の改善に役立てられますので、ご協力ください。

■ 放送大学の他の科目の受講

「放送大学教育協力型単位互換科目」として指定された科目以外で、放送大学の開講科目を受講する場合（1単位6,000円・入学料は不要）は、本学と放送大学との間で結ばれた単位互換協定、および各学部の定める規則に基づいて履修することになりますが、詳細については、学務課学務係にお問い合わせください。

◆放送大学教育協力型単位互換科目の履修スケジュール

時 期	本学のスケジュール		放送大学のスケジュール
	全 体	放送大学教育協力型単位互換科目関係	
4月4日(金) ～9日(水)	前期履修登録	放送大学教育協力型単位互換科目を履修登録	
4月7日(月)	学部別履修ガイダンス		
4月8日(火)まで		2回生以上: 奈良女LMSにおいて出願受付 新入生: ガイダンスにおいて配付の用紙 から出願	テキスト(印刷教材)配布 (学務課学務係)
4月10日(木)	前期授業開始		
4月下旬 ～5月上旬			入学許可書・学生証配布 (学務課学務係)
5月28日(水)			通信指導答案提出期限(受講 者が直接放送大学へWeb提出)
6月下旬～ 7月18日(金)		奈良女LMSにおいて出願受付 予定	
7月上旬			通信指導添削結果返送 (受講者個人宛) 単位認定試験通知(受験票) 郵送(受講者個人宛)
7月16日(水) ～24日(木)	前期試験	前期試験実施	
8月下旬			成績表郵送(受講者個人宛)
9月29日(月)	後期履修ガイダンス		
9月下旬			テキスト(印刷教材)郵送(受 講者個人宛)
9月26日(金) ～10月1日(水)	後期履修登録	放送大学教育協力型単位互換 科目を履修登録	
10月2日(木)	後期授業開始		入学許可書を持参の上、放送 大学奈良学習センターで学生 証を受け取ってください。
10月中旬			入学許可書郵送 (受講者個人宛)
11月26日(水)			通信指導答案提出期限(受講 者が直接放送大学へWeb提出)
1月上旬			通信指導添削結果返送 (受講者個人宛) 単位認定試験通知(受験票) 郵送(受講者個人宛)
1月18日(日) ～26日(月)	後期試験	後期試験実施	
2月下旬			成績表郵送(受講者個人宛)

(2) 奈良教育大学との単位互換制度

奈良女子大学と奈良教育大学は、両大学の特色を生かした学生の履修の機会拡充を図るため、相手大学が開講する教職科目及び学芸員資格科目の一部を履修し、修得した単位を自大学の科目の単位として認定する単位互換制度を実施しています。

令和7年度に奈良教育大学が開講する対象科目や手続き等については以下のとおりです。対象科目を受講したい場合は、手続きの期限や提出書類などに注意して履修してください。

■ 令和7年度 奈良教育大学開講科目

教職科目

科目名	担当教員	開講期	曜日	時間	単位数
教育社会学	粕谷 圭佑	前期	木	3・4限	2
		後期	木	7・8限	2
教育方法論（情報通信技術の活用を含む。）	赤沢 早人	前期	月	5・6限	2
		前期	木	5・6限	2

※定員は前・後期それぞれ10名です。希望者多数の場合は抽選を行います。

※「教育方法論」を履修し修得した単位は、本学における「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」の単位に読み替えます。

学芸員資格科目

科目名	担当教員	開講期	曜日	時間	単位数
博物館経営論	巽 善信	前期	木	5・6限	2
博物館情報・メディア論	巽 善信	後期集中	—	—	2
博物館資料保存論	巽 善信	前期	木	9・10限	2
博物館資料論	巽 善信	後期	木	9・10限	2
博物館展示論	巽 善信	前期集中	—	—	2

■ 対象学生

奈良教育大学の単位互換科目は、1年次後期から履修することが可能です。ただし、本学で2年次以上の対象科目としているものは、2年次以上でないと履修できません。また、卒業予定の学期（例、4年次後期）には履修できません。

■ 身分

奈良教育大学において「特別聴講学生」の身分が与えられ、履修期間中有効な身分証が発行されます。なお、著しい成績不良や迷惑行為があった場合は、身分が取り消されることがあります。

■ 履修登録

奈良教育大学単位互換科目を受講する場合、通常の履修登録は不要です。下記の手順に従って手続きしてください。

- ・学務課学務係に「奈良教育大学と奈良女子大学との単位互換科目受講希望届（奈良女子大学生用）」を提出してください。提出期限は掲示によって通知されます。
- ・大学間の事務手続きが終わり次第、奈良教育大学から身分証が交付されますが、前期の開講科目については、事務手続きの完了前に授業が開始されることがあります。奈良教育大学の受講上の注意に従って、初回の授業から受講を開始してください。

■ 履修単位の扱い

奈良教育大学の授業科目を履修し、修得した単位は、本学で開講する科目の単位に読み替え、各学部規程の定めに応じた単位数に含めることができます。

なお、教職科目を履修して修得した単位については、教員免許取得に必要な単位とすることができ、学芸員資格科目を履修して修得した単位については、学芸員資格取得に必要な単位とすることができます。

■ 履修方法と成績評価

授業科目の開講時期や授業方法、成績評価は、奈良教育大学の方針に従います。試験日程が本学の試験と重複した場合は、奈良教育大学の日程が優先されます。その場合、本学内の受講科目について「特別の方法による成績評価」の適用を申請してください。なお、受講期間中日程の重複による公欠の扱いは受けられません。

■ LMS（奈良教育大学Moodle）の登録

授業連絡や配布物等のデータのやりとりは、奈良教育大学のLMS（奈良教育大学ではMoodleと呼びます）を用いて行われます。初回の授業から参加できるよう、授業開始日までに奈良教育大学のMoodleの自己登録を行い、連絡事項を確認してください。

<奈良教育大学Moodleの登録手順>

1. 奈良女LMSへログインし、リンク集から「奈良教育大学LMS」へ移動
(下記のURL、QRコードからも直接アクセスできます)
2. 奈良女LMSと同じアカウント名、パスワードでサインイン
※初めて利用する場合はプロフィール登録を行います。
(「姓」: 本学の学生番号、「名」: 漢字氏名 (フルネーム))
3. 該当する授業科目を検索して自己登録を行う

・奈良教育大学LMSログインページ
<https://elearn.nara-edu.ac.jp/login/index.php>



・休講・補講等の授業に関するお知らせ (奈良教育大学)
https://www.nara-edu.ac.jp/students/class_info/



(3) お茶の水女子大学との単位互換制度

奈良女子大学とお茶の水女子大学は、両大学間で締結した学生交流協定に基づき、相手大学が開講する教養科目及び専門科目の一部を履修し、修得した単位を自大学の科目の単位として認定する単位互換制度を実施しています。

令和7年度にお茶の水女子大学が開講する対象科目や手続き等については以下のとおりです。対象科目を受講したい場合は、手続きの期限や提出書類などに注意して履修してください。

■ 令和7年度 お茶の水女子大学開講科目

科目名	担当教員	開講期	曜日	時間	単位数
平和と共生演習	宮原 千絵	前期	木	7・8限	2
NPO入門	平山 雄大	前期	月	5・6限	2

教育開発概論 (1)	浜野 隆	前期前半	木	3・4限	2
教育開発概論 (2)	浜野 隆	前期後半	木	3・4限	2
国際協力特論	小田 亜紀子	後期	木	7・8限	2

※「教育開発概論 (1) (2)」はセットで履修すること。

お茶の水女子大学授業時間

時 限	授業時間
1・2 限	9 : 00 ~ 10 : 30
3・4 限	10 : 40 ~ 12 : 10
5・6 限	13 : 20 ~ 14 : 50
7・8 限	15 : 00 ~ 16 : 30
9・10限	16 : 40 ~ 18 : 10

※お茶の水女子大学の時間割は、本学と午後の時間割（5・6限～9・10限）が異なります。本学の授業時間帯と重複する時間帯のコマは、本学の他の科目を履修できませんので注意してください。

例：お茶の水女子大学の5・6限（13：20～14：50）を履修する場合

→本学7・8限（14：40～16：10）の科目は時間帯が重複するため履修不可

お茶の水女子大学の7・8限（15：00～16：30）を履修する場合

→本学9・10限（16：20～17：50）の科目は時間帯が重複するため履修不可

■ 対象学生

1年次以上のすべての学部正規学生。ただし卒業予定の学期（例、4年次後期）には履修できません。

■ 身分

お茶の水女子大学において「特別聴講学生」の身分が与えられます。なお、著しい成績不良や迷惑行為があった場合は、身分が取り消されることがあります。

■ 履修登録

お茶の水女子大学単位互換科目を受講する場合、通常の履修登録は不要です。学務課学務係に「特別聴講学生願書（お茶の水女子大学用）」を提出してください。提出期限は掲示によって通知されます。※令和7年度前期分は、3月中に締め切っているために出願はできません。

■ 履修単位の扱い

お茶の水女子大学の授業科目を履修し、修得した単位は、本学における卒業要件単位の自由選択単位として算入されます。教養教育科目、専門教育科目の必修単位数にはカウントできません。

■ 履修方法と成績評価

授業は全てオンラインで開講され、お茶の水女子大学のLMSに関する詳細は、受入れが確定次第通知されます。

成績評価は、お茶の水女子大学の方針に従います。試験日程が本学の試験と重複した場合は、お茶の水女子大学の日程が優先されます。その場合、本学内の受講科目について「特別の方法による成績評価」の適用を申請してください。なお、受講期間中日程の重複による公欠の扱いは受けられません。

・お茶の水女子大学シラバスページ

<https://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/>



(4) 奈良県大学連合における単位互換制度

平成20年度より、本学は奈良県内大学間単位互換協定に加盟し、県内の7大学（帝塚山大学、天理大学、奈良大学、奈良教育大学、奈良県立大学、奈良県立医科大学、奈良学園大学）で開講される授業科目を履修することができます。

加盟大学間の協定に基づいて、本学では下記のような原則と手続きに従って、希望する学生を派遣します。この制度を利用して他大学の科目を受講したい場合は、手続きの期限や提出書類などに注意して履修してください。

① 対象

2年次以上のすべての学部正規学生。ただし卒業予定の学期（例、4年次後期）には履修できません。

② 身分

履修先の大学において「特別聴講学生」または「特別科目等履修生」の身分が与えられ、履修期間中有効な身分証が発行されます。なお、著しい成績不良や迷惑行為があった場合は、身分が取り消されることがあります。

③ 履修できる科目

1年間に1人あたり4科目8単位以内（複数の受講大学分を総計）。あらかじめ加盟各大学から通知される科目の中から選択して履修します。

④ 履修単位の扱い

単位互換によって取得した単位は、本学における卒業要件単位の自由選択単位として算入されます。教養教育科目、専門教育科目の必修単位数にはカウントできません。また教員免許など資格取得に用いることもできませんから、十分注意してください。

⑤ 履修方法と成績評価

授業科目の開講時期や授業方法、成績評価は、開講大学の方針に従います。試験日程が本学の試験と重複した場合は、開講大学の日程が優先されます。その場合、本学内の受講科目について「特別の方法による成績評価」の適用を申請してください。なお、受講期間中日程の重複による公欠の扱いは受けられません。

⑥ 履修登録

奈良県内大学間単位互換科目は、通常の履修登録期間の履修登録は不要です。下記の手順に従って手続きして下さい。

- 各大学から開講科目が連絡されます。Campusmate-J「各種資料一覧」で、大学別の資料から希望の科目を選択してください。

（単位互換資料コーナー設置：前期分は3月末～4月上旬、後期分は未定）

- 奈良県内大学間単位互換制度による履修科目は、本学における年間履修登録単位数の上限に含まれます。学内の履修科目とのバランス、また開講大学への往復に要する時間にも、十分注意してください。
- 学務課学務係に「奈良県内大学間単位互換による科目受講希望届（本学学生用）」を提出してください。提出期限は掲示によって通知されます。

前期：4月上旬、後期：未定

- これに基づいて開講大学別の受講申請書類が手渡されます。説明を受けた後に必要事項を記入し

て、学務課学務係に提出してください。提出期限は掲示によって通知されます。**期限を厳守**してください。

- ・大学間の事務手続きが終わり次第、開講大学から身分証が交付されますが、前期の開講科目については、事務手続きの完了前に授業が開始されることがあります。各大学の受講上の注意やガイドランスに従って、授業を受け始めてください。**前期・後期（未定）**ともに、**原則として初回の授業から出席**してください。

以上の決まりを守り、他大学の多様な授業科目を履修しながら、他大学の学生との交流を深めてください。

VI 副専攻プログラム

プログラムの登録	103
プログラムの修了認定	103
テーマ別一覧	104

Ⅵ 副専攻プログラム

副専攻プログラム（平成30年度入学者から履修可能）

副専攻プログラムとは、みなさんが在籍している学部において所定の学修をもって学位を取得する「学位プログラム」とは別に、特にテーマ性をもった学びを修めたことを証明する「教育プログラム」です。

副専攻プログラムでは、自学部以外の専門科目の履修も可能である本学の特徴を踏まえ、学部横断的なテーマを設定しています。

本プログラムの修了要件は、テーマごとに定められた選択科目のうちから12単位以上を履修することですが、一部履修条件がありますので、各テーマの内容を確認してください。プログラムに登録した学生には、卒業時に修了証が交付されます。また、履修内容に関しては、学修証明書を発行します。

プログラムの登録・修了認定の詳細は、以下のとおりです。

●プログラムの登録

I 申請方法

1. プログラムの履修を希望する学生は、卒業年度の学務課指定期日までに、「副専攻プログラム登録届」を所属の学部係に提出してください。
 2. 複数のプログラムに届け出ることができます。
 3. 履修した科目及び履修予定の科目をテーマごとに届け出ることができます。（※）
- ※平成30年度以降入学者が、指定した科目を履修した場合、履修済みの科目として取得単位とすることができます。

II 届出の時期

前期履修登録確認期間が終了後、届出期間を設けます。日程は別途周知します。

III 修了見込証明書の発行

1. 登録者には、希望により修了見込証明書を発行します。
2. プログラムの履修を希望する未登録者が、履修する予定であることの証明を希望する場合、その理由を付して「予備登録」し、発行を願い出ることができます。ただし、予備登録時において修得するための必要単位数が3単位以下であることを条件とします。

※「副専攻プログラム登録届」「副専攻プログラム登録届【予備登録】」は、学務課カウンターで用紙を受け取るか、またはCampusmateでデータをダウンロードしてください。

●プログラムの修了認定

I 手順

1. プログラム登録者が所属する学部教授会において、卒業が認められたことを受け、所定単位を修得していることを確認し、プログラム修了を認定します。
2. 卒業の認定を受けた者と同様に、修了認定者を公表します。
3. 認定を受けた者に対し、修了証を発行し、学位記とともに授与します。
4. 修了証を授与した者には、同時に学修証明書を発行します。

テーマ別一覧

プログラム名称	地域志向 Local Studies			
<p>(プログラムの概要) 「奈良女子大学的教養」の理念に掲げられた問いのうち、「奈良で学ぶことを通じてあなたは世界にどんな貢献ができますか」「大学で学ぶことはあなたと未来の世代の人たちにとってどんな意味がありますか」を具体的に問いかける科目、また、奈良を知り奈良を好きになる契機とする科目や、自治体に赴いて地域の課題解決に実践的に取り組む科目やサテライト施設を活用した授業を実施する科目を履修するプログラムです。</p> <p>(到達目標) 奈良というフィールドにおいて、「社会的実践に飛び込む」「本物にふれる」「他者と学ぶ、他者から学ぶ」などのアプローチにより、問題を解決する能力を養い、さらに専門性の深い学びへとつなげていくことを目標とします。</p>				
区分	授業科目名	単位数	修了要件単位数	履修条件
教養教育科目	「奈良」女子大学入門	2	12単位	令和4年度のみ
	パサージュ (1A) 歴史を歩く、地域を学ぶ - 奈良入門 -	1		
	パサージュ (1B) 歴史を歩く、地域を学ぶ - 奈良入門 -	1		
	なら学	2		
	なら学+ (プラス)	2		
	環太平洋くろしお文化論	2		
文学部 専門教育科目	地誌A	2		
	文化人類学特殊研究	2		
	なら学フィールドワーク実習	1		令和3年度以前入学者
	なら学実習	1		令和4年度以降入学者
	コミュニティ・リサーチ	1		
	コミュニティ・アクション	1		
	なら学演習	2		
	地域探究実践演習	2	令和3年度以前入学者	
	地域社会の課題演習	2	令和3年度以前入学者	
	フィールド探究演習	2	令和4年度以降入学者	
理学部 専門教育科目	サイエンス・オープンラボ I	2		
	サイエンス・オープンラボ II	2		
	森林生物学野外実習	1		
	河川生物学野外実習	1		
生活環境学部 専門教育科目	地域連携運動演習	2		
	地域居住学	2		
キャリア 教育科目	キャリアデザイン・ゼミナールB (11) 奈良の食をさぐる	1	副専攻「カーボンニュートラル」との重複は認めない	
	キャリアデザイン・ゼミナールB (17) 奈良の食を知る	1	副専攻「カーボンニュートラル」との重複は認めない	
合 計			12単位	

※一部受講制限を行う科目があります。

プログラム名称	グローバル Global Studies			
<p>(プログラムの概要) 大学の基本理念の一つに「開かれた大学—国際交流の推進と地域・社会への貢献—」を掲げています。</p> <p>本プログラムでは、国際社会で活躍する女性人材の育成を目的に、国際交流活動を通して本学に蓄積された教育・研究の特色を活かした魅力ある科目を提供します。講義科目では、主に自国文化や異文化理解、国際社会の現状と課題について学習します。また、国際交流活動や海外短期研修等を行う演習科目では、受講を通じて、語学力やコミュニケーション能力を高める機会とします。</p> <p>(到達目標) 国際感覚に優れた教養を身につけ、さまざまな国際交流の経験や留学生交流を通じて、国際的な知的活動や社会活動に貢献し、グローバルに活躍できる女性人材としての基礎力を養うことを目標とします。</p> <p>(修了要件に関する留意事項) 海外研修等への参加を必修とします。具体的には、表中の選択必修科目を一つ以上受講することです。なお、指定の科目以外の留学(交換留学、単位認定留学を含む私費留学、長期海外インターンシップ等)についても、大学が認定する場合*1は、選択必修科目を履修したものと要件を満たすことができます。ただし、その場合は他の科目で12単位そろえることが必要です。</p> <p>*1 ガイダンス資料で確認してください。</p>				

区 分	授業科目名	単位数	修了要件単位数	履修条件
教養教育科目	アジア学入門	2	12単位	
	アラビアの言語と文化	2		
	ベトナムの言語と文化	2		
	国際関係論	2		副専攻「カーボンニュートラル」との重複は認めない
	ヨーロッパ学入門	2		
	国際機構論入門	2		
	アメリカ学生研修SEASoN	2		選択必修
	異文化理解と国際協力	2		令和3年度のみ
	異文化理解と平和構築	2		令和3年度のみ
	Modern Japanese Literature and Media A	2		
	Modern Japanese Literature and Media B	2		
	Japanese Culture and History A	2		
	Japanese Culture and History B	2		
	Global Studies and Communication A	2		
Global Studies and Communication B	2			
文学部 専門教育科目	地誌B	2		令和3年度のみ
キャリア教育科目	キャリアデザイン・ゼミナルA (16) TOEFL対策講座	1		
	キャリアデザイン・ゼミナルA (37) IELTS対策講座	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (37) 国際グループワークA	1		令和3～6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (38) 国際グループワークB	1		令和3～6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (46) 学生交流企画の立案・実行	1		令和3～4年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (46) 海外協定大学の短期留学生（短期プログラム参加者）との交流企画の立案と実行A	1		令和5年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (46) 学生交流企画の立案・実行A	1		令和6年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナルB (47) グローバル女性人材養成プログラム（中国）	1		選択必修 令和3～6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (48) グローバル女性人材養成プログラム（ニュージーランド）	1		選択必修
	キャリアデザイン・ゼミナルB (49) グローバル女性人材養成プログラム（ベトナム）	1		選択必修 令和3～4年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (50) 海外インターンシップ（ハワイ）	1		選択必修 令和3年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (51) 海外インターンシップ（ベトナム）	1		選択必修 令和3年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (54) 国際チャレンジ活動A	1		選択必修
	キャリアデザイン・ゼミナルB (58) グローバル女性人材養成プログラム（フィリピン）	1		選択必修
	キャリアデザイン・ゼミナルB (59) グローバル女性人材養成プログラム（タイ）	1		選択必修 令和3～6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (65) 留学生キャリア形成チャレンジ	1		令和7年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナルB (70) 海外協定大学の短期留学生（短期プログラム参加者）との交流企画の立案と実行B	1		令和5年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (70) 海外協定大学の短期留学生（短期プログラム参加者）との交流企画の立案と実行B	1		令和6年度以降

キャリア教育科目	キャリアデザイン・ゼミナルB (71) 国際チャレンジ活動B	1	12単位	選択必修 令和4年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナルB (72) 国際チャレンジ活動C	1		選択必修 令和4年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナルB (73) 国際チャレンジ活動D	1		選択必修 令和4年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナルB (74) 国際チャレンジ活動E	1		選択必修 令和4年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナルB (76) 国際交流インターンシップ	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (76) 国際交流キャリア支援	1		令和7年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナルB (78) 「国際キャンパス奈良」スチューデント・アンバサダーA	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (79) 「国際キャンパス奈良」スチューデント・アンバサダーB	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (80) 国際チャレンジ活動アカデミックA	1		
	キャリアデザイン・ゼミナルB (81) 国際チャレンジ活動アカデミックB	1		
	キャリアデザイン・ゼミナルB (84) 奈良チャレンジ活動A	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (85) 奈良チャレンジ活動B	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルB (86) グローバル女性人材養成プログラム (ヨーロッパ)	1		
	キャリアデザイン・ゼミナルC (10) 海外留学のすすめA	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナルC (11) 海外留学のすすめB	1		令和6年度のみ
キャリアデザイン・ゼミナルC (12) Global Citizenship Seminar	1			
合 計			12単位	

プログラム名称	ジェンダー Gender Studies			
(プログラムの概要) 本学で開講されているうち、ジェンダーの概念を用いて学ぶ科目を履修するプログラムです。ジェンダーとは、性とそれがもたらす影響を考える一つの視点ですが、ジェンダーは私たちのふるまいや人生の選択に大きな影響を与えるだけでなく、文学、法律、アート、教育、医学、政治などの社会のあらゆる分野で大きな意味と力を持っています。ジェンダーの視点は、自分が生きる力を身につける上で、また何よりも公正な社会を実現する上でなくてはならない視点といえます。				
(到達目標) プログラム科目の履修により、実社会に生きる上でのジェンダーの視点を獲得することを目標とします。				
区 分	授業科目名	単位数	修了要件単位数	履修条件
教養教育科目	ジェンダー論入門	2	12単位	
	ジェンダー生理学	2		
	女性リーダー論	2		
	女性リーダーシップ演習	2		令和3～4年度のみ
文学部 専門教育科目	ジェンダー言語文化概論	2		
	ジェンダー言語文化演習	2		令和5年度以前入学者
	フェミニズム文学批評概論	2		令和6年度以降入学者
	学ぶことと女性のライフスタイル	2		
	家族社会学特殊研究	2		
	社会地理学特殊研究A	2		令和3年度以前入学者
	社会地理学特殊研究	2		令和4年度以降入学者
	ジェンダー言語文化特殊研究A	2		
	ジェンダー言語文化特殊研究B	2		
生活環境学部 専門教育科目	ジェンダー文化論	2		
	服飾とジェンダー	2		
合 計			12単位	

※一部受講制限を行う科目があります。

プログラム名称	カーボンニュートラル Carbon Neutrality Studies			
(プログラムの概要) 世界各国で2050年カーボンニュートラルを目標とする動きが広がり、日本においても、2050年カーボンニュートラルの実現を目指すべく、国・地方自治体・企業等が取り組みを始めています。 本プログラムでは、「カーボンニュートラル」分野で活躍する人材育成を目的に、気候変動・生物多様性・世界情勢・人権や倫理について学習し、演習科目の受講により、新たな価値を創出する能力を高める機会とします。				
(到達目標) グローバルの環境問題解決に対して地域での課題としての考え方や、新たな価値創出の基礎力を養うことを目標とします。				
区 分	授業科目名	単位数	修了要件単位数	履修条件
教養教育科目	現代の倫理	2	2	必修
	共生科学	2	2	必修
	国際関係論	2		副専攻「グローバル」との重複は認めないが受講が望ましい
	地域の人と暮らし	2		隔年指定
	自然環境の地理学	2		
	諸学への誘い	1		重複履修可
文学部 専門教育科目	地域自然環境論特殊研究	2		令和3年度以前入学者
	環境地理学特殊研究	2		令和4年度以降入学者
	倫理学特殊研究	2		
理学部 専門教育科目	地球環境科学1 (A)	2		
	地球環境科学1 (B)	2		
	地球環境科学2 (A)	2		
	地球環境科学2 (B)	2		
	生命圏の地球化学	2		
	環境リスク論	2		
工学部 専門教育科目	環境・防災科学	2		
	河川・海岸工学	2		
キャリア 教育科目	キャリアデザイン・ゼミナルB (11) 奈良の食をさぐる	1		副専攻「地域志向」との重複は認めない
	キャリアデザイン・ゼミナルB (17) 奈良の食を知る	1		副専攻「地域志向」との重複は認めない
	キャリアデザイン・ゼミナルC (9) 山村で考える多様な生き方ー下北山村学入門ー	1		
	キャリアデザイン・ゼミナルC (13) 未来共創コーディネート演習Ⅰ	1	いずれか 1単位	選択必修
	キャリアデザイン・ゼミナルC (14) 未来共創コーディネート演習Ⅱ	1		
	キャリアデザイン・ゼミナルC 未来共創コーディネート演習Ⅲ	1		
三重大学科目	SciLets の指定する科目 (注1)	2単位まで		
放送大学科目	地球温暖化とイノベーション	2		
合 計			12単位	

※一部受講制限を行う科目があります。

(注1) 三重大学のSciLets育成事業において提供されるビデオ講義科目から選択履修してください。

プログラム名称	情報科学 Information Science Studies				
(プログラムの概要) 情報科学の基礎知識について学ぶ科目を履修するプログラムです。これらのうち、対象科目を履修することによって、本プログラムとは別に「数理・データサイエンス・AI教育プログラム (応用基礎レベル)」の認定を受けることが可能です。					
(到達目標) 高度情報化社会で活躍するための能力を養うことを目標としています。					
区分	授業科目名	単位数	修了要件単位数	履修条件	
教養教育科目	情報処理入門Ⅰ	2	12単位	令和6年度までに履修済の場合	
	情報処理入門Ⅱ	2		令和5年度までに履修済の場合	
	情報処理入門	2			
	情報基礎	2		令和5年度までに履修済の場合	
文学部 専門教育科目	教育社会学調査法実習Ⅰ	1			令和5年度までに履修済の場合
	教育社会学調査法実習Ⅱ	1			令和5年度までに履修済の場合
理学部 専門教育科目	確率解析学	2			いずれか1科目
	確率論入門	2			
	数理統計学	2			いずれか1科目
	生物環境統計学	2			
	生物統計学	2			いずれか1科目
	プログラミング	2			
	環境科学基礎プログラミング	2		いずれか1科目	
	プログラミング演習	2			
	環境科学基礎プログラミング演習	2			
	数理モデリング	2			
生活環境学部 専門教育科目	応用数学Ⅱ (線形代数学)	2		応用基礎必修※	
	経営データサイエンス	2		応用基礎必修※	
	プログラミング言語Ⅰ	2			
	プログラミング言語演習* (注1)	2		応用基礎選択必修 (いずれか1科目)	
	プログラミング言語Ⅱ* (注1)	2			
	アルゴリズムとデータ構造* (注1)	2		応用基礎必修	
	データベース論	2		応用基礎必修※	
	生活と人工知能	2		応用基礎必修※	
	計算機アーキテクチャ論	2			
	計算機ネットワーク	2			
	ソーシャルコンピューティング論	2			
	工学部 専門教育科目	確率・統計	1		
		情報学概論	2		
情報ビジネス		2			
合 計			12単位		

※一部受講制限を行う科目があります。

(注1) *の科目は、応用基礎レベル取得見込み (応用基礎必修の※4科目の単位を取得済み) の学生のみ受講できます。